

令和5年度 第2回静岡市生涯学習推進審議会（第8期第2回）

日時：令和5年9月22日（金）午後1時30分

会場：葵生涯学習センター（アイセル21）3階 第31集会室

次 第

1	開会	13 : 30
2	議事	
	(1) 報告事項	
	ア 生涯学習施設の運用改善について 資料1	13 : 40
	イ 第2次大綱推進計画の令和4年度実績について 資料2-1、2-2、2-3	14 : 10
	ウ 第3次大綱推進計画の令和5年度事業について 資料3	14 : 50
3	事務連絡	15 : 20
4	閉会	15 : 30

生涯学習施設の利用方法運用改善について

生涯学習施設の利用方法運用改善とは

生涯学習施設の利用方法について、条例・規則等の範囲の中で、より利用しやすくなるよう利用者視点に立った上で、運用面の改善を図っていくもので、令和元年度より取り組んでいる。

検討にあたっては、生涯学習推進課及び各生涯学習施設指定管理者とワーキンググループを実施し、その内容について検討を行っている。

1 これまでの取組

(詳細については「2 各取組の詳細について」をご覧ください)

○令和元年度（平成31年度）

施設利用者等の意見から課題を抽出し、ワーキンググループにおいて運用改善案を検討

○令和2年度

- ・市民講師（私塾及び私塾に準ずるもの）への貸館について検討…①
- ・北部生涯学習センター（葵区）へ自由利用スペースを設置…②

○令和3年度

- ・浜田生涯学習交流館（清水区）に自由利用スペースを設置…②
- ・優先利用団体（公共的団体）の見直しの検討…③
- ・葵生涯学習センターホール早期優先利用の運用ルールの検討…④

○令和4年度

- ・玉川生涯学習交流館（葵区）、有度生涯学習交流館（清水区）に自由利用スペースを設置…②
- ・優先利用団体（公共的団体）の見直しの検討…③
- ・葵生涯学習センターホール早期優先利用の試行実施…④
- ・生涯学習センターのキャンセル制度の弾力化の検討…⑤

○令和5年度（予定）

- ・優先利用団体（公共的団体）の見直しの検討…③
- ・葵生涯学習センターホール早期優先利用の試行実施…④
- ・生涯学習センターのキャンセル制度の弾力化の実施…⑤ など

2 各取組の詳細について

①市民講師への貸館

貸館において、団体構成員が講師を行う場合、「私塾に準ずる活動」とされ利用許可されない場合があったが、金品等の謝礼を受け取っていない（＝営利を目的としない）場合については私塾には当たらないことを指定管理者と確認し、円滑な団体活動の支援を行う。

②自由利用スペースの整備・利用促進

生涯学習施設の既存のスペースを活用し、テーブルやイスを設置し、休憩や打合せなどに利用しやすい「自由利用スペース」を整備し、利用を促進する。

生涯学習施設の利用方法運用改善について

R2 北部生涯学習センター（机×7 椅子×6）



R3 浜田生涯学習交流館（机×8 椅子×8）



R4 有度生涯学習交流館（机×2 椅子×4）



R4 玉川生涯学習交流館（机×1 椅子×2）



③公共的団体の整理

公共的団体とは、「厚生社会事業団体、教育文化スポーツ団体、地縁団体その他公益の実現を目的とし、国、静岡県又は静岡市の所管する事業に関する公益事業を行う団体」のこと。

公共的団体として優先利用している団体の一部について、その認定や公益事業であるか否かの判定が適切に行われていない例が見られるため、公共的団体として認定されている団体の定期的な 認定の更新や認定範囲の厳格化などを行い、利用の公平化を図るよう運用する。

④葵生涯学習センターホールにおける優先予約

長期の準備期間が必要な行事・イベントに対する早期予約の要望や、活動を定期的・継続的に行うことができるよう要望がある。

このうち、多数の集客を伴うイベントや講演会等での利用を想定し整備された葵生涯学習センターのホールについて、広報や講師依頼等一定の準備期間を確保し、そのねらいに沿った利用の促進を図るため、7か月前からの予約を行えるよう試験的に運用する。

⑤キャンセルの運用改善

生涯学習センターでは、予約システムを使った抽選を行っており、現在は不要な予約の乱発を防ぎ、利用者の公平性を担保するため、原則、一度予約したものについては自己都合等ではキャンセルすることができない運用となっている。

これについて、利用申請書の提出前であればキャンセル可能とするよう指定管理者の予約制度の運用を変更する。（ただし、一定数キャンセルした場合は予約制限の対象となるよう検討）

第2次生涯学習推進大綱 令和4年度登載事業実績(評価)

推進目標	施策の方向性 (大施策)	施策の取組み (中施策)	R4年度 達成状況					進捗評価		(参考) R3年度 達成状況					進捗評価	
			登載 事業数	達成できた	やや 達成できた	達成 できなかった	未実施	A評価の割合	A:80%以上達成 B:50~79%達成 C:50%未満	登載 事業数 (うち隔年実 施によりR3 実績なし)	達成できた	やや 達成できた	達成 できなかった	未実施	A評価の割合	A:80%以上達成 B:50~79%達成 C:50%未満
				A 80%以上	B 79%~50%	C 50%未満	D 0% (うちコロナに より未実施)				A 80%以上	B 79%~50%	C 50%未満	D 0% (うちコロナに より未実施)		
1 誰もが 環境が 気軽に 学び 合える	(1) 充実した学習機会の提供	① 未来を創る人材の育成	26	26	0	0	0	91.7%	A	24	17	5	1	1	70.7%	B
		② 多様な学習機会の提供	41	36	2	1	2			42	31	3	4	4		
		③ とともに生きる学びの推進	17	15	1	1	0			16	10	3	2	1		
	(2) 生涯学習情報の提供	① 特色を活かした情報発信	3	1	1	1	0	60.0%	B	3	0	2	1	0	40.0%	C
		② 生涯学習情報システムの充実	2	2	0	0	0			2	2	0	0	0		
	(3) 学習相談体制の整備	① 学習相談の充実	5	5	0	0	0	100%	A	5	5	0	0	0	100%	A
	小 計			94	85	4	3	2	90.4%	A	92	65	13	8	6	70.7%
2 学びを 活かす ための 支援	(1) 学びを活かす場づくり	① 学んだ成果を発表できる場の提供	4	3	1	0	0	88.9%	A	4	4	0	0	0	88.9%	A
		② 地域での活動の場づくり	5	5	0	0	0			5	4	1	0	0		
	(2) 活躍できる人材の発掘・活用	① まちを支える人材の発掘	5	4	1	0	0	90.9%	A	5	3	1	1	0	81.8%	A
		② 学習成果を活かした市民参画の推進	6	6	0	0	0			6	6	0	0	0		
	小 計			20	18	2	0	0	90.0%	A	20	17	2	1	0	85.0%
3 生涯 学習を 支える 基盤 づくり	(1) 安心・安全な学習環境づくり	① 生涯学習関連施設の整備	2	2	0	0	0	77.8%	B	2	2	0	0	0	66.7%	B
		② 生涯学習関連施設における学習環境の充実	16	12	4	0	0			16	10	4	2	0		
	(2) 生涯学習ネットワークの構築	① 地域・企業・大学・NPO等との連携の強化	10	10	0	0	0	100%	A	11	9	1	0	1	88.2%	A
		② 学習ネットワークづくりの支援	4	4	0	0	0			4	4	0	0	0		
		③ 全庁的な生涯学習推進体制の確立	2	2	0	0	0			2	2	0	0	0		
	小 計			34	30	4	0	0	88.2%	A	35	27	5	2	1	77.1%
合 計			148	133	10	3	2 (2)	89.9%	A	149 (2)	109	20	11	7 (6)	74.1%	B

★進捗評価について
「施策の方向性(大施策)」ごとに、A評価の事業数の割合で評価をしています。
A評価の割合が80%以上で進捗評価A
50~79%で進捗評価B
50%未満で進捗評価C

例：施策の方向性「充実した学習機会の提供」の評価
全体で83事業が登載
A評価の事業数は60 $60 \div 82 \times 100 = 73.2$ (%)

A評価の
事業数 大施策の
登載事業数 進捗評価はB

第2次生涯学習推進大綱 推進計画 令和4年度 登載事業一覧(R4年度実績)

No	施策名・事業番号	事業名称	所管課	事業概要	令和4年度取組目標	①令和4年度取組実績	②令和4年度決算額(千円)	③令和4年度の評価		後期推進計画末(令和4年度末)成果指標	④後期推進計画末(令和4年度末)成果指標実績	⑤後期推進計画の評価		⑥生涯学習の推進に寄与した取組に関する自己評価
								【指標】 A:達成度80%以上 B:達成度50~79% C:達成度50%未満 D:未実施	【評価の理由】 指標A:事業の成果を記入 指標B~D:達成できなかった理由、事業の成果を記入			【指標】 A:達成度80%以上 B:達成度50~79% C:達成度50%未満 D:未実施	【評価の理由】 指標A:成果指標達成のために工夫した点を記入 指標B~D:達成できなかった理由等を記入	
1 (1) ① 未来を創る人材の養成														
1	1 (1) ①	人材養成塾(地域リーダー養成コース) ※こ・こ・こに講座	生涯学習推進課	地域住民の社会参加を促し、これまでの経験・能力を活かして地域課題の解決やまちづくりを行う地域リーダーを養成する。	地域デザインカレッジ(自治会・町内会編)の開催(全5回)	地域デザインカレッジ(自治会・町内会編)の開催(全5回)	2,412	A	予定どおり地域デザインカレッジ(自治会・町内会編)を全5回開催したため。(基礎編18名、実践編10名受講)	講座を受講した人のうち、シチズンシップが身についた人の割合 95%	講座を受講した人のうち、シチズンシップが身についた人の割合 90%	A	受講生が講師から地域課題への取り組みを進めるためのアドバイスを受けられるような「個別相談」の機会を設けることで、まちづくりに関わろうとする公共意識の醸成へつなげることができた。	講座の開催を通じて、地域の課題を解決するために自ら行動する人材を育て、市民主体のまちづくりを推進した。
2	1 (1) ①	アイセル女性カレッジの実施(人材育成事業) ※こ・こ・こに講座	男女共同参画・人権政策課	市政や社会問題などについて学習し、政策・方針決定の場へ参画できる人材を育てる。	第19期アイセル女性カレッジを開催	第19期アイセル女性カレッジを開催した(全7回) 修了者17人	指定管理料を含む	A	定員を超える応募があった。全7回実施し、19人中17人が修了した。また、アンケート結果も満足度100%、理解度99.1%と非常に高い結果となった。	講座受講生の理解度80%以上	アイセル女性カレッジ受講生の理解度99.1%	A	時代の流れに応じたテーマ及び講師を選定した点。	講座を通じて、より多くのシチズンシップに富んだ人材が育成され、業種や職種の垣根を越えた人的ネットワークの形成を図ることができた。
3	1 (1) ①	多文化共生サポーター養成講座 ※こ・こ・こに講座	国際交流課	外国人の地域交流を促進する人材を養成するための講座を実施する。	講義やグループワークを通じて、「多文化共生」や外国人住民支援について学習する。(5回の開講を予定)	サポーター養成講座実施回数 全5回 修了生 19人	129	A	予定通り全5回の講座を開催し、19人の受講者が講座を修了した。	受講生のうち50%が、多文化共生事業に参加するまたは外国人の支援に関わる	令和2~4年度の受講生60名のうち29名(48%)が、多文化共生事業に参加するまたは外国人の支援に関わった	A	修了生を含む受講生のメンバーリストを作成し、本市の多文化共生事業の情報を提供するなど、引き続き多文化共生に関わる情報を提供するようにした。	大学教授や留学生などの多彩な講師による講義により多角的に「多文化共生」や外国人支援について学習できた。また、受講生同士の交流も生まれ、新しい仲間や学びを得るきっかけを作ることができた。講座終了後も受講生による交流企画の実践や、受講生同士での情報共有、日本語教室への参画などの自主的な取り組みが続いており、支え合い活動に主体的に取り組む人材を発掘・養成することができた。
4	1 (1) ①	「消費の賢者」養成講座 ※こ・こ・こに講座	生活安心安全課	消費者教育や高齢者等の見守り活動の担い手として積極的に活動する人材を養成する。修了生には「消費生活サポーター」として登録してもらい、市はその活動を支援していく。	講座の実施	講座(全4回)を実施	127	A	オンデマンド配信という新しい取組での実施であったが問題なく全日程を終了し、修了生のサポーター登録率も7割を超えたため。	講座の修了生のうちサポーター登録する方の割合が7割	84.1% 【37/44】	A	新型コロナウイルス感染症の影響下においても、ウェブ講座の活用などを通じて事業を途切れさせることなく継続させることができたため	「消費」というだけでも日常生活で関わる分野での学びの機会の提供をすることができた。
5	1 (1) ①	環境大学 ※こ・こ・こに講座	ごみ減量推進課	環境全般について専門的な知識を習得し、身の周りの環境問題の解決に向かって主体的に取り組む環境学習リーダー・学習支援スタッフを育成することにより、よりよい静岡市の環境を将来の世代へ継承することを目指す。	講義、現地視察、実習を含む連続講座24回(うち2回は体験)を実施	講義、現地視察、実習を含む連続講座24回(うち2回は体験)を実施	499	A	予定どおり24回の連続講座を実施し、25名の修了生を輩出したため。	修了生による講座の実施回数3回/年	4回/年	A	1年あたり4回の講座を実施できたため。また、講座以外にも、当課が出展・主催するイベント等の運営にも積極的に協力している。	環境大学の開催により、環境全般について専門的な知識を習得し、身の周りの環境問題の解決に向かって主体的に取り組む環境学習リーダー・学習支援スタッフを育成することができた。
6	1 (1) ①	観光ボランティアガイド養成講座 ※こ・こ・こに講座	観光・MICE推進課	東海道歴史街道を活かしたまち歩き観光の推進に向け、静岡市内で活躍するボランティアガイドからガイドとしての心構えなどを学び、ボランティアガイド人材を養成する。	受講生のうち40%の人が市内のボランティアガイドとして活躍	申込人数 26人 修了生数 24人 団体加入者数 14人 講座実施回数 6回	198	A	受講生26人のうち14人(58%)が駿府ウェイブに加入し、観光ボランティアガイドとして活動している。	受講生のうち40%の人が市内のボランティアガイドとして活躍	58.3%	A	受講生26人のうち14人(58%)が駿府ウェイブに加入し、観光ボランティアガイドとして活動している。	実務的かつ魅力的な講座内容を取り入れ、静岡市内でボランティアガイドとして活躍できる人材を養成することができた。
7	1 (1) ①	英語deおもてなしサポーター養成講座 ※こ・こ・こに講座	観光・MICE推進課	増加傾向にある外国人観光客に対して、英語でおもてなしできる人材の育成を目指す。	受講生のうち40%の人が市内のボランティアガイドとして活躍	申込人数 23人 修了生数 20人 団体加入者数 10人 講座実施回数 6回	341	A	受講生23人のうち10人(43%)が清水区観光ボランティアガイドの会に加入し、観光ボランティアガイドとして活動している。	受講生のうち40%の人が市内のボランティアガイドとして活躍	43.5%	A	受講生23人のうち10人(43%)が清水区観光ボランティアガイドの会に加入し、観光ボランティアガイドとして活動している。	実務的かつ魅力的な講座内容を取り入れ、外国人観光客を英語でおもてなしできる人材を養成することができた。
8	1 (1) ①	地域文化の担い手育成事業 ※こ・こ・こに講座事業含む	文化財課	文化財保護や歴史文化施設の取組で活動する市民サポーターを育成する。文化財サポーター入門講座を実施し、修了者のサポーター登録を進める。	文化財サポーター養成講座の講座内容のリニューアルと全5回の実施	講座名を「入門講座」から「養成講座」に変更し、講座内容を静岡市内全域を均等にピックアップする形にリニューアルしたとともに全5回講座を実施した。	50	A	市内4ヶ所の文化財に触れるとともに新規文化財を取り入れた講座の実施と滞りなく全5回の講座を実施した。	受講生の講座満足度80%以上	受講生の講座満足度80%以上を維持した。	A	毎回の講座において、アンケートを実施し、受講生からいただいた意見等について、次回以降反映するように対応した。	市内にある文化財について、現地に足を運び、文化財を保護・活用する団体から直接話を聞く機会を設けることで、多様な学習機会・特色ある学習機会の提供につながった。
9	1 (1) ①	地域支え合い人材養成講座 ※こ・こ・こに講座	地域包括ケア推進本部	住民主体の介護予防活動の育成・支援を行うため、介護予防に関するボランティア等の人材を養成することを目的とする。主に地域に眠っている資源(団塊世代等の人材)を掘り出し、住民主体の介護予防活動等に結びつけ、地域力を向上させていく。	講座受講により地域や社会のために行動したいと思った割合80%以上	講座受講により地域や社会のために行動したいと思った割合100%	589	A	予定どおり事業を実施し、受講者全員がアンケートにて地域や社会のために行動したいと回答した。	講座終了後に興味を持った人の割合 80%	100%	A	地域の支え合いに関する活動や、地域からの相談業務について経験の豊富な人材に講師を依頼した。また、受講者を生活支援コーディネーターに結び付け、実際の地域の支え合いにつながるよう支援する内容とした。	支え合い活動に主体的に取り組む上で必要な心構えを学び、市民主体の地域づくりに寄与することができた。

第2次生涯学習推進大綱 推進計画 令和4年度 登載事業一覧(R4年度実績)

No	施策名・事業番号	事業名称	所管課	事業概要	令和4年度取組目標	①令和4年度取組実績	②令和4年度決算額(千円)	③令和4年度の評価		後期推進計画未(令和4年度末)成果指標	④後期推進計画未(令和4年度末)成果指標実績	⑤後期推進計画の評価		⑥生涯学習の推進に寄与した取組に関する自己評価
								【指標】 A: 達成度80%以上 B: 達成度50~79% C: 達成度50%未満 D: 未実施	【評価の理由】 指標A: 事業の成果を記入 指標B~D: 達成できなかった理由、事業の成果を記入			【指標】 A: 達成度80%以上 B: 達成度50~79% C: 達成度50%未満 D: 未実施	【評価の理由】 指標A: 成果指標達成のために工夫した点等を記入 指標B~D: 達成できなかった理由等を記入	
10	1 (1) ①	市民後見人養成講座(基礎編) ※こ・こ・こに講座	福祉総務課	市民後見人を養成することにより、成年後見制度の新たな担い手のすそ野を広げるとともに、市民が地域で見守りを行う体制を作り、成年後見制度の利用の促進を図る。(平成30年度から隔年実施)	成年後見制度の概要や対象者理解等についての講座(全11回)を実施し、修了選考を行う。	・講座 全11回(うち講義時間4.7時間、体験学習半日×2日) ・修了者選考結果 16名中13名合格	成年後見制度利用推進事業(25,055千円)の一部	A	予定どおり事業を実施することができたため。	講座修了(選考あり)後、2年目研修(実務編)を受講する参加者が7割以上。	H30~R4年度にかけて63名が講座に参加。うち44名が修了選考を通過し2年目研修(実務編)を受講。	A	計画どおり、講座参加者の7割が2年目研修(実務編)を受講することができたため。	成年後見制度の担い手の養成を通して、市民が地域で見守りをする体制づくりを進め、地域共生社会の実現へ寄与することができた。
11	1 (1) ①	アイボランティア入門講座 ※こ・こ・こに講座	障害福祉企画課	視覚障害者への理解とコミュニケーションを深め、視覚障害者を支えるボランティア(アイボランティア)を養成することを目的に講座を開講する。	計7回の講習を実施	計7回の講習を実施	162	A	予定通り講座を開催できたため。	講座受講生の満足度80%以上	講座受講生の満足度92%	A	視覚障害の当事者や多くのボランティア団体との交流に加え、見えにくさ体験など日常ではなかなか知れない体験を例年盛り込めるように工夫している。	視覚障害のある方に対する知識を深め、かつ実際に見えない世界を体験することによって、参加者に障がいのある方に対するサポートの必要性を理解してもらうことができた。
12	1 (1) ①	こころのバリアフリープロモーター育成事業(講座) ※こ・こ・こに講座	こころの健康センター	「こころのバリアフリー」について考え、周囲と協力しながら普及啓発活動等の実践に向けた講座を開く。	予定された全6回の講座実施	全5回の講座実施	115	A	8月~1月の全6回講座を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から8月の開催を見合わせ、9月~1月に全5回の講座を開催した。	予定された全6回の講座実施	R1 6回実施 R2 6回実施 R3 中止 R4 5回実施 達成度 75%	B	R3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催中止、R4年度は全5回に変更し開催した。	講座参加者へのアンケートの結果、理解度は90%を超えており、地域や家庭、職場において「こころのバリアフリー」を意識して活躍できる人材を養成することができた。
13	1 (1) ①	子育てサポーターの育成 ※こ・こ・こに講座	子ども未来課	NPO法人との協働により、「子育てサポーター養成講座」を開催し、地域で活動する子育てボランティアの養成を行うとともに、講座修了者に対して、研修会等を実施する。	「子育て∞親育ち学校」を年6回開催。	予定どおり「子育て∞親育ち学校」を年6回開催。	496	A	予定どおり「子育て∞親育ち学校」を年6回開催し、会場24名、録画配信96名が参加。	「子育て∞親育ち学校」6回を開催。	「子育て∞親育ち学校」6回を開催。	A	予定どおり「子育て∞親育ち学校」を年6回開催し、会場24名、録画配信96名が参加。	子育て中の親(保護者)や子育て支援関係者のスキルアップを図ることができた。
14	1 (1) ①	ひきこもりサポーター養成講座 ※こ・こ・こに講座	青少年育成課	ひきこもりに悩む方やその家族について学び支援する「ひきこもりサポーター」を養成する。	・ひきこもりサポーター養成講座の実施。 ・ひきこもりサポーター養成者数7人以上	・ひきこもりサポーター養成講座の実施。 ・ひきこもりサポーター養成者数15人	85	A	全5回予定通り開催した。ひきこもりサポーター養成者数7人以上を達成し、15人養成した。	講座を受講した人のうち、70%の人が講座を修了する。	講座を受講した人のうち、100%の人が講座を修了した。	A	全ての受講者が講座を修了できるような、委託先と連携を図り、養成講座運営の準備や実施の補助を行った。	全5回の講座を通して、ひきこもり支援の基礎知識を身につけ、ひきこもり支援機関と共に支援をサポートできる人材を養成することができた。
15	1 (1) ①	“学校・地域 ひとつなぎ”コーディネーター養成講座 ※こ・こ・こに講座	教育総務課	学校と地域の連携事業を推進していくことができる人材を養成するとともに、連携事業の充実・周知に努める。	「“学校・地域 ひとつなぎ”コーディネーター養成講座」を実施(6回連続講座)	「“学校・地域 ひとつなぎ”コーディネーター養成講座」を実施(6回連続講座)	1,427	A	養成講座を6回開催し、学校と地域をつなぐ役目として関わってほしいという意識付けができたため。さらに、広報手段を増やしたことで定員を超える申込みがあった。	講座修了後、次年度に学校支援や放課後子ども教室の諸活動に関わっている参加者が5割以上	これまで、講座を受講した多くの修了生が学校応援団活動や放課後子ども教室といった活動に参加した。令和4年度に関しては、修了生のうち30名中22名が諸活動を開始した。	A	養成講座について広報手段を増やしたことで、受講生が増加した。講座の目的である学校と地域の連携・協働活動を推進する数多くの人材を育成できたため。	「静岡シズンカレッジこ・こ・こ」の専門課程に位置付け、学校と地域の連携事業を推進する人材を育成することができた。
16	1 (1) ①	しずおか教師塾 ※こ・こ・こに講座	教職員課	教育に対する情熱や使命感をもち、公教育が抱える現在の多様な教育的ニーズに正面から取り組むことができ、人を敬い、子どもを愛し、次代を担う人づくりへの職責を意識し、市民から信頼される人材を育成する。	・人間力と教師力を高めるカリキュラムの実施(58講座) ・応募者数増加のための広報活動の実施 ・塾運営の充実のための運営協力者会の実施(3回)	・人間力と教師力を高めるカリキュラムの実施(58講座) ・応募者数増加のための広報活動の実施 ・塾運営の充実のための運営協力者会の実施(3回)	1,858	A	教育に対する情熱や使命感をもった市民から信頼される人材を育成することができた。	卒塾者の中から、80名の小学校教員の採用(1年20名)	卒塾者の中から、72名の小学校教員の採用	A	小学校現場の多様な教育的ニーズに応えるため、人間力を磨き、教師力を高める講座を行った。	教育に対する情熱や使命感をもった市民から信頼される人材を育成することができた。
17	1 (1) ①	生涯学習施設における人材養成講座の実施 ※こ・こ・こに講座	生涯学習推進課	生涯学習センターにおいて、(指定管理者による)市民主体のまちづくりを担うシズンシップに富んだ人材を養成する講座を実施する。	生涯学習センター11施設のうちいずれか2施設において、市民主体のまちづくりを担うシズンシップに富んだ人材を養成する講座を実施	生涯学習センター11施設のうちいずれか2施設において、市民主体のまちづくりを担うシズンシップに富んだ人材を養成する講座を実施	指定管理料の一部	A	予定どおり生涯学習センターの2施設において「市民主体のまちづくりを担うシズンシップに富んだ人材を養成する講座」を開催したため。 また、修了後アンケート回答者の100%が「地域や社会のために行動したい」と回答した。	講座を受講した人のうち、シズンシップが身についた人の割合 90%	講座を受講した人のうち、シズンシップが身についた人の割合 100%	A	令和4年度から「運動でつながる~スキルを活かそう~」が加わり、「学習支援人材養成講座」合わせ2講座に増加して、地域や社会のために自ら行動する人材養成の更なる推進に取り組んだ。	講座の開催を通じて、地域や社会のために自ら行動する人材を育て、市民主体のまちづくりを推進した。
18	1 (1) ①	スポーツ指導者スキルアップ講習会	スポーツ振興課	大学教授や医師、インストラクター等を招いて、基本的な指導法や指導に対する心構えなどの習得を図るため講習会を開催する。	年6回程度開催 参加者数 180人	年6回開催 参加者数 200人	7,922(市民大会等開催業務委託の一部)	A	計画通り開催することができ、参加者数が目標を上回った。	年6回程度開催 参加者数 180人	年6回開催 参加者数 200人	A	現在のスポーツ指導者の活動におけるニーズに合致した内容を実施した。	参加者からの満足度は高いため、より参加者が増えるよう周知方法を工夫する。

第2次生涯学習推進大綱 推進計画 令和4年度 登載事業一覧(R4年度実績)

No	施策名・事業番号	事業名称	所管課	事業概要	令和4年度取組目標	①令和4年度取組実績	②令和4年度決算額(千円)	③令和4年度の評価		後期推進計画末(令和4年度末)成果指標	④後期推進計画末(令和4年度末)成果指標実績	⑤後期推進計画の評価		⑥生涯学習の推進に寄与した取組に関する自己評価
								【指標】 A:達成度80%以上 B:達成度50~79% C:達成度50%未満 D:未実施	【評価の理由】 指標A:事業の成果を記入 指標B~D:達成できなかった理由、事業の成果を記入			【指標】 A:達成度80%以上 B:達成度50~79% C:達成度50%未満 D:未実施	【評価の理由】 指標A:成果指標達成のために工夫した点を記入 指標B~D:達成できなかった理由等を記入	
19	1 (1) ①	生活支援体制整備事業	地域包括ケア推進本部	地域包括ケアシステム推進のため、生活支援サービスの担い手の育成やサービスの開発が求められている。多様な主体間の情報共有及び連携・協働による資源開発等を推進することを目的に協議体を設置するとともに、ボランティア等の生活支援の担い手の養成・発掘等の地域資源の開発やそのネットワーク化などを行う生活支援コーディネーターを配置する。	新たな支え合い活動の創出 6か所	新たな支え合い活動の創出 12か所	105,461	A	新たな支え合い活動の創出に向けた打合せの場、生活支援コーディネーターが積極的に参画し、先進事例や視察先の紹介、立ち上げ支援等に取り組んだ。	生活支援コーディネーター配置(各層)1名、3区、30圏域協議体の設置(各層)1協議体、3協議体、30協議体	生活支援コーディネーター配置(各層)1名、3区、30圏域協議体の設置(各層)1協議体、3協議体、30協議体	A	生活支援コーディネーターを1市3区30圏域に継続的に配置し、地域における支え合い活動の強化に向け、本市の支え合い活動の先進事例を掲載したガイドブックを地区社協の会議などを通じて周知し、また、先進事例や視察先の紹介、実際の活動の立ち上げや運営支援などに取り組んだ。	支え合い活動の立ち上げや継続に向けて、生活支援コーディネーターが支援し、支え合い活動に主体的に取り組む人材を発掘・養成した。
20	1 (1) ①	移動支援事業従事者養成研修	障害福祉企画課	静岡市内において知的障害者の移動を支援するガイドヘルパーが不足している現状を鑑み、知的障害者への理解を深め、新たにヘルパーとなって活躍していただく人材を養成するための研修を開催する。	年2回の研修の実施	年2回の研修を実施	818	A	年2回の研修を実施できたため。	年間参加者数の合計が常に定員に達している。	年間参加者数 67名	A	定員60名以上の参加者数を確保できたため。	障がいのある方への理解を深め、かつ地域で不足しているガイドヘルパーを担える人材を養成する目的で開催することができた。
21	1 (1) ①	高校生まちづくりスクール(プロジェクト編)	青少年育成課	地域に興味を持ち地域の現状を主体的にとらえ行動できるような自己有用感のある若者を育成するため、興味関心の近い参加者同士で、興味から派生するまちに対しての課題意識を解決するための企画を実施する。	高校生まちづくりスクール(プロジェクト編)を1コース実施	高校生まちづくりスクール(プロジェクト編)を1コース実施(7月~10月)	689	A	全6回予定どおり実施した。	自分が社会のために何かできるという実感を得た受講者の割合100% これからの静岡市への希望・期待感を得られた受講者の割合100%	自分が社会のために何かできるという実感を得た受講者の割合92% これからの静岡市への希望・期待感を得られた受講者の割合100%	A	高校生が自ら考えた、課題解決のためのプロジェクトを実現できるよう、関係機関や、講師・サポーターとの情報共有を行い、活動の支援に努めた。	全6回の講座と自主活動を通じて、高校生が主体的に地域の課題解決に取り組む機会を提供し、未来を創る人材を養成した。
22	1 (1) ①	高校生まちづくりスクール(ビジネス編)	生涯学習推進課	高校生が地域の課題やその解決方法を地域の大人とともに実践的に学ぶことで、郷土「静岡」に愛着や誇りを持ち、これからのまちづくりの重要な担い手となるよう育成を図る。 また、若者(高校生)という新しい視点から地域を見ることで、地域づくりや地域活性化に幅広い住民の意思を反映することも図る。	高校生まちづくりスクール(ビジネス編)の開催(全5回)	高校生まちづくりスクール(ビジネス編)の開催(全5回)	1,187	A	予定どおり高校生まちづくりスクール(ビジネス編)(16名修了)を開催したため。 また、受講後アンケート回答者の100%が「地域や社会のために行動したい」と回答した。	講座を受講した高校生のうち、シチズンシップが身についた人の割合 80%	講座を受講した高校生のうち、シチズンシップが身についた人の割合 100%	A	高校生が考案したビジネスプランの実現に向けて、企業とのマッチングなどの支援を行い、実際にいくつか起業や商品化に結びつけることができた。	高校生が地域の課題等について実践的に学ぶ場を提供することで、これからのまちづくりの重要な担い手を育成することができた。
23	1 (1) ①	まちづくり・エリアマネジメント普及啓発の推進	都市計画課	地域のまちづくり活動支援やエリアマネジメントの担い手育成等を目的として、まちづくりに関する各種講演会・シンポジウム・展示会・ワークショップの開催を幅広い市民を対象に行い、まちづくり活動の啓蒙啓発や普及促進を図る。	葵スクエア・青葉緑地エリア、常磐公園周辺エリアにおける社会実験の実施(1回以上)	〈青葉通り社会実験〉R4.11月~12月、R5.1月~2月の期間、青葉通りにて、キッチンカーやマルシェなどの「飲食・買い物」、人工芝やベンチを設置した「遊び・運動」をテーマとした空間活用を、iLoveしずおか協議会と協働で実施。 〈常磐テラス社会実験〉令和3年度に引き続き青葉緑地C3エリアの「常磐テラス」を継続活用し、「なつあそび」「ハンドベル演奏会」等のイベントを地域と協働で実施。	静岡都心地区まちなか再生事業(18,964千円)の一部	A	〈青葉通り社会実験〉利用者の滞在時間の増加および行動の多様性(座る、食べる、遊ぶ等)を創出し、青葉通りのポテンシャルを確認するとともに、居心地の良い場づくりに貢献した。 〈常磐テラス社会実験〉イベントの実施により、一定の来場があったことから、「常磐テラス」の認知度向上に繋がった。イベントや日常的に市民が寛げるスペースとして、居心地の良い場づくりに貢献している。	公共空間を活用した活用したまちの賑わいづくりに寄与する取組の実施日数 236日	公共空間を活用した活用したまちの賑わいづくりに寄与する取組の実施日数 251日	A	社会実験の取組から、公共空間の認知度の向上やその使い方を認識してもらうことで、民間の公共空間の利活用を推進することができた。	人中心の歩きたくなるまちなかの形成に向け、屋外公共空間の利活用や持続可能なまちづくりに関する意識の醸成をし、まちの賑わいづくりに寄与した。
24	1 (1) ①	防災指導員の育成	危機管理総室 各区地域総務課	地域の自主防災活動において、他の模範となって防災活動を推進していく立場となる人材の育成を図る。	防災講演会の実施(1回)	清水テルサにて「令和4年度静岡市防災講演会」を開催(参加者は自主防災組織236人)	91	A	「令和4年度静岡市防災講演会」を開催し、参加者236人に対して地域防災力の強化につながる事例などを提供できたため。	研修会の満足度 80%	研修会満足度: 99%	A	講師を派遣し、被災地の実体験に基づいた避難所運営等の講演を提供できたため。	「令和4年度静岡市防災講演会」の開催により、災害への事前準備や発災時の対応に役立て、地域防災力の強化を図ることができた。

第2次生涯学習推進大綱 推進計画 令和4年度 登載事業一覧(R4年度実績)

No	施策名・事業番号	事業名称	所管課	事業概要	令和4年度取組目標	①令和4年度取組実績	②令和4年度決算額(千円)	③令和4年度の評価		後期推進計画末(令和4年度末)成果指標	④後期推進計画末(令和4年度末)成果指標実績	⑤後期推進計画の評価		⑥生涯学習の推進に寄与した取組に関する自己評価
								【指標】 A:達成度80%以上 B:達成度50~79% C:達成度50%未満 D:未実施	【評価の理由】 指標A:事業の成果を記入 指標B~D:達成できなかった理由、事業の成果を記入			【指標】 A:達成度80%以上 B:達成度50~79% C:達成度50%未満 D:未実施	【評価の理由】 指標A:成果指標達成のために工夫した点等を記入 指標B~D:達成できなかった理由等を記入	
25	1 (1) ①	地域の防災リーダーを育成する研修の実施	葵区役所地域総務課	地域防災の基本にのった防災体制の確立を目指して、災害応急活動等に関し必要な知識や技術を習得することにより、防災意識の高揚及び地域における災害対応力の向上を図る。	研修会の満足度80%	地域防災リーダー育成研修会の実施(1回 受講者50人 満足度100%)	0	A	研修会を実施することで、防災活動に関する基礎的知識及び技術を有する人材を育成することができた。	研修会の満足度80%	研修会の満足度100%	A	地域の特性、受講者の要望等を踏まえながら研修会を計画、実施し、満足度100%に繋がった。	市民が学ぶ機会を提供するとともに、地域課題に取り組む市民を育成することができた。
			駿河区役所地域総務課		研修会の満足度80%	参加者44名 研修会の満足度90%	0		予定していた対面での研修を実施することができ、研修満足度も概ね良好であった。	研修会の満足度80%	参加者44名 研修会の満足度90%		予定していた対面での研修を実施することができ、研修満足度も概ね良好であった。	防災の実技について講習を実施し地域の防災リーダーの育成につながった。また、参加者が地域で実技指導できるようになることにより、今後の人材育成につながる。
			清水区役所地域総務課		自主防災講習会3回 自主防災連絡会1回	自主防災講習会3回 自主防災連絡会0回	0		自主防災講習会については計画どおり3回実施し、94名の参加者の防災に関する意識を高め、知識の習得を図ることができた。自主防災連絡会は実施しなかったが、これは、実際に発生した台風15号による被害対応に最優先で取り組むために、開催を取りやめたものである。	自主防災講習会延べ8回開催(年2回) 自主防災連絡会延べ4回開催(年1回)	自主防災講習会延べ9回開催 自主防災連絡会延べ2回開催		自主防災講習会は、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大予防のため、また、令和4年度は台風15号による被害対応に最優先で取り組むため、それぞれ開催を取りやめたが、自主防災講習会については、目標以上の回数を実施し、多くの参加者の防災意識の向上や災害時緊急対応に関する知識や技術の習得を図ることができた。令和4年度の台風15号の発災時は、区本部と地区支部、自主防災会が連携して、日頃の講習や訓練の成果を実践することにより、より一層の防災意識の向上や新たな課題の洗い出しにつながった。	自主防災講習会を通じて、自助・共助の重要性を周知し、防災知識の習得や防災意識の向上を図ることができた。
26	1 (1) ①	ライフデザイン・ワークショップ ファシリテーター養成講座 ※こ・こ・に講座	商業労政課	「ライフデザイン・ワークショップ」で自らの人生の再編集/再設計を体験し、心地よくワクワクする人生をデザインするために、安全・安心に過ごせるワークショップの場づくりに関して学んでもらうことで、就労困難者の方々の再チャレンジをサポートする支援人材(ライフデザイナー)を養成する。	全4回のコースを2コース実施(合計8回開催)	全8回のコースを2コース実施(合計16回開催)	静岡市就職氷河期世代向けライフデザイン事業実施計画策定等業務委託料(32,945千円)の一部	A	目標を上回る回数で2コース実施できたため	本講座を受講後「今後、地域や社会を良くするために行動していきたい」と回答した人が7割以上	100%	A	通常の講座運営に加えて、オンラインを活用した受講者間の積極的な意見交換を図る支援や、補修用の動画の作成といった欠席者への支援等を行ったため。	就労困難者をサポートする地域の人材の育成に寄与している。
1 (1) ② 多様な学習機会・特色ある学習機会の提供														
27	1 (1) ②	市政出前講座の実施	広報課	市民参画による活力ある行政を展開するため、職員自らが地域へ外向き、対話を通して市民の考えや期待に触れる機会を設け、市民との信頼関係を築き、市民の市政に対する理解を深めると共に、市政運営をより身近に感じてもらうための事業を行う。	講座メニューを120以上設定する。	講座メニュー数:124個	各課にて開催	A	講座メニューを目標を上回る124個に設定できた。	開催回数 年350回 受講者数 年20,000人	①開催回数 475回/年 ②受講者数 18,315人/年	A	受講者数は目標値に若干届かなかったが、目標の約1.3倍の回数の講座を開催し、市民の方に講座に参加する機会を多く提供することができた。	市政に対する理解を高め、市政運営を身近に感じてもらえる、様々なメニューの出前講座を開催し、多様な学習機会を提供することができた。
28	1 (1) ②	社会教育事業の実施 高齢者学級	生涯学習推進課	高齢者が新たな知識、技術を学ぶとともに、仲間づくりや異なる世代間の交流をとおし、豊かな人生を送ることを目的とし、高齢者学級を開催する。	高齢者学級を36学級開催	高齢者学級を37学級開催 延べ参加者数17,315人 受講生満足度90.6%	1,094千円+指定管理料の一部	A	取組予定を上回る学級数を開設したため	受講生満足度90%以上	受講生満足度90.6%	A	指定管理者(34学級)及び直営(3学級)により、受講満足度を満たす適切な講座企画・運営ができていた結果と考えられる。	仲間づくりや新たな交流とあわせ、高齢者のライフステージにあわせた学習機会を提供することができた。
29	1 (1) ②	社会教育事業の実施 女性学級	生涯学習推進課	女性が現代的課題等について学び、従来の性別役割分担意識を見直し、仲間をつくることにより、より一層社会に参画することを目的とし、女性学級を開催する。	女性学級を25学級開催	女性学級を25学級開催 延べ参加者数2,804人 受講生満足度95.2%	指定管理料の一部	A	取組予定とおりの学級数を開設したため	受講生満足度90%以上	受講生満足度94.0%	A	指定管理者(25学級)により、受講満足度を満たす適切な講座企画・運営ができていた結果と考えられる。	女性が現代的課題等について学び、従来の性別役割分担意識を見直し、仲間をつくる機会を提供し、女性の社会参画を支援することができた。
30	1 (1) ②	社会教育事業の実施 家庭教育学級	生涯学習推進課	子の保護者が家庭教育に必要な現代的課題等について学び、仲間を作ることにより、子どもたちの健やかな成長を促し、豊かな人間性を育むことを目的とし、家庭教育学級を開催する。	①家庭教育学級を28学級開催 ②家庭教育講演会の開催 ③ブロック別家庭教育セミナーの開催	①家庭教育学級を28学級開催 延べ参加者数1,492人 受講生満足度94.3% ②家庭教育講演会の開催 参加者数116人 参加者満足度89.0% ③ブロック別家庭教育セミナーを7回開催(7ブロック) 延べ会場参加者数154人 延べオンライン参加者数25人 参加者満足度95.8% 延べ視聴回数626回	735千円+指定管理料の一部	A	取組予定とおりの学級数を開設し、講演会及びセミナーを実施したため	受講生満足度90%以上	受講生満足度94.3%	A	指定管理者(28学級)により、受講満足度を満たす適切な講座企画・運営ができていた結果と考えられる。	子どもの保護者が家庭教育に必要な現代的課題等を学ぶ機会を提供することができた。

第2次生涯学習推進大綱 推進計画 令和4年度 登載事業一覧(R4年度実績)

No	施策名・事業番号	事業名称	所管課	事業概要	令和4年度取組目標	①令和4年度取組実績	②令和4年度決算額(千円)	③令和4年度の評価		後期推進計画末(令和4年度末)成果指標	④後期推進計画末(令和4年度末)成果指標実績	⑤後期推進計画の評価		⑥生涯学習の推進に寄与した取組に関する自己評価
								【指標】 A:達成度80%以上 B:達成度50~79% C:達成度50%未満 D:未実施	【評価の理由】 指標A:事業の成果を記入 指標B~D:達成できなかった理由、事業の成果を記入			【指標】 A:達成度80%以上 B:達成度50~79% C:達成度50%未満 D:未実施	【評価の理由】 指標A:成果指標達成のために工夫した点を記入 指標B~D:達成できなかった理由等を記入	
31	1 (1) ②	防犯講話の実施	生活安心安全課	犯罪発生状況、防犯の役立つポイント、地域防犯活動への支援等の情報提供を行うことにより参加者の防犯意識の高揚を図る。	・防犯団体研修会の開催 ・要望があれば随時開催	・新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、防犯団体研修会の開催は中止し、各防犯団体に対し、令和4年の市内の犯罪概況を郵送し、情報提供した。 ・防犯講話の開催希望のあった1団体に対し、職員を派遣し、防犯講話を実施した。	0	A	・防犯団体研修会は開催できなかったが、市内の犯罪概況を情報提供したことにより、市内で発生している犯罪や不審者事案の特性等を各防犯団体が情報共有できたため。 ・希望のあった1団体に対する防犯講話を実施し、参加者の防犯意識の高揚を図ることができたため。	刑法犯認知件数 3,800件以下	2,800件	A	警察等の関係機関と連携しながら、防犯団体研修会の開催や希望団体に対する防犯講話等を実施することにより、犯罪情報等の情報共有がなされ、防犯意識の高揚が図られたため。	防犯団体研修会や防犯講話を通じて、参加者に学習の機会を提供することができた。
32	1 (1) ②	消費者教育の実施	生活安心安全課	学校、地域、家庭など様々な場において、幼児期から成人期までの発達段階に応じた消費者教育を受けられるよう、出前講座や消費生活展等を開催する。	消費者市民ミニ講座の実施	4,366人に実施	5678千円の一部 (消費者保護啓発経費(経常))	A	目標値を計画期間の1年度あたりに換算した際の数値3,500人/年を越えているため	消費者市民ミニ講座等への累計参加人数 28,000人 (平成30年度末現在 16,158人)	28,117人	A	様々な講座の際に機会を逃さず「消費者市民社会」についての啓発を行ったため	「消費」というだけでも日常生活で関わる分野での学びの機会を提供することができた。
33	1 (1) ②	初心者スポーツ教室の開催	スポーツ振興課	普段運動しない人にスポーツに親しんでもらうよう、初心者を対象にしたスポーツ教室を開催する。	年6回教室開催 参加延べ人数 480人	年6回教室開催 参加者数487人	104	A	多様な世代を対象に教室を開催し、教室開催数、参加者数も目標を達成することができた。	年6回教室開催 参加延べ人数 480人	年6回教室開催 参加延べ人数480人	A	申込方法について、チラシの配布だけではなく、LINEも活用し、申し込み方法もコールセンターだけでなく、HPからも申し込みができるようにした。	開催内容により、定員に対する参加申込数にバラつきがあった。このため、参加者数が定員に対し少ない教室について、教室の内容や周知方法の見直しを行う。
34	1 (1) ②	環境学習推進事業・環境保全活動事業の推進	環境創造課 (R5環境共生課)	未来を担う子どもたちを対象に、地球環境問題への関心を引き出すための事業や身近な河川や自然と触れ合う機会を提供する事業を実施するとともに、様々な場における学習の機会を広げ、市民の環境意識の高揚と環境保全活動への取り組みを促進するための事業を展開している。	(1)東海大学との共催事業 ・2回 (2)水のおまわりさん事業 (3)環境学習指導員派遣事業 ・指導員派遣数220人 (4)環境ハンドブック作成事業 ・1テーマ作成 (5)市民生きもの調査員養成講座 ・受講生20人など	(1)東海大学との共催事業 ・海浜植物観察会 ・動画作成 ・フランクton観察会 38人参加 ・シロワオ観察会 40人参加 (2)水のおまわりさん事業 ・17団体、 931人参加 (3)環境学習指導員派遣事業 ・指導員派遣数220人 (4)環境ハンドブック作成事業 ・1テーマ作成 (5)市民生きもの調査員養成講座 ・終了生21人など	4,406	A	未来を担う子どもたちを対象に、地球環境問題への関心を引き出すために、東海大学との共催事業や環境学習指導員派遣による様々な学習機会を提供することができた。	環境学習会等への参加者数 3,250人	2,830人	B	指導員派遣など目標以上に実施したものの、新型コロナウイルス感染症対策の一環として参加者数を絞ったものなどもあったため、成果指標を達成することができなかった。	未来を担う子どもたちを対象に、地球環境問題への関心を引き出すための事業や身近な河川や自然と触れ合う機会を提供する事業を実施するとともに、様々な場における学習の機会を広げ、市民の環境意識の高揚と環境保全活動への取り組みを促進するための事業を実施することができた。
35	1 (1) ②	次世代エネルギーパーク見学ツアーの実施	環境創造課	次世代エネルギーパークをバスツアーで巡りながら、周辺観光と「自然」と「文化」に触れながら、地球温暖化と再生可能エネルギーについて学習する。	・次世代エネルギーパーク紹介動画の配信(3本)	次世代エネルギーパークである三保地区や日本平動物園等の構成施設などの動画をSNSで発信した。	0	A	予定通り動画の発信を行ったため。	イベント参加者の次世代エネルギーへの理解度90%以上	91.1%	A	イベント参加者が次世代エネルギーについて理解ができるような説明を心掛けた。	SNSを活用することで新たな学習機会の提供に繋げることができた。
36	1 (1) ②	水素科学教室の開催	環境創造課	水素エネルギーの普及啓発のため、若年層を対象に科学教室を実施する。	静岡科学館る・く・るでの科学教室(テーブルサイエンス)の実施(9回)	静岡科学館る・く・るでの科学教室(テーブルサイエンス)の実施(9回)	453	A	予定通り教室を実施することができたため	イベント来場者の水素エネルギーへの理解度 85%	100%	A	イベント来場者全員が水素エネルギーに対する理解が深まったと回答したため。	これまでに学んだことのないテーマについて訴求することができた。
37	1 (1) ②	南アルプスユネスコエコパーク高山植物保護セミナー	環境創造課 (環境共生課)	南アルプスユネスコエコパークに関する学習や南アルプスの植生状況調査及びニホンシカ等の食害に関するセミナーを静岡市葵区の榎島ロッジや千枚小屋周辺で実施し、若い世代に向け南アルプスユネスコエコパークの理念や高山植物保護の重要性の啓発を行う。また、事前学習会と事後学習会を開催することにより、参加学生の理解促進及び不参加の学生や各学校への波及を図ることで、豊かな自然環境を守り、将来の世代へ引継いでいく人材を育成し、本市が目指す、人と自然が共に生き、持続的に発展していくまちの実現を目指す。	(1)第1回学習会 (2)現地セミナー (3)第2回学習会	(1)第1回学習会(7月) (2)現地セミナー(8月) (3)第2回学習会(10月)	1,136	A	第1回学習会(7月開催/参加者19名)、現地セミナー(8月開催/参加者9名)、第2回学習会(10月開催/参加者18名)の計3回実施した。	今後も高山植物の保護活動に参加したいと回答した生徒の割合 86%以上	今後も高山植物の保護活動に参加したいと回答した生徒の割合 100%	A	現地セミナーの開催前に事前の学習会を行うことで、現地での学習内容を予習し、土気を高めることができた。また、現地セミナーでは大学教授に講師をしてもらうことで、より専門的で効果的な学習を行った。	現地セミナーおよび第2回学習会では大学教授や関係機関からの講座を取り入れるなど、より専門的な知見を学んだことで高山植物保護の担い手の育成につなげられた。
38	1 (1) ②	在宅医療出前講座	地域包括ケア推進本部	「自宅ですつと」在宅医療・介護連携推進事業における各地区のミーティングに参加した医療・介護専門職に講師を務めていただくことで、専門職のスキルアップを図るとともに、地域の医療・介護専門職による講座をとおして、在宅医療・介護連携について市民の理解を深める。	申込みのあった4団体を対象に講座を開催。	申込みのあった7団体のうち6団体を対象に講座を開催。開催しなかった1団体は新型コロナウイルス感染症を考慮し、中止した。	25	A	申込団体のニーズに沿った講座を開催できた。	受講者アンケートによる出前講座の理解度90%以上	受講者アンケートによる出前講座の理解度93%	A	事務局である市が、申込団体のニーズを申込段階で十分に聞きとり、把握し、それを講師を務める専門職へ丁寧に説明したことにより、受講者の理解度を高めることができた。	「自宅ですつと」ミーティングに参加した専門職のスキルアップ及び在宅医療・介護連携について市民の理解を深めることができた。

第2次生涯学習推進大綱 推進計画 令和4年度 登載事業一覧(R4年度実績)

No	施策名・事業番号	事業名称	所管課	事業概要	令和4年度取組目標	①令和4年度取組実績	②令和4年度決算額(千円)	③令和4年度の評価		後期推進計画末(令和4年度末)成果指標	④後期推進計画末(令和4年度末)成果指標実績	⑤後期推進計画の評価		⑥生涯学習の推進に寄与した取組に関する自己評価
								【指標】 A:達成度80%以上 B:達成度50~79% C:達成度50%未満 D:未実施	【評価の理由】 指標A:事業の成果を記入 指標B~D:達成できなかった理由、事業の成果を記入			【指標】 A:達成度80%以上 B:達成度50~79% C:達成度50%未満 D:未実施	【評価の理由】 指標A:成果指標達成のために工夫した点等を記入 指標B~D:達成できなかった理由等を記入	
39	1 (1) ②	老人福祉センター等における高齢者の社会参加促進事業	高齢者福祉課	老人福祉センター、老人憩の家、世代間交流センターにおいて、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションに関する事業を実施する。(指定管理業務)	利用者の満足度90%	利用者の満足度96.7%	指定管理料の一部	A	指定管理者からの利用者アンケートの結果が目標を大きく上回っていたため。	施設利用者満足度:90%以上	施設利用者満足度:96.7%	A	指定管理者からの利用者アンケートの結果が目標を大きく上回っていたため。	健康の増進、教養の向上及びレクリエーションに関する事業の実施により、高齢者へ学習の機会を提供することができた。
40	1 (1) ②	障害者スポーツ教室	障害福祉企画課	日頃、スポーツへの参加が困難な障がいのある方のために、スポーツの経験が少ない人でも取り組みやすいスポーツやレクリエーションの体験教室を開催し、障がいのある方の自立と社会参加を促進し、また、障がいのない方との交流を通じて障がいや障がいのある方への理解を促進する。	1回2時間、10回程度開催する。	1回2時間、10回開催した。	253	A	予定通り教室を開催できたため。	今後もスポーツ活動をしたいと思う人80%以上	今後もスポーツ活動をしたいと思う人92%	A	講師の丁寧な指導と接し方、体験できる競技の豊富さが参加者のスポーツ活動に対する意欲に繋がった。	障がいのある方が新しいことへのチャレンジをする機会と社会参加を促進し、また、障がいのない方との交流を通じて障がいや障がいのある方への理解を促進することができた。
41	1 (1) ②	子どもの救急講座	保健衛生医療課	未就学児等の保護者を対象に、急な発熱等急病時の対処方法や医療機関を受診するタイミング等子どもの救急について理解を深めてもらうため、小児科医による講座を実施。	1回以上開催又は開催を希望することも園(1園以上)にガイドブック等を配布。(講座が開催できた場合はアンケートを実施:満足度90%以上)	1回開催	16	A	開催を希望することも園で、1回講座の開催を行うことができた。	講座の満足度90%以上	講座の満足度100%	A	講座後のアンケートで、受講者の全員が、講座の内容に満足している回答しており、講座の満足度100%を達成した	講座を開催することで、未就学児の子を持つ保護者に対して、子どもの救急について理解を深める学習機会を提供することができた。
42	1 (1) ②	母子健康教育事業・母子健康相談事業	子ども家庭課・健康づくり推進課・各区健康支援課	育児に関する教室、育児相談事業、および母子手帳交付時などの機会をとらえ、母子の健康増進と乳児の心身の健やかな成長を支援する。 ①フレッシュマタニティ教室 ②プレママ育児講座 ③産前産後教室 ④子育て講演会 ⑤離乳食の作り方教室 ⑥おやこ食育教室 ⑦9か月児歯の教室 ⑧所内育児相談 ⑨2歳児歯の教室(令和元年度終了)	育児に関する教室、相談事業の実施など実践的な学習を行い、育児世代の親に向けて学習機会を提供する。	① 38回 ② 12回 ③ 35回 ④ 5回 ⑤ 120回 ⑥ 24回 ⑦ 101回 ⑧ 290回 ⑨ -	15,019	A	新型コロナウイルス感染症対策に配慮しながらの事業実施であったが、概ね計画通りの事業を開催し、母子の健康増進と乳児の健やかな成長を支援することができた。	開催回数 ① 44回以上 ② 10回以上 ③ 30回以上 ④ 1回以上 ⑤ 120回以上 ⑥ 20回以上 ⑦ 100回以上 ⑧ 190回以上 ⑨令和元年5月で終了	① 38回 ② 12回 ③ 35回 ④ 5回 ⑤ 120回 ⑥ 24回 ⑦ 101回 ⑧ 209回 ⑨ -	A	新型コロナウイルス感染症対策に配慮しながらの事業実施であったが、概ね計画通りの事業を開催し、母子の健康増進と乳児の健やかな成長を支援することができた。	妊娠前から産後の子育て期にかけて、実践的な学習の機会が提供できた。
43	1 (1) ②	動物愛護の促進	動物指導センター	動物愛護館において、動物愛護を目的とした講座については随時、イベントについては月1回程度実施している。	年間イベント数(ペットの飼い方・しつけ方教室等)12回以上(業務仕様書に記載)	イベント14回、参加者1,268人 わんわん教室5回、参加者90人 体験学習・インターンシップ17回、参加者104人 犬・猫の譲渡59匹	指定管理料の一部	A	年間イベント数は目標を達成することができ、動物愛護等に関する正しい知識や技術を習得する機会を提供することができた。	講座を月1回以上実施し、年間利用者15,000人を目指す。	講座(イベント)を月1回以上(年間14回)実施。年間利用者12,410人。	A	利用者からの意見や要望を参考に魅力ある講座・イベントの実施に努めた結果、達成度80%以上を達成することができた。	動物愛護や狂犬病予防に関する正しい知識や技術を習得する機会を提供することで生涯学習の推進に寄与できた。
44	1 (1) ②	食の安心・安全リスクコミュニケーション、食の安全教室の実施	食品衛生課	市内の生涯学習施設等で、食の安全についての講座や食品表示の研修会を開催する。小学校等では「食中毒予防」の考え方から、児童・生徒等を対象として、食の安全に関する正しい知識を伝える「食の安全教室」を実施している。	生涯学習施設等でのリスクコミュニケーション20回 食の安全教室10回	生涯学習施設等でのリスクコミュニケーション26回270人 食の安全教室9回274人	258	A	参加者のアンケートにおける理解度(わかったまたはよくわかったと回答)は100%だった。	アンケートにおける理解度90%以上	参加者のアンケートにおける理解度(わかったまたはよくわかったと回答)は100%だった。	A	新型コロナウイルス感染症に対する感染防止対策を行って教室を開催したほか、食の安全に関する動画をネットで公開し、食の安全・安心に関する意識の向上につなげた。	小学生や妊婦など多様な市民を対象に食の安心安全に係る情報を提供することができた。
45	1 (1) ②	青少年国際親善交流の実施	青少年育成課	青少年に国際交流の機会を提供することで、外国人との相互理解と友好を深め、広い国際的視野と国際協力の精神を養う。	国際交流事業を1回実施	青少年国際親善交流事業を2回実施(8月、9月)	0	A	予定を上回り、2回実施した。	参加者の満足度80%以上	参加者の満足度100%	A	新型コロナウイルス感染症の影響で、海外との往来が限られている中、市内在住の外国人講師による講座を実施することで、国内でも海外の文化に触れてもらう機会を提供できた。	「外国の文化を楽しく学ぼう!」(中国編とフランス編各1回)を開催し、各国出身の国際交流員による来日のきっかけや、文化の違いの紹介を通じて、多様な文化の学習機会を提供した。
46	1 (1) ②	少年教室事業の実施	青少年育成課	異年齢集団の中での活動・体験を通して子どもたちの人間性・社会性を育む。	10地区実施 少年いかだまつりの実施	5地区実施 少年いかだまつりの実施(6月)	855	B	新型コロナウイルスの影響により、教室生が集まらず実施できなかった地区が多く、例年の2分の1の教室のみ開講となった。実施できた5地区では、117名の教室生が参加し、異年齢の子どもたちが接する様々な体験活動の場を提供できた。 少年いかだまつりについては、3年ぶりに開催することができた。	教室参加者数321人	教室参加者数117人	C	新型コロナウイルスの影響により、教室生が集まらず、開講自体が例年の2分の1地区のみとなった。	実施できた5地区では、いかだまつりへの参加など、子どもたちを対象に自然体験教室などの多様な体験機会を提供した。
47	1 (1) ②	市民健康講座の実施	清水病院総務課	地域住民の皆さんが安心して元気に暮らせるよう、健康や疾病予防等に関する情報を分かりやすく提供し、誰もが気軽に参加できる講座を開催する。	新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ実施可否を検討	未開催	0	D	新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮し、実施しないこととした。	市民健康講座8回以上の開催	2回開催	C	令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮し、開催を見合わせたため。	新型コロナウイルス感染症の流行により目標に満たない開催回数となってしまったが、地域住民の皆さんが健康や疾病予防等に関する情報を分かりやすく得る機会を提供した。

第2次生涯学習推進大綱 推進計画 令和4年度 登載事業一覧(R4年度実績)

No	施策名・事業番号	事業名称	所管課	事業概要	令和4年度取組目標	①令和4年度取組実績	②令和4年度決算額(千円)	③令和4年度の評価		後期推進計画末(令和4年度末)成果指標	④後期推進計画末(令和4年度末)成果指標実績	⑤後期推進計画の評価		⑥生涯学習の推進に寄与した取組に関する自己評価
								【指標】 A:達成度80%以上 B:達成度50~79% C:達成度50%未満 D:未実施	【評価の理由】 指標A:事業の成果を記入 指標B~D:達成できなかった理由、事業の成果を記入			【指標】 A:達成度80%以上 B:達成度50~79% C:達成度50%未満 D:未実施	【評価の理由】 指標A:成果指標達成のために工夫した点を記入 指標B~D:達成できなかった理由等を記入	
48	1 (1) ②	高校生向けキャリア形成支援事業	商業労政課	市内高校生を対象にインターンシップを通じて就労への意識醸成を図る。、職業人インタビューや就業体験、ワークショップ等による社会人との交流機会を提供し、自らの将来や目標を決めるためのきっかけとってもらうとともに地元就職の促進を図る。	延べ参加校 14校	14校参加	若者の地元就職・UJターン就職促進業務(14,354千円)の一部	A	計画どおり14校の事業参加があった	将来の選択肢が広がったと回答した生徒の割合 90%以上	97.8%	A	各高校のニーズに合わせたプログラムの充実を図ったため。	高校生の進路形成に向けた意識の醸成を図るためのプログラムを実施することで、高校生に多様な学習機会を提供するとともに、将来に対する視野の拡大を図ることができている。
49	1 (1) ②	一般教養講座の実施(パソコン等)	商業労政課	勤労者福祉センターにおいて一般教養やパソコン、フィットネス等の講座を実施する。	講座受講者満足度70%以上	パソコン講座、フィットネス講座、一般教養講座の実施(当該所感勤労者福祉施設):506講座、12,325名参加	指定管理料の一部	A	講座受講者満足度95%を達成したため	講座受講者満足度70%以上	95.0%	A	過年度講座も踏まえながら新規講座を追加する等内容の充実を図ったため。	パソコン講座、フィットネス講座、一般教養講座の実施により、主に勤労者に対し、必要な学習機会を提供することができている。
50	1 (1) ②	再就職支援技能講座開講(介護職員初任者研修)	商業労政課	求職者を対象に訪問介護員養成研修講座を実施する。	介護職員初任者研修講座の実施(全2回)	2回実施	971	A	予定どおり2回講座を実施したため	次年度に行う追跡調査で「講座修了後に就職した」と回答した者の割合 60%以上	86.7%	A	講座の中に、介護・福祉の仕事の就職相談会を含めるなど、就職につながる仕組みを構築できているため	再就職や転職のための支援として、必要な知識や技術を習得する機会を提供することができている。
51	1 (1) ②	料理教室等による食育推進	中央卸売市場	市場関係者の企画提案による料理教室や市場見学等を実施し、食育(食の大切さ)を普及していく。	感染予防に配慮した料理教室の開催	感染予防として人数制限をしたうえで体温計やパーテーションを活用し、料理教室を開催した。	6	A	年9回の年間計画を立て、そのうち8回実施した。	食育に関する情報発信を行い、市場の認知度を向上させ、市民の豊かな食生活の実現を図る。	参加人数上限に対して9割以上の参加があったため、食育に関する情報発信と市場認知度の向上ができたと考ええる。	A	チラシを作成し、近くの生涯学習センターに配ることで新規開拓を行った。	市場で働く専門家の知識を伝えることで、食に関する市場独自の学習機会を提供することができた。
52	1 (1) ②	アグリチャレンジパーク蒲原の運営	農業政策課	アグリチャレンジパーク蒲原の農業体験広場で収穫体験などの農業体験教室を実施することで、農業への理解・関心を深める。	・ひまわりの苗植え体験実施 ・農業体験の実施(土づくりから苗植え、栽培管理、収穫までの一連の作業を実施)	・ひまわりの苗植え体験(17組参加) ・キャベツの農業体験は3回に渡り実施。苗植え体験(9月17日(土))に29組、施肥・防草作業(11月19日(土))に21組、収穫体験(1月21日(土)・2月11日(土))に30組が参加。(計97組)	5,180千円の一部	A	目標どおりイベントを実施することができた。	農業体験教室の参加者 300人/年または100組/年	97組	A	キャベツの農業体験については、苗植えから収穫まで3回に渡り参加する者と収穫のみ参加する者を募集し、多くの市民が参加できるような仕組みで行った。	市民が農業への理解を深め、農業に触れる機会を設けることで特色ある学習機会を提供することができた。
53	1 (1) ②	巴川バスツアーの開催	河川課	夏季休暇中の小学生や一般を対象に、当館や巴川治水関連施設をバスで巡り、目で見て、説明を聞くことで治水事業への関心と防災意識の啓発を図るバスツアーを8月に実施する。	1回実施	未実施	0	D	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施を見送った。	バスツアー参加者の満足度90%	未実施	D	令和元年度は台風により、令和2年度から令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施を見送った。	実施を見送ったため評価できず
54	1 (1) ②	自立を育む職場体験学習の推進	学校教育課	市立の全中学校で行われる連続3日間以上の職場体験学習を支援する。 ・市立の全中学校で連続3日間以上の職場体験学習を実施する。 また、職場体験学習に関わる各校の事務手続きの補助や受入登録事業所の拡大、各事業所への職場体験学習の周知徹底を図る。 ・賠償責任保険に一括加入する。	学校や地域の状況によって行われる、職場体験学習を支援する。 また、職場体験学習に関わる各校の事務手続きの補助や、各事業所への職場体験学習の周知徹底を図る。賠償責任保険に一括加入する。	・市立の中学校の18校が職場体験学習を実施した。 ・職場体験学習に関する事務手続きの補助、職場体験先の紹介を行った。 ・職場体験学習に関する賠償責任保険に一括加入した。	59	B	新型コロナウイルス感染症の影響で、職場体験学習の受け入れ先事業所の確保が難しいことや実習時期の設定が困難なことから、実施を予定していた31校中13校が中止とし、実績値が6割程度となったため。	職場体験学習に係るキャリア教育について、職場体験学習の計画変更に関わらず目標に沿って市内全中学校で推進する。	58% 18校/31校	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度も各中学校の判断で実施することになっていった。令和4年度当初の実施予定校は31校であったが、受入れ先事業所の確保が難しいこと等の理由で中止とした学校があったためBとした。	新型コロナウイルス感染症の影響はあったが、職場体験学習を実施できた学校もあった。また、職場体験学習ができなかった学校でも、職業講話を行ったり、職業に関する調べ学習を行ったりすることで、そのための支援を行った。
55	1 (1) ②	夏休み講座の開催	環境保健研究所	夏休み期間中に、子どもたちに科学の不思議さ、楽しさを実感してもらえるような体験をしてもらう。	8月中旬に静岡科学館	令和4年8月14日に、静岡科学館・く・るで開催されるサイエンスフェスティバルinく・る「青少年のための科学の祭典」静岡大会に静岡市環境保健研究所として出展する。 参加人数107人	24	A	予定どおり出展し、多くの子どもたちに科学に興味を抱かせる体験をさせることができた	出展したブースにおける体験人数200人	107人	B	新型コロナウイルス感染症への対策として当日イベントブース内への入場制限をしたため	感染対策のため参加人数は限定されたが、参加した子どもたちには科学に興味を抱かせる体験をさせることができた。
56	1 (1) ②	蒲原ニューイヤーウォークの実施	スポーツ振興課	蒲原市街地から富士川地区、由比地区を回る、蒲原ニューイヤーウォークを開催する。	年1回開催 参加者数 250人	年1回開催 参加者数 201人	552	A	前日の雨天にも関わらず多くの参加者があり、参加者アンケートにおいて参加者の約96%が次回も参加したいと回答している。	年1回開催 参加者数 250人	年1回開催 参加者数 201人	A	申込方法について、郵送、FAX、コールセンター、電子申請など、複数を用意した。距離を詳細に記載したコースマップを作成した。	参加者のうち約8割が、ウォーキングに参加して普段から歩く習慣を継続することを回答しており、自身の体力を知り健康に対する意識向上の契機となっている。
57	1 (1) ②	市民ラジオ体操祭の開催	スポーツ振興課	市民の健康増進を図るため、市民ラジオ体操祭を開催する。	年1回開催 参加者数 2,600人	年1回開催 参加者数 397人	0	C	当日の天候が悪い中、実施したため、当初予定の参加者数に至らなかった。	年1回開催 参加者数 2,600人	年1回開催 参加者数 397人	C	当日の天候が悪い中、実施したため、当初予定の参加者数に至らなかった。	国民の誰もが知るラジオ体操については、誰もがすぐに行えるスポーツ活動である。ラジオ体操の普及活動に努めているラジオ体操連盟と協働しラジオ体操祭を開催することで、関係者の意欲向上に繋がっている。

第2次生涯学習推進大綱 推進計画 令和4年度 登載事業一覧(R4年度実績)

No	施策名・事業番号	事業名称	所管課	事業概要	令和4年度取組目標	①令和4年度取組実績	②令和4年度決算額(千円)	③令和4年度の評価		後期推進計画末(令和4年度末)成果指標	④後期推進計画末(令和4年度末)成果指標実績	⑤後期推進計画の評価		⑥生涯学習の推進に寄与した取組に関する自己評価
								【指標】 A:達成度80%以上 B:達成度50~79% C:達成度50%未満 D:未実施	【評価の理由】 指標A:事業の成果を記入 指標B~D:達成できなかった理由、事業の成果を記入			【指標】 A:達成度80%以上 B:達成度50~79% C:達成度50%未満 D:未実施	【評価の理由】 指標A:成果指標達成のために工夫した点を記入 指標B~D:達成できなかった理由等を記入	
58	1 (1) ②	チャレンジなわとびの開催	スポーツ振興課	個人の部、組なわとびの部、チャンピオン部、持久力の部の4部門があり、自分の体力や能力、年齢に応じてテストに挑戦する、チャレンジなわとびを開催する。	年5回開催 参加者数 550人	年5回開催 参加者数(延べ)738人	157	A	計画通り開催し、多くの参加者を迎えることができた。	年5回開催 参加者数 550人	年5回開催 参加者数(延べ)738人	A	コロナ禍においては、事前申込制等の感染症対策を講じ、安心して参加できる環境を整えた。清水区の全小学生にチラシを配布するなど、事業の広報に務めた。	誰もが手軽に取り組むことができるなわとび運動を奨励することで、スポーツを習慣化することができる。級に挑戦することで自己の体力、技術の目安を知ることができ、特に子どもに対しては、級取得による成功体験を提供することができる。
59	1 (1) ②	ニューススポーツ体験会	スポーツ振興課	スポーツ推進委員によるチャレンジ!スポーツラリーやチャレンジ!スポーツDAYを開催し、ニューススポーツを紹介・推進することにより、レクリエーション等の生涯学習活動の促進を図る。	参加者数 344人 ・チャレンジスポーツラリー 年1回開催 参加者数 115人 ・チャレンジスポーツDAY! 年4回開催 参加者数 229人	参加者数 681人 ・チャレンジスポーツラリー 年1回開催 参加者数 468人 ・チャレンジスポーツDAY! 年4回開催 参加者数 213人	722(スポーツ推進委員連絡協議会補助金)	A	・チャレンジ!スポーツラリーは、令和5年2月に開催し、目標値を大きく上回る参加者数を達成することができた。 ・チャレンジスポーツDAYは、一部、従来の自由参加型から事前予約制で開催したこともあり、目標値を下回った。	参加者数 890人 ・チャレンジスポーツラリー 年1回開催 参加者数 350人 ・チャレンジスポーツDAY! 年6回開催 参加者数 541人	参加者数 681人 ・チャレンジスポーツラリー 年1回開催 参加者数 468人 ・チャレンジスポーツDAY! 年4回開催 参加者数 213人	B	・チャレンジ!スポーツラリーは、令和5年2月に開催し、目標値を大きく上回る参加者数を達成することができた。 ・チャレンジスポーツDAYは、一部、従来の自由参加型から事前予約制で開催したこともあり、目標値を下回った。	ニューススポーツの紹介、普及推進する本事業により、レクリエーション等の生涯学習活動の体験できる機会を提供することができた。
60	1 (1) ②	応急手当普及員の養成	救急課	地域や職場内での自主的な救命講習の開催を促すために、市民に応急手当を指導できる普及員の養成と救命講習の資器材の貸出しを行う。	応急手当普及員の資格取得のための講習(全24時間)を、広域市町を含めて5回以上実施。	令和4年度の応急手当普及員新規講習は4回実施した。	3,988千円 (広域管理運営事業60,373千円の一部) ※No.61と重複	A	コロナ禍ではあるものの5回計画し4回開催することができた。	応急手当普及員計360人を養成	204人	B	コロナ禍により新規講習を中止した講習への参加控えが見受けられ目標を下回った。	新型コロナウイルス感染症の大流行を経験し今後の講習において、市民が安心して受講できる環境や資器材の準備を怠ることがないよう進めていく必要性を感じた。
61	1 (1) ②	学校教育における救命講習	救急課	小中学生に、命の大切さや応急手当の重要性を指導することで、児童生徒の人格形成及び安全教育につなげ、将来的には応急手当の担い手として育成することを目的として、救命講習を実施する。	静岡市内の公立の小中学校(小学5年生及び中学2年生)の授業内で救命講習を実施。	静岡市内の小中学校(小学5年生、中学2年生を対象)に授業内で実施し、小学生4,700人、中学生3,800人に実施した。	3,988千円 (広域管理運営事業60,373千円の一部) ※No.60と重複	A	静岡市内の公立小中学校123校中111校が実施し90%達成	静岡市内の小中学校の受講者数計48,000人	33,319人	B	新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言及びまん延防止等の対応により、講習を中止または規模縮小したため、目標人数を下回った。	コロナ禍で中止を余儀なくされた学生がいいますが、高校生や成人になりあらゆる救命講習を受講したいと、市民の救命のために救いの手を差し伸べていただきたいと感じた。
62	1 (1) ②	「ホビーのまち静岡」ものづくり教育推進事業の実施	産業振興課	ホビーのまち静岡推進事業において、小学校においてプラモデルと静岡をテーマにした講座と工作体験教室を実施	小学校12校(小学校900名)程度を対象に出前授業を実施	小中学校17校(1099名)を対象に出前授業を実施	1,499	A	目標を達成したため	本講座を通じてプラモデルが好きになった小学生の割合70%、プラモデル産業が盛んな静岡市が好きな割合70%	本講座を通じてプラモデルが好きになった小学生の割合96%、プラモデル産業が盛んな静岡市が好きな割合92%	A	対象の学校側のニーズを事前に聴取し、講師、メーカーと調整し、座学、工作体験に活かした	参加した児童、学校教諭から高い評価を得た。また各メーカーからも積極的に事業推進に協力いただき、今後の児童啓発、地場産業の成長に大きく寄与した。
63	1 (1) ②	ものづくりプラモデル大学 ※こ・こ・に講座	産業振興課	静岡市を代表する地場産業「プラモデル」をテーマに、ものづくりやプラモデルに関する知見・技術と課題解決に向けた手法を考えていく講座を開催する。	プラモデル産業を企業及びユーザーの視点から体験・グループワークを交えて学習する講座を開催(全10回)	プラモデル産業を企業及びユーザーの視点から体験・グループワークを交えて学習する講座を開催(全10回)	1,380	A	目標を達成したため	講座終了後、静岡市のものづくり産業への愛着と誇りを持ち、地域に根付くものづくり産業に寄与したいと考える参加者が7割以上	講座終了後、静岡市のものづくり産業への愛着と誇りを持ち、地域に根付くものづくり産業に寄与したいと考える参加者10割	A	講座開始前には、受講生各々の決意などをお話しいただくとともに、多様な講師からそれぞれが感じる課題やその解決に向けた活動について実習を交えてお話しいただき、修了後は、これらの講師・受講生間のネットワークづくりを行った。	実際にプラモデルを活用した活動を行う修了生も現れており、プラモデルを活用したまちづくりを担う人材の育成に寄与している。
64	1 (1) ②	井川の自然や文化とふれあう体験活動の実施	教育総務課	南アルプスユネスコエコパークに登録された井川地域の自然や文化を活かした体験活動を実施する。	主催事業22回実施予定	主催事業20回実施(道路状況悪化等による中止1事業、荒天による中止1事業)	4,080	A	荒天による道路状況の悪化等を除けば、計画通り主催事業を実施できた。	事業参加者の満足度90%	99%	A	主催事業の参加者に対し井川地域の自然や文化を活かした体験活動の場を提供した。	地域の自然や文化を活かしたプログラムを企画し、老若男女に多様な学習機会・特色ある学習機会の提供を推進した。
65	1 (1) ②	登呂博物館・登呂遺跡での弥生時代の生活体験	文化財課	登呂遺跡や登呂博物館を活用して、弥生時代の生活体験を実施。講座やイベント等に参加してもらうことにより、登呂遺跡や歴史に関心を持つ機会を提供する。 ①遺跡内での火おこし体験 ②田植・田下駄体験 ③土器づくり体験講座 など	・登呂遺跡・登呂博物館内での生活体験の実施(見学) ・復元水田活用事業の実施 ・教育普及事業の実施	・登呂遺跡・登呂博物館内での生活体験の実施 ・復元水田活用事業の実施 ・教育普及事業の実施	登呂博物館管理運営費44,224(千円)の一部	A	・登呂遺跡・登呂博物館内での生活体験の実施(博物館入館者数161,181人、遺跡案内、屋外体験学習者数141,047人、うち火おこし体験者数23,848人) ・復元水田活用事業の実施 ・教育普及事業の実施	博物館入館者数180,000人	161,181人	A	来館者が安心安全に見学できるようにコロナ感染防止対策(密を避ける見学時間帯の設定、接触機会軽減のため体験展示の検討、空気清浄機や温度測定器の設置等)の環境を整備した。	登呂遺跡・登呂博物館内での体験や、講座、イベントを通して、登呂遺跡や歴史に関心を持ってもらうよう、様々な学習機会を提供することができた。
66	1 (1) ②	クラフトマンサポート事業	産業政策課	本市の地場産業界での後継者確保や若手就業者(職人)の静岡市への定住促進等を進めるために、4事業を実施し地場産業界の活性化を図る。 ①地域産業現場実習短期支援事業(最長3カ月・指導者に謝金) ②地域産業現場実習長期支援事業(最長2年間・指導者に謝金) ③地域産業独立支援補助金交付事業(工場、工房の賃借代の補助2/3、3年間) ④伝統工芸技術者雇用奨励金(最長3年間・指導者に補助金)	①地域産業現場実習短期支援事業4名 ②地域産業現場実習長期支援事業8名 ③地域産業独立支援補助金交付事業3名 ④伝統工芸技術者雇用奨励金2名	①地域産業現場実習短期支援事業3名 ②地域産業現場実習長期支援事業7名 ③地域産業独立支援補助金交付事業3名 ④伝統工芸技術者雇用奨励金2名	8,147	A	伝統技術の修得など、後継者の育成が図られているため。	新規で長期支援制度を利用した者のうち、その制度が終了した後も、その業界に従事している者の割合が80%以上	新規で長期支援制度を利用した者のうち、その制度が終了した後も、その業界に従事している者の割合100% R1~R4長期支援修了者7人中7人	A	実習開始前に、実習希望者の意向や熱意を十分確認し、実習開始後は、技術指導者および実習者の状況を随時確認し、面談等によりフォローすることで、業界への定着をすすめて、目標を達成することができた。	伝統技術の習得、雇用促進、独立開業の支援の結果、業界への従事継続がみられ、後継者育成に成果をあげている。

第2次生涯学習推進大綱 推進計画 令和4年度 登載事業一覧(R4年度実績)

No	施策名・事業番号	事業名称	所管課	事業概要	令和4年度取組目標	①令和4年度取組実績	②令和4年度決算額(千円)	③令和4年度の評価		後期推進計画未(令和4年度末)成果指標	④後期推進計画未(令和4年度末)成果指標実績	⑤後期推進計画の評価		⑥生涯学習の推進に寄与した取組に関する自己評価
								【指標】 A:達成度80%以上 B:達成度50~79% C:達成度50%未満 D:未実施	【評価の理由】 指標A:事業の成果を記入 指標B~D:達成できなかった理由、事業の成果を記入			【指標】 A:達成度80%以上 B:達成度50~79% C:達成度50%未満 D:未実施	【評価の理由】 指標A:成果指標達成のために工夫した点を記入 指標B~D:達成できなかった理由等を記入	
67	1 (1) ②	茶文化振興事業(静岡市お茶の学校) ※こ・こ・こに講座	農業政策課	「静岡市のお茶」「お茶のまち静岡市」をテーマに、お茶に関連した様々な分野を総合的に学ぶ講座を開催する。	新型コロナウイルス感染拡大対策を行いながら、対面での講座を開催し、学ぶ場を提供する。	新型コロナウイルス感染拡大対策を行いながら、対面での講座を開催することができた。受講生18名、修了生14名。	205	A	新型コロナウイルス感染拡大対策を行いながら、講座を開催することができた。	お茶の市民サポーター405名	お茶の市民サポーター420名	A	コロナ禍であったが、本市主催事業等に協力いただくよう促した。	対面で開催し、「静岡市のお茶」「お茶のまち静岡市」を学ぶ機会を提供できた。
1 (1) ③ ともに生きる学びの推進														
68	1 (1) ③	子どもの貧困対策学習支援事業	子ども家庭課	生活保護世帯、児童扶養手当受給世帯、就学援助受給世帯の小学生から高校生を対象としてボランティアの協力を得て、安心して過ごせる居場所を提供するとともに、子どもの気持ちに寄り添った学習支援及び生活支援を実施することにより貧困の世代間連鎖を防止する。	学習支援10カ所、生活支援3カ所実施	学習支援10カ所、生活支援3カ所実施	21,173	A	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、受託者それぞれが工夫し、支援を継続した。年間を通してほぼ予定通り事業を実施出来た。	事業に満足している利用者の割合80%	「教室に来るのが楽しいですか」に対して、約98%が「そう思う」「まあまあ思う」と回答があった。	A	1対1を基本とした、個別指導方式をとっていることから、満足度が高いと想定される。また、各受託者が工夫して、学習以外にもイベント等を実施していたことで満足度が高かったと思われる。	貧困等の悩みを抱える子どもたちに、大学生等のボランティアの協力のもと、安心して過ごせる居場所を提供するとともに、学習の場を提供することで、子どもたちが自ら学習して進路を考えることができるようになることに寄与した。
69	1 (1) ③	地域福祉推進事業	福祉総務課(地域包括ケア推進本部)	市民の誰もができる限り健康で、互いに支え合い、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、地域福祉の推進を図る業務を実施する。 ・講座及びシンポジウムの開催 ・広報誌の発行 ・パネル展示 等	市民講座の開催(年5回以上)シンポジウムの開催(年1回)広報紙の発行(年4回)パネル展示会の開催(年1回)	市民講座の開催(年5回以上)シンポジウムの開催(年1回)広報紙の発行(年4回)パネル展示会の開催(年1回)	2,703	A	予定どおり事業を実施することができた。	講座及びシンポジウム参加者の満足度80%	91.3%	A	講座やシンポジウムを開催する都度、アンケートを実施し、参加者の意見を事業へ反映するよう工夫したため。	地域の支え合い活動に関する各種講座の開催により、地域福祉の推進に寄与することができた。
70	1 (1) ③	生涯活躍のまち静岡 駿河共生地区共生事業	福祉総務課(地域包括ケア推進本部)	大学や地域の団体・機関等と連携して、共生(地域・多世代交流)事業を実施し、互いに支え合う共生の地域づくりを行う。 ・講座・イベント等の実施 ・多様な地域住民により地域の生活課題などを検討する組織づくり・仕組みづくり	地域健康ステーション・地域健康オープンカフェの実施(年15回以上)	・地域健康ステーション(常設及び講座、イベント4回) ・地域健康オープンカフェ(33回) ・みなくるカフェ(19回)を実施	7,530	A	予定どおり事業を実施することができた。	講座及びイベント参加者の満足度80%	81.3%	A	講座やイベント等を開催する都度、アンケートを実施し、参加者の意見を事業へ反映するよう工夫したため。	地域の支え合い活動に関する各種講座の開催により、地域福祉の推進に寄与することができた。
71	1 (1) ③	障害者サービスの推進(音訳図書作成)	中央図書館	音訳図書の作成及び提供を行う。	音訳図書の作成50点	音訳図書の作成80点	0	A	予定より多くの音訳図書を作成できた。	音訳図書の貸出年2,800点	音訳図書の貸出2,113点/年	B	郵送による貸出しのため、郵便局の配送業務が土曜日に行われなくなったことにより、資料が利用者に届くまでの日数が以前よりかかり、貸出し点数が減ったと思われる。	音訳図書を作成して貸出ししたり、視覚障害者情報総合ネットワークを利用して、地施設から利用者のリクエストする資料を借りて提供すること、視覚障害者等活字の読めない利用者にも読書を楽しんでもらったり、情報を提供することが出来ている。
72	1 (1) ③	(再掲) 地域支え合い人材養成講座 ※こ・こ・こに講座	地域包括ケア推進本部	住民主体の介護予防活動の育成・支援を行うため、介護予防に関するボランティア等の人材を養成することを目的とする。主に地域に眠っている資源(団塊世代等の人材)を掘り起し、住民主体の介護予防活動等に結びつけ、地域力を向上させていく。	講座受講により地域や社会のために行動したいと思った割合80%以上	講座受講により地域や社会のために行動したいと思った割合100%	589	A	予定どおり事業を実施し、受講者全員がアンケートにて地域や社会のために行動したいと回答した。	講座終了後に興味を持った人の割合80%	100%	A	地域の支え合いに関する活動や、地域からの相談業務について経験の豊富な人材に講師を依頼した。また、受講者を生活支援コーディネーターに結び付け、実際の地域の支え合いにつながるよう支援する内容とした。	支え合い活動に主体的に取り組む上で必要な心構えを学び、市民主体の地域づくりに寄与することができた。
73	1 (1) ③	(再掲) 市民後見人養成講座(基礎編) ※こ・こ・こに講座	福祉総務課	市民後見人を養成することにより、成年後見制度の新たな担い手のすそ野を広げるとともに、市民が地域で見守りを行う体制を作り、成年後見制度の利用の促進を図る。(平成30年度から隔年実施)	成年後見制度の概要や対象者理解等についての講座(全11回)を実施し、修了選考を行う。	・講座 全11回(うち講義時間47時間、体験学習半日×2日) ・修了者選考結果 16名中13名合格	成年後見制度利用推進事業(25,055千円)の一部	A	予定どおり事業を実施することができたため。	講座修了(選考あり)後、2年目研修(実務編)を受講する参加者が7割以上。	H30~R4年度にかけて63名が講座に参加。うち44名が修了選考を通過し2年目研修(実務編)を受講。	A	計画どおり、講座参加者の7割が2年目研修(実務編)を受講することができたため。	成年後見制度の担い手の養成を通して、市民が地域で見守りをする体制づくりを進め、地域共生社会の実現へ寄与することができた。
74	1 (1) ③	(再掲) アイボランティア入門講座 ※こ・こ・こに講座	障害福祉企画課	視覚障害者への理解とコミュニケーションを深め、視覚障害者を支えるボランティア(アイボランティア)を養成することを目的に講座を開講する。	計7回の講習を実施	計7回の講習を実施	162	A	予定通り講座を開催できたため。	講座受講生の満足度80%以上	講座受講生の満足度92%	A	視覚障害の当事者や多くのボランティア団体との交流に加え、見えにくさ体験など日常ではなかなか知りえない体験を例年盛り込めるように工夫している。	視覚障害のある方に対する知識を深め、かつ実際に見えない世界を体験することによって、参加者に障がいのある方に対するサポートの必要性を理解してもらうことができた。
75	1 (1) ③	(再掲) こころのバリアフリープロモーター育成事業(講座) ※こ・こ・こに講座	こころの健康センター	「こころのバリアフリー」について考え、周囲と協力しながら普及啓発活動等の実践に向けた講座を開く。	予定された全6回の講座実施	全5回の講座実施	115	A	8月~1月の全6回講座を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から8月の開催を見合わせ、9月~1月に全5回の講座を開催した。	予定された全6回の講座実施	R1 6回実施 R2 6回実施 R3 中止 R4 5回実施 達成度 75%	B	R3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催中止、R4年度は全5回に変更し開催した。	講座参加者へのアンケートの結果、理解度は90%を超えており、地域や家庭、職場において「こころのバリアフリー」を意識して活躍できる人材を養成することができた。
76	1 (1) ③	外国人住民への生活相談の実施及び情報提供の促進(静岡市多文化共生総合相談センター設置)	国際交流課	静岡市に在留する外国人住民の行政手続きや、生活の困りごとなどを一元的に相談できる窓口を設置し、さらに多くの情報を提供する場の充実に努める。	「静岡市多文化共生総合相談センター」において、多言語による生活相談を実施する。また、国際交流協会において、7言語による外国語情報誌及びWebページを利用した情報発信を行う。	14言語とやさしい日本語で1,359件の相談に対応した。生活に必要な情報は相談センターのFacebookで、7言語に翻訳し、随時発信した。	11,945	A	1,359件の相談に対応し、相談完了率は96%であった。	外国人住民の自立した生活に資する相談体制の整備	年間を通して相談センターが運営され、外国人住民の自立した生活に資する相談体制が整備できた。	A	多言語での相談や情報発信、専門相談会の開催によって外国人住民が自立した生活を送るための支援ができた。	日常生活での困りごとや専門的な相談など多言語による相談対応や生活に必要な情報発信の充実が務められたことで、外国人住民が地域で生活するために必要な学びを提供することができた。

第2次生涯学習推進大綱 推進計画 令和4年度 登載事業一覧(R4年度実績)

No	施策名・事業番号	事業名称	所管課	事業概要	令和4年度取組目標	①令和4年度取組実績	②令和4年度決算額(千円)	③令和4年度の評価		後期推進計画未(令和4年度末)成果指標	④後期推進計画未(令和4年度末)成果指標実績	⑤後期推進計画の評価		⑥生涯学習の推進に寄与した取組に関する自己評価
								【指標】 A:達成度80%以上 B:達成度50~79% C:達成度50%未満 D:未実施	【評価の理由】 指標A:事業の成果を記入 指標B~D:達成できなかった理由、事業の成果を記入			【指標】 A:達成度80%以上 B:達成度50~79% C:達成度50%未満 D:未実施	【評価の理由】 指標A:成果指標達成のために工夫した点等を記入 指標B~D:達成できなかった理由等を記入	
77	1 (1) ③	国際理解に関する講座の開催	国際交流課	今後ますますの増加が予想される外国人住民と日本人とが、お互いの文化を理解し、共生できる社会を目指し、国際感覚・多文化共生意識醸成のために国際理解講座を開催する。	放課後こども教室も対象とし、受講者の拡充を図る。80件以上講座を実施する。	市立こども園や幼稚園、小中学校、放課後こども教室などで128件の講座を実施した。 ・南アフリカ47件 ・中国34件 ・フランス47件	3	A	受講関係者アンケートで満足度100%であった。	受講関係者満足度100%	受講関係者満足度100%	A	園長会や校長会など様々な機会に講義の周知をしたことで、多くの施設で開催することができた。また、申込者の希望に合わせて講座内容を決めた。	多様な文化や習慣を相互理解し多文化共生意識の向上につながる学びの機会を提供することができた。
78	1 (1) ③	障害者理解の促進	障害福祉企画課	障がいのある人のステージ発表及び福祉体験ブース等の交流イベントを実施する。また、障害者週間(12月3~9日)に市庁舎内で障害者団体等を紹介するパネル展示と市街での啓発品の配布等の啓発活動を実施する。	・障害者週間啓発活動(パネル展示、啓発品配布) ・心のバリアフリーイベント	・障害者週間啓発活動(パネル展示、啓発品配布) ・心のバリアフリーイベント(悪天のため中止)	1,028	B	当日の悪天により、交流イベントを中止したが、啓発品の配布及び障害者週間のパネル展示を実施した。	イベント来場者に対して実施するアンケートで「障がいや障がい者について理解が深まった」と回答した人の割合97%以上	未実施	D	令和元年度から新型コロナウイルス感染症拡大の影響や昨年度の悪天による交流イベントによる中止で4年連続中止しており、悪天でも実施可能な方法を検討する必要がある。	障がいや障がいのある人についての理解を深める目的で、障害者週間に啓発活動を実施し、多くの市民に障がい者身近に感じられるような情報発信、学習機会の提供ができた。
79	1 (1) ③	障害者理解の促進	障害福祉企画課	心の輪を広げる障害者理解促進事業	小・中学生による啓発ポスターや、障がいのある人との交流体験に係る作文を募集し、障がいのある人への理解の機会を広げることが目的とした事業を実施する。	応募数 体験作文・ポスター36作品	16	C	予定どおり事業を実施し、令和3年度に比べ応募数も2倍に増加したが、応募作品数が目標に達しなかった。	応募数 体験作文・ポスター50作品	応募数 体験作文・ポスター24作品	C	障がいや障がいのある人に対する理解と認識を深めるため、引き続き事業を継続するとともに応募者数増加につながる募集の周知方法について検討していく。	体験作文、ポスター作成を通して、応募者が、障がいのある人への理解を広げるための機会を提供できた。静岡県入賞者の表彰式を静岡庁舎で開催し、各作品を掲示し、また、作品を市ホームページに掲載することにより、多くの市民が作品を鑑賞できた。
80	1 (1) ③	手話・点字等の各種講習会の実施	障害福祉企画課	手話・点字等は障がいのある人の日常生活・社会参加に必要なコミュニケーションを確保する有効な手段であるため、手話・点字・要約筆記講習会を実施し、奉仕員等のボランティアを育成し、技術習得と併せて障がいについての理解を深めるものとする。また、耳が聞こえ難い人に対しては、日常生活に活かせる初歩的な手話を中心とした講習会を開催し、コミュニケーション確保を支援する。	【手話奉仕員養成講座】 静岡・清水の2か所で開催し、修了率：80% 【要約筆記養成講座】 県との共同で開催を実施し、修了率：100% 【点字講習会】 静岡と清水の各会場6回ずつ講座を実施する。 【市民向け手話講習会】 受講者数：30人	【手話奉仕員養成講座】 静岡・清水の2か所で開催し、修了率：100% 【要約筆記養成講座】 県との共同で開催を実施し、修了率：100% 【点字講習会】 静岡と清水の各会場6回ずつ講座を実施する。 【市民向け手話講習会】 市民(小学生)に対して初歩的な手話講座を実施する。	1,187	A	4講座において、全て予定通り実施できたため。	【手話奉仕員養成講座】46人 【要約筆記養成講座】20人 【点字講習会】30人 【市民向け手話講習会】21人	【手話奉仕員養成講座】51人 【要約筆記養成講座】19人 【点字講習会】35人 【市民向け手話講習会】15人	A	効果的な広報と必要に応じた講義内容の見直しを行ったため。	普段の生活において関わる機会が少ない手話、点字等の講習会を実施し、学習機会を提供することにより、様々な年齢層の受講生に聴覚障がい者、視覚障がい者に対する理解を深める学習機会を提供することができた。
81	1 (1) ③	ユニバーサルデザイン出前講座	建築総務課	小中学校(教職員を含む)を対象に、ユニバーサルデザインを楽しみながら学ぶ機会をつくり、その体験を通して、ユニバーサルデザインへの興味を高め、様々な人を思いやる気持ちを育てる。	講座受講者：500人以上	講座受講者数：2021人	96	A	取組予定回数を上回る出前講座を実施したことで、予定より多くの児童がユニバーサルデザインについて学ぶ機会をつくったため。	出前講座の普及をほかり、毎年講座を6回ずつ開催していく。	28回校	A	小学校へのチラシ配付及び社会福祉協議会との連携により出前講座の周知をほかった。授業内容や、資料の改善を行うことで、授業内容の向上をほかった。	ユニバーサルデザインについて学び、様々な人を思いやる気持ちを育てたことで、様々な人とともに生きる学びを推進した。
82	1 (1) ③	自立支援のための各種講座の実施	地域リハビリテーション推進センター	障害者や高齢者も住み慣れた地域で自分らしく生き生きと生活するための医療・介護・介護予防に関する各種講座等を実施する。	参加者へのアンケートによる内容理解度80%以上	参加者へのアンケートによる内容理解度 専門職向け：98% 市民向け：92%	144	A	介護予防の知識や介護技術等を実技を交えて学ぶことで、参加者の技術力の向上を図ることができた。	参加者へのアンケートによる内容理解度80%以上	95%	A	実技を多く取り入れることで、実際の現場で活かせる内容の提供を行った。	介護予防の知識や介護技術に関する講座を実施することで、参加者がスキルアップするための学習機会を提供することができた。
83	1 (1) ③	静岡県版介護予防体操(しそ〜かてん体操)等の普及活動	地域リハビリテーション推進センター	介護予防に有効な「しそ〜かてん体操」等の普及啓発を当所のリハビリテーション専門職員による技術的指導や助言をとおして行う。	サポーター養成講座実施回数 6回 新規自主グループ・オープンスペースの立ち上げ数 6会場	サポーター養成講座実施回数：13回 新規自主グループ・オープンスペースの立ち上げ数：9会場	4,848	A	サポーター養成講座を行うことで介護予防の普及と地域で活躍できる人材育成を推進することができた。新規自主グループ・オープンスペース立ち上げで地域の活性化が図ることができた。	新規自主グループ・オープンスペースの立ち上げ数 43会場 (R2~4の総数)	27会場	B	新型コロナウイルス感染症拡大により自主グループ・オープンスペースの活動を中止した時期もあり、新規立ち上げが困難な状況もあつたが、目標の半分以上の会場の立ち上げを行った。	介護予防に関する知識を得られるようサポーター養成講座を行い、地域の介護予防リーダーの育成につながった。また、養成したサポーターが中心となり、新規グループの立ち上げを行い、地域で活動する場を増やし、学びの場を作り出すことができた。
84	1 (1) ③	福祉教育の実施	地域リハビリテーション推進センター	小・中・高校生等に対し、福祉用具の見学や体験、自動具の作成等を行う福祉講座をとおし、若い世代から健康福祉や障がいに対する理解と啓発を促す。	福祉教育実施回数 年10回以上 情報誌 年1回以上	小・中学校向け福祉教育実施回数：13回 情報誌：1回	84	A	小・中学生に向けて福祉教育を行うことで、早期から福祉に対する知識を身につけるきっかけとなった。	福祉教育実施回数 年10回以上 情報誌 年1回以上	13回	A	小・中学生が簡単にできる自動具製作を取り入れることで、体験を通じて子供の福祉への興味を高めるような内容としている。	小・中学生を対象に福祉用具の見学や体験、自動具の作成等を行うことで、早期から福祉に対する知識の学習機会を提供することができた。

第2次生涯学習推進大綱 推進計画 令和4年度 登載事業一覧(R4年度実績)

No	施策名・事業番号	事業名称	所管課	事業概要	令和4年度取組目標	①令和4年度取組実績	②令和4年度決算額(千円)	③令和4年度の評価		後期推進計画末(令和4年度末)成果指標	④後期推進計画末(令和4年度末)成果指標実績	⑤後期推進計画の評価		⑥生涯学習の推進に寄与した取組に関する自己評価		
								【指標】 A:達成度80%以上 B:達成度50~79% C:達成度50%未満 D:未実施	【評価の理由】 指標A:事業の成果を記入 指標B~D:達成できなかった理由、事業の成果を記入			【指標】 A:達成度80%以上 B:達成度50~79% C:達成度50%未満 D:未実施	【評価の理由】 指標A:成果指標達成のために工夫した点を記入 指標B~D:達成できなかった理由等を記入			
1(2)① 特色を生かした効果的な情報発信																
85	1	(2)	①	障害者理解の促進(再掲)	障害者理解・啓発促進事業	障害福祉企画課	障がいのある人のステージ発表及び福祉体験ブース等の交流イベントを実施する。また、障害者週間(12月3~9日)に市庁舎内で障害者団体等を紹介するパネル展示と市街での啓発品の配布等の啓発活動を実施する。	・障害者週間啓発活動(パネル展示、啓発品配布) ・心のバリアフリーイベント	・障害者週間啓発活動(パネル展示、啓発品配布) ・心のバリアフリーイベント(悪天のため中止)	1,028	B	当日の悪天により、交流イベントを中止したが、啓発品の配布及び障害者週間のパネル展示を実施した。	イベント来場者に対して実施するアンケートで「障がい者について理解が深まった」と回答した人の割合97%以上	未実施	令和元年度から新型コロナウイルス感染症拡大の影響や昨年度の悪天による交流イベントによる中止で4年連続中止しており、悪天でも実施可能な方法を検討する必要がある。	障がいや障がいのある人についての理解を深める目的で、障害者週間に啓発活動を実施し、多くの市民に障がい者を感じやすいような情報発信、学習機会の提供ができた。
86	1	(2)	①	障害者理解の促進(再掲)	心の輪を広げる障害者理解促進事業	障害福祉企画課	小・中学生による啓発ポスターや、障がいのある人との交流体験に係る作文を募集し、障がいのある人への理解の機会を広げることを目的とした事業を実施する。	応募数 体験作文・ポスター36作品	応募数 体験作文・ポスター15作品	16	C	予定どおり事業を実施し、令和3年度に比べ応募数も2倍に増加したが、応募作品数が目標に達しなかった。	応募数 体験作文・ポスター50作品	応募数 体験作文・ポスター24作品	障がいや障がいのある人に対する理解と認識を深めるため、引き続き事業を継続するとともに応募者数増加につながる募集の周知方法について検討していく。	体験作文、ポスター作成を通して、応募者が、障がいのある人への理解を広げるための機会を提供できた。静岡市入賞者の表彰式を静岡庁舎で開催し、各作品を掲示し、また、作品を市ホームページに掲載することにより、多くの市民が作品を鑑賞できた。
87	1	(2)	①	食の安心・安全ホームページの運営	食品衛生課	「食の安心・安全」についての正確な情報の普及や衛生意識の向上を図るため、ウェブサイトを「たべしずねっと」で「食の安心・安全」に関する情報を発信する。	事件発生時の情報更新を3日以内に行う。全体の情報更新回数150回/年	事件発生時の情報更新を3日以内に行う。全体の情報更新回数140回/年	242	A	更新回数の指標には届かなかったが、事件発生時の情報更新を3日以内に行うなど、情報の更新を適切に行い、ホームページへのアクセス数は39,958件だった。	ホームページアクセス数40,000件以上	ホームページアクセス数39,958件以上	消費者及び食品関連事業者向けに食の安心・安全に係る情報を盛り込んだ「たべしずねっと」の配信を開始し、情報提供につなげた。	市内で発生した食中毒の情報や、最新の食の話題等、食の安心・安全に係る最新の情報を提供することができた。	
1(2)② 学習情報システムの充実																
88	1	(2)	②	生涯学習施設予約システムの充実	生涯学習推進課	生涯学習施設を気軽に利用できるようなインターネットを利用したシステムサービスを提供し、利便性の向上を図る。	令和6年10月のシステム更改に向けて、電子決済やキャッシュレス決済の導入など利便性の向上に向けた検討を進めていく。	システム更新に向けた検討を行い、開発経費等を令和5年度予算に計上した。	6,699	A	新システムの検討を行い、予算計上したため	システム稼働率(4年間平均)が98%以上	100%	システムの安定稼働ため、システム事業者や指定管理者との情報共有等を密に行い、不具合等への対応を迅速に行なった。	予約システムを利用することにより、利用申請前の予約受付や抽選などを円滑に行うことができ、利用者の生涯学習施設利用の利便性向上や施設管理業務の効率化につながった。	
89	1	(2)	②	スポーツ施設予約システムの管理	スポーツ振興課	市内の体育館、総合運動場やスポーツ広場などを気軽に利用できるよう、インターネットを利用したシステムサービスを提供し、利便性の向上を図る。	アクセス件数1,940,000件	アクセス件数1,948,684件	15,353	A	予定通りサービスを提供した。	アクセス件数1,940,000件	アクセス件数1,948,684件	必要な契約等の処理を遅滞なく実施し、円滑な運用を実施することができ、アクセス数においても目標を上回ったため。	スポーツ施設の貸出を通して、多様な学習機会の提供を行った。	
1(3)① 学習相談の充実																
90	1	(3)	①	生涯学習施設における学習相談の実施	生涯学習推進課	生涯学習施設において、学習機会や、サークル、講師の紹介など、生涯学習活動を行う上での様々な相談を受ける。	各施設における学習相談を年間3,700件以上実施する。	各施設において6,088件の学習相談を実施した。	指定管理料の一部	A	取組目標を大きく上回る件数の学習相談を実施したため。	相談件数(センター)4年間の平均3700件	4年間の平均7,323件	指定管理者により、生涯学習活動を行う上での様々な相談を受け付ける体制ができていた結果と考えられる。	各種講座やセンターの利用について、利用者から意見聴取し、学習しやすい環境をつくることで、多くの市民が新しい仲間づくりや学びを得るきっかけをつくることができた。	
91	1	(3)	①	(再掲)外国人住民への生活相談の実施及び情報提供の促進(静岡市多文化共生総合相談センター設置)	国際交流課	静岡市に在留する外国人住民の行政手続きや、生活の困りごとなどを一元的に相談できる窓口を設置し、さらに多くの情報を提供する場の充実に努める。	「静岡市多文化共生総合相談センター」において、多言語による生活相談を実施する。また、国際交流協会において、7言語による外国語情報誌及びWebページを利用した情報発信を行う。	14言語とやさしい日本語で1,359件の相談に対応した。生活に必要な情報は相談センターのFacebookで、7言語に翻訳し、随時発信した。	11,945	A	1,359件の相談に対応し、相談完了率は96%であった。	外国人住民の自立した生活に資する相談体制の整備	年間を通して相談センターが運営され、外国人住民の自立した生活を送るための支援ができた。	多言語での相談や情報発信、専門相談の開催によって外国人住民が自立した生活を送るための支援ができた。	日常生活での困りごとや専門的な相談など多言語による相談対応や生活に必要な情報発信の充実が務めたことで、外国人住民が地域で生活するために必要な学びを提供することができた。	
92	1	(3)	①	福祉用具・住宅改修の相談支援	地域リハビリテーション推進センター	所内に展示している福祉用具とシミュレーション室を利用し、障害や受傷後、病後、高齢化などの身体状況の変化に対応した環境整備として、有効な用具の選定や改修案についての助言を行う。	助言に対する満足度80%	助言に対する満足度98%	213	A	福祉用具等を実際に試すことで助言を具体的に感じることができ、実生活に福祉用具を導入して自立支援を推進することができた。	助言に対する満足度80%	98.0%	毎年、福祉用具の入れ替えを検討する会議を行い、福祉用具を用いた相談に幅広く対応できるようにしている。	最新の福祉用具を選定し、展示することによって、新たな機器を用いて対応をし、自立支援を促すことができた。	
93	1	(3)	①	地域リハビリテーション推進センターにおける専門職による相談支援	地域リハビリテーション推進センター	障害者や高齢者であっても住み慣れた地域で自分らしく生き生きと生活できるように、専門職による介護予防や在宅生活に関する相談等を行う。	継続	専門職による相談を状況に応じて関係機関と連携しながら実施することができた。	294	A	専門職の意見を取り入れることで、自立支援や介護量の軽減につながるプランの提案をすることができた。	継続	継続	高齢者や障がい者の困難ケースの場合、関係機関と連携し、状態にあった対応をしている。	相談業務において専門職の視点を取り入れることで自立支援や介護量の軽減につながるプランの学習機会を提供することができた。	
94	1	(3)	①	子育ての相談・支援	子ども未来課	①子育て支援センターの運営 子育てに関する交流、相談、情報の提供等多様な子育て支援の拠点となる子育て支援センターを運営。 ②子育て支援事業 子育てに関する講座・イベントや各種子育て支援情報の提供を実施	①市内21か所の子育て支援センターを運営 ②子育て支援事業 ・子育て支援センター等で子育てに関する様々なイベントや講座を実施する。	①市内21か所の子育て支援センターを運営 ②子育て支援事業 ・子育て支援センター等で子育てに関する様々なイベントや講座を実施した。	①284,116 ②506	A	①21か所の子育て支援センターを円滑に運営することができたため。 ②子育て支援事業 ・子育て支援センターについて計画どおりに実施することができたため。	①市内21か所の子育て支援センターを運営 ②子育て支援事業 ・子育てに関するイベント等で子育てに関する様々なイベントや講座を実施するとともに、HPや子育てハンドブック(冊子)等で各種子育て支援情報を提供。	①市内21か所の子育て支援センターを運営 ②子育て支援事業 ・子育てに関するイベント等で子育てに関する様々なイベントや講座を実施するとともに、HPや子育てハンドブック(冊子)等で各種子育て支援情報を提供。	①21か所の子育て支援センターを円滑に運営することができたため。 ②子育て支援事業 ・子育てに関する講座・イベントについて計画どおりに実施することができたため。	①子育てに関する交流、相談、情報提供を行う子育て支援の拠点となる場を提供した。 ②講座の実施及び広報により、子育て支援の情報提供の充実に寄与した。	

第2次生涯学習推進大綱 推進計画 令和4年度 登載事業一覧(R4年度実績)

No	施策名・事業番号	事業名称	所管課	事業概要	令和4年度取組目標	①令和4年度取組実績	②令和4年度決算額(千円)	③令和4年度の評価		後期推進計画末(令和4年度末)成果指標	④後期推進計画末(令和4年度末)成果指標実績	⑤後期推進計画の評価		⑥生涯学習の推進に寄与した取組に関する自己評価		
								【指標】 A:達成度80%以上 B:達成度50~79% C:達成度50%未満 D:未実施	【評価の理由】 指標A:事業の成果を記入 指標B~D:達成できなかった理由、事業の成果を記入			【指標】 A:達成度80%以上 B:達成度50~79% C:達成度50%未満 D:未実施	【評価の理由】 指標A:成果指標達成のために工夫した点等を記入 指標B~D:達成できなかった理由等を記入			
2(1)①学んだ成果を発表できる場の提供																
95	2	(1)	①	センター・交流館祭りの開催	生涯学習推進課	学習の成果発表の場や、地域における市民の交流の機会を設け、生涯学習施設を地域の中核施設とするため、センター・交流館まつり等を開催する	「新しい生活様式」に対応したセンターまたは交流館まつりの検討	「新しい生活様式」に対応したセンターまたは交流館まつりの実施	指定管理料の一部	A	「新しい生活様式」に対応したセンターまたは交流館まつりを実施したため。	総参加者数：4万5千人	総参加者数：1万5,659人	C	新型コロナウイルスの影響を受け、当初予定していた参加者数を達成できなかったと考えられる。	学んだ成果を発表するとともに、地域における交流の機会を創出することで、市民の学習意欲の向上及び仲間づくりを支援することができた。
96	2	(1)	①	交流館利用者団体文化祭の開催	生涯学習推進課	生涯学習交流館の利用者団体の発表の機会を文化祭という形で設け、日頃の学習を深めるとともに、他団体との交流の機会を図る。	全20館中2館で年1回実施	3施設で各1回交流館利用者団体文化祭を開催した。総参加団体：44団体 総参加者数：1,724人	指定管理料の一部	A	3施設で各1回開催し、年3回の交流館利用者団体文化祭を実施したため。	4年間の平均参加団体26団体	4年間の平均参加団体51団体	A	指定管理者により、毎年多くの団体が参加できるように、適切な運営ができていた結果と考えられる。	学んだ成果や成果物等の展示を実施し日頃の学習成果を深めるとともに、他団体の発表に触れる機会を創出することで、他団体との交流を図ることができた。
97	2	(1)	①	静岡市民文化祭の開催	文化振興課	文化芸術の領域において、市民が日常育んできた活動成果の展示及び発表並びに鑑賞する機会を提供することで、市民の文化活動の促進及び文化の向上を図ることを目的とし、実施する。	10,500人の入場者を確保する。 (新型コロナウイルスの影響がある可能性もあるため、直近3カ年の平均値で算出)	参加団体：23団体 開催事業：25事業 来場者数：11,758人	3,520	A	新型コロナウイルス感染症流行前に近い形で実施することが出来、市民における文化活動の成果を発表する機会を提供することができたため。	参加団体：20団体 開催事業：28事業 来場者数：19,900人	参加団体：23団体 開催事業：25事業 来場者数：11,758人	A	新型コロナウイルス感染症流行前に近い形で実施することが出来、市民における文化活動の成果を発表する機会を提供することができたため。	市民が日常で育んできた文化活動の成果を展示及び発表の場を設け、またそれを鑑賞する機会となり、学習意欲を高めるよう支援することができた。
98	2	(1)	①	市民ギャラリー事業の実施	文化振興課	市民に絵画、彫塑、書、工芸その他の美術作品の展示会等の場を提供することにより、市民の芸術文化の向上を図る。	年間利用率：71.9% ※新型コロナウイルス感染症の影響がない場合の目標値。	年間利用率：50.6%	6,515	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、例年より利用率が減少したが、美術作品の展示会等の場を提供し、芸術文化活動の交流の機会を設けることができた。	年間利用率70%(予定) ※直近3カ年(R1~R3年度)平均利用率より算出	年間利用率：50.6%	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用率や入場者数が減少したが、美術作品の展示会等の場を提供し、芸術文化活動の交流の機会を設けることができた。	コロナ禍により利用率が減少したが、美術作品の展示会等の場を提供し、市民の芸術文化の向上を図り、芸術文化活動の交流の場を提供し、市民の学習を支援することができた。
2(1)② 地域での活動の場づくり																
99	2	(1)	②	総合型地域スポーツクラブの活動支援	スポーツ振興課	総合型地域スポーツクラブの紹介チラシ及びホームページを作成し活動内容を周知する。また、クラブの指導者を活用したスポーツ教室の開催や指導者の派遣を行う。	チラシおよびホームページが毎年更新されている。クラブの指導者の積極的な派遣が行われている。	チラシの作成及びホームページの更新を随時、実施 スポーツ教室の開催4回	314	A	チラシの作成及びホームページの更新は、予定どおり実施。スポーツ教室について、計画通り開催できた。	チラシおよびホームページが毎年更新されている。クラブの指導者の積極的な派遣が行われている。	チラシの作成及びホームページの更新を随時、実施 スポーツ教室の開催4回	A	スポーツ教室について、チラシを作成し会場周辺の自治会に回覧した。働いている女性にニーズが見込まれるヨガ教室を夜間に開催した。	市民のスポーツ活動は多種多様化が進んでおり、総合型地域スポーツクラブの存在意義が高まっている。気軽にスポーツ活動が始められる場として、引き続き支援をしていく。
100	2	(1)	②	母親クラブの設置・育成	子ども未来課	児童の健全育成を図る母親など、地域住民の積極的な参加による地域組織活動の促進を図るため、各母親クラブに対して運営費の一部を助成している。	母親クラブ(4クラブ)に対する補助を実施。	予定どおり母親クラブ(4クラブ)に対する補助を実施。	612	A	予定どおり母親クラブ(4クラブ)に対する補助を実施。	母親クラブ(4クラブ)に対する補助を実施。	予定どおり母親クラブ(4クラブ)に対する補助を実施。	A	予定どおり母親クラブ(4クラブ)に対する補助を実施。	地域の児童健全育成活動の推進に寄与した。
101	2	(1)	②	児童クラブの運営	子ども未来課	保護者が就労等により昼間家庭にいない児童の健全な育成を目的に、小学校や児童館等に専用室を設けて、家庭に代わる遊びや生活の場を提供する。	児童クラブ205室の運営	児童クラブ205室の運営	1,153,219	A	目標を達成したため	児童クラブ待機児童数0人	30人	C	後期4年間で、クラブ室の整備(27室940人分)、民間児童クラブの増設等により、令和元年度の待機児童数86人に対し減少したものの、待機児童解消には至らなかった。主な理由は、申請者数による。	待機児童解消には至らなかったものの入会者は4年間で400人程度増加しており、保護者が就労等により昼間家庭にいない児童のために、家庭に代わる遊びや生活の場を提供する機会を広げ、住民主体のまちづくりを推進することができた。
102	2	(1)	②	地域学校協働活動推進事業	教育総務課	①小中一貫コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取組の推進。 ②ひとつなぎサポーター(無償)の配置促進 ③放課後子ども教室の拡充	・市内全小中学校で学校応援団活動を実施 ・小学校81校に地域学校協働活動推進員を配置 ・小学校81校にて放課後子ども教室実施 ・26中学校区に統括を配置	・市内全小中学校で学校応援団活動を実施 ・小学校81校に地域学校協働活動推進員を配置 ・小学校81校にて放課後子ども教室実施 ・26中学校区に統括を配置	80,253	A	学校応援団活動については、延べ18万1千人にも上るボランティアが活動を行った。統括的な推進員、地域学校協働活動推進員による支援活動やおたより、リーフレット等による事例紹介・情報提供により、各学校、地域の実情に応じた学校応援団活動の推進や放課後子ども教室の実施をすることができたため。 統括・地域学校協働活動推進員の配置、放課後子ども教室の実施校数は目標値を達成した。	地域の人材・施設の活用を行った学校の割合が全国平均を上回る。	市内全ての小中学校(126校)で、地域のボランティアにより学校応援団活動を実施した。放課後子ども教室は、小学校(81校)で実施した。実施したすべての教室は、学校施設を利用した。以上のことから、地域人材・施設の活用を行った割合は、100%。	統括的な推進員と地域学校協働活動推進員による支援活動やおたより、リーフレット等による事例紹介・情報提供により、各学校、地域の実情に応じた学校応援団活動と放課後子ども教室を実施することができたため。	統括・地域学校協働活動推進員を中心に学校応援団活動や放課後子ども教室を実施することで、地域での活動の場づくりを行った。それにより、住民主体のまちづくりを推進することができた。	
103	2	(1)	②	民間教育力活用事業の実施	学校教育課	学校教育活動全般に民間教育力を導入して、子どもたちの体験的な学習や問題解決的な学習を充実させるため、その費用の補助や様々な分野で活躍されている外部講師の人材バンクを学校に提供する。	学校教育活動全般に民間教育力を導入して、子どもたちの体験的な学習や問題解決的な学習を充実させるため、その費用の補助や様々な分野で活躍されている外部講師の人材バンクを学校に提供する。	コロナ感染症対策を講じながら、市立の小中学校109校(120校中)で実施。 ・活用件数 423件 ・講師活用延べ人数 5,609人	2,248	A	市内小中学校90%の学校で実施され、延べ5,609人の外部人材の活用により、各教科・領域における学習の充実が図られた。	市立小・中学校の実施校数 全120校	実施校数 R1年度：125校(125校中) R2年度：125校(125校中) R3年度：112校(123校中) R4年度：109校(120校中)	A	コロナ禍の影響により未実施となった学校もあったが、外部講師の人材バンクの随時登録及び情報提供をしたり、年度後期に希望する学校への追加配当を行い、実施の促進を図った。	地域人材を活用し、地域での活動の場づくりを行い、子どもたちの体験的な学習や問題解決的な学習を充実させた。

第2次生涯学習推進大綱 推進計画 令和4年度 登載事業一覧(R4年度実績)

No	施策名・事業番号	事業名称	所管課	事業概要	令和4年度取組目標	①令和4年度取組実績	②令和4年度決算額(千円)	③令和4年度の評価		後期推進計画末(令和4年度末)成果指標	④後期推進計画末(令和4年度末)成果指標実績	⑤後期推進計画の評価		⑥生涯学習の推進に寄与した取組に関する自己評価
								【指標】 A:達成度80%以上 B:達成度50~79% C:達成度50%未満 D:未実施	【評価の理由】 指標A:事業の成果を記入 指標B~D:達成できなかった理由、事業の成果を記入			【指標】 A:達成度80%以上 B:達成度50~79% C:達成度50%未満 D:未実施	【評価の理由】 指標A:成果指標達成のために工夫した点を記入 指標B~D:達成できなかった理由等を記入	
2(2)① まちを豊かにする人材の発掘														
104	2(2)①	文化施設のボランティア活動の推進	文化振興課	静岡音楽館AOI、静岡科学館る・く・る、静岡市美術館において、ボランティアを募り、館の事業を盛り上げている。	【科学館】ボランティアを募り、科学普及に関する多彩な活動を支援する。年間延べ人数1,300人 【市美術館】交流事業での学生ボランティアの受入れと育成 人数10人 【音楽館】各公演8人、各公演アンケート1人、DM(ダイレクトメール)送付(定員なし)を実施する。	【科学館】ボランティアを募り、科学普及に関する多彩な活動を支援する。年間延べ人数684人 【市美術館】交流事業での学生ボランティアの受入れと育成 0人 【音楽館】各公演8人、各公演アンケート1人を実施した。	指定管理料の一部	B	【科学館】新型コロナウイルス感染症の影響により減少しているが、令和3年度と比べると回復している。 【市美術館】新型コロナウイルス感染症対策のため、学生ボランティアの受入れを中止せざるを得ない状況となった。 【音楽館】音楽分野で活躍できる人材の発掘及び活用により、市民参画の推進に寄与し、館の事業を盛り上げることができた。	【科学館】ボランティアを募り、科学普及に関する多彩な活動を支援する。年間延べ人数1,300人 【市美術館】交流事業での学生ボランティアの受入れと育成 人数10人 【音楽館】各公演8人、各公演アンケート1人、DM(ダイレクトメール)送付(定員なし)を実施する。	【科学館】ボランティアを募り、科学普及に関する多彩な活動を支援する。年間延べ人数684人 【市美術館】交流事業での学生ボランティアの受入れと育成 0人 【音楽館】各公演8人、各公演アンケート1人を実施した。	B	【科学館】新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、科学分野で活躍できる人材の発掘及び活用により、市民参画の推進に寄与し、館の事業を盛り上げることができた。 【市美術館】新型コロナウイルス感染症対策のため、学生ボランティアの受入れを中止せざるを得ない状況となったが、再開に向けて検討している。 【音楽館】音楽分野で活躍できる人材の発掘及び活用により、市民参画の推進に寄与し、館の事業を盛り上げることができた。	【科学館】新型コロナウイルスの影響はあったものの、科学分野で活躍できる人材の発掘及び活用により、市民参画の推進に寄与し、館の事業を盛り上げることができた。
105	2(2)①	ファミリーサポートセンター事業の運営	子ども未来課	保育施設への送迎や一時的な預かりなどが必要とする子育て家庭に対し、会員組織の相互援助によるサポートを行う。	①出張登録説明会の開催 ②子育て援助活動講座の開催 ③フォローアップ講座の開催 会員確保に努める	①開催(2回) ②開催(3回) ③開催(2回) まかせて会員の確保に努めた。 実績値:1,095人(まかせて会員+どっちも会員)	27,297	A	新型コロナウイルス感染症の影響により、登録会や講座の開催が厳しい状況の中、計画通り講座等を開催し、お子さんを預かる「まかせて会員」を増やすことができた。	講座及び出張登録会を積極的に開催し、会員の確保に努める。	講座及び出張登録会を積極的に開催し、1,095人(まかせて会員+どっちも会員)の会員を確保した。	A	計画通り講座や登録会を実施したほか、事業の周知に努めた。	子育て家庭を助けるボランティアの人材育成を行った。
106	2(2)①	S型テイクサービス事業の推進	地域包括ケア推進本部	家に閉じこもりがちな高齢者を対象として、地域の自治会館、公民館等で、各地区社会福祉協議会が中心となり、地域ボランティアによって運営している、介護予防を目的としたミニテイクサービスを支援する。	実施会場数 281会場 参加実人数 6,000人	実施会場数 273会場 参加実人数 4,862人	64,400	A	新型コロナウイルス警戒レベルに際し、活動時間の制限や会場の収容人数等に配慮した感染症予防対策をとって事業を実施した。	実施会場数 295会場 参加実人数 7,200人	実施会場数 273会場 参加実人数 4,862人	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度において参加者数が大幅に減少。令和3年度以降、参加者数は徐々に回復しているが、コロナ禍以前の参加者数に達しない状況である。	地域住民との話し合いによる実施場所、ボランティア、参加者の確保支援等の新規立ち上げ支援や簡単なリハビリテーション技法その他実施会場における運営上の実施指導を定期的に行う等の既存会場継続支援を通して、地域ボランティアの活躍の場となるS型テイクサービス会場の運営を支援した。
107	2(2)①	生活支援体制整備事業(再掲)	地域包括ケア推進本部	地域包括ケアシステム推進のため、生活支援サービスの担い手の育成やサービスの開発が求められている。多様な主体間の情報共有及び連携・協働による資源開発等を推進することを目的に協議体を設置するとともに、ボランティア等の生活支援の担い手の養成・発掘等の地域資源の開発やそのネットワーク化などを行う生活支援コーディネーターを配置する。	新たな支え合い活動の創出 6か所	新たな支え合い活動の創出 12か所	105,461	A	新たな支え合い活動の創出に向けた打合せの場、生活支援コーディネーターが積極的に参画し、先進事例や視察先の紹介、立ち上げ支援等に取り組んだ。	生活支援コーディネーター配置(各層)1名、3区、30圏域協議体の設置(各層)1協議体、3協議体、30協議体	生活支援コーディネーター配置(各層)1名、3区、30圏域協議体の設置(各層)1協議体、3協議体、30協議体	A	生活支援コーディネーターを1市3区30圏域に継続的に配置し、地域における支え合い活動の強化に向け、本市の支え合い活動の先進事例を掲載したガイドブックを地区社協の会議などを通じて周知し、また、先進事例や視察先の紹介、実際の活動の立ち上げや運営支援などに取組んだ。	支え合い活動の立ち上げや継続に向けて、生活支援コーディネーターが支援し、支え合い活動に主体的に取組む人材を発掘・養成した。
108	2(2)①	女性人材リストの整備	男女共同参画・人権政策課	市の審議会や行政委員会の委員に女性を積極的に選任するために、その情報となる女性人材リストを整備する。また、女性職員の職域拡大や能力開発、登用に取り組み、企業や団体等においても、女性の活躍の場が拡大されるよう、啓発を含めた働きかけを推進する。	新規登録対象者の5割以上登録	新規登録対象者の53.7%登録	0	A	令和4年度は新規で審議会委員に就任した方22人を登録できた。	市審議会等における女性登用率 40%	市審議会等における女性登用率 30.2%	B	あて職や団体による推薦が多く、女性委員の登用率は伸び悩んだ。	女性人材リストの新規登録を行うことで、まちを支える人材の発掘をし、地域や社会での活躍を支援することができた。
2(2)② 学習成果を活かした市民参画の推進														
109	2(2)②	区の魅力づくり事業の実施 ※こ・こ・こに講座事業含む(駿援隊)	葵区役所地域総務課 駿河区役所地域総務課	地域住民が実施する地域特性のPR活動の機会を創出し、それぞれの課題やニーズに見合うよう支援する立場で地域活動を活性化させ、住民主体のまちづくりを目指す。	自治会連合会の会長アンケートにおける魅力づくり事業が地域活動活性化、連帯感向上へ寄与した割合 80%	自治会連合会会長アンケートにおいて魅力づくり事業が寄与した割合 100%	8,147	A	新型コロナウイルス感染症の影響から地域活動が制限される中、情報共有や相談体制を充実させたこと、また、担当職員が実施団体との連携を密にし運営方法を工夫するなど各事業の質を高めたことで、自治会連合会長の満足度が目標値を上回る結果となった。	【行財政改革(後期)実施計画の見直しに伴い、取組目標の変更】 自治会連合会会長アンケートにおいて魅力づくり事業が地域活動活性化、連帯感向上へ寄与した割合 80%	自治会連合会会長アンケートにおいて魅力づくり事業が地域活動活性化、連帯感向上へ寄与した割合 平均86.5%	A	情報共有や相談体制を充実させたこと、また、担当職員が実施団体との連携を密にし運営方法を工夫するなど各事業の質を高めたことで、自治会連合会長の満足度が目標値を上回る結果となった。	住民が主体となって、地域の垣根を超えた連携により課題を解決する取組みを進めたことで、市民参画が推進された。
					新たな受講生を募集し「駿援隊」を4回以上実施することで、受講生の新たなつながりを創出する。	駿援隊講座4回、フォローアップ講座1回実施。	8,260		新たな受講生を募集し講座を4回実施することができ、駿援隊修了生ネットワーク新規加入者を、13名増やすことができた。また、フォローアップ講座として、修了生を対象とした講座を開催し、参加者間の交流の時間を促進することで、新たなつながりを創出することができた。	(駿援隊)参加団体9団体	各年度駿援隊講座参加団体 令和元年度 16団体 令和2年度 15団体 令和3年度 21団体 令和4年度 17団体 合計 69団体	A	駿援隊講座開催のお知らせを各自治会・町内会をはじめ、こども園や小、中学校、生涯学習交流館、県の施設等、地域に暮らす様々な方に届くように広報を実施したほか、講座の修了生同士の交流を促進し、活動をバックアップすることで、修了生からの口コミで参加者が増えることで、参加する団体の幅も広がったと考える。	駿河区に在住、通勤・通学の方を対象に、防災を切り口とした講座を実施することで、講座参加者の中から地域で活躍できる人材を見つけ、地域での活動を促す場を作り出すことができた。また、毎年フォローアップ講座を開くなど、修了生同士のつながりを生み出すことで、地域で活躍するためのヒントを先輩修了生から学ぶ、また中間に相談できる場を作り出すことができた。

第2次生涯学習推進大綱 推進計画 令和4年度 登載事業一覧(R4年度実績)

No	施策名・事業番号	事業名称	所管課	事業概要	令和4年度取組目標	①令和4年度取組実績	②令和4年度決算額(千円)	③令和4年度の評価		後期推進計画未(令和4年度末)成果指標	④後期推進計画未(令和4年度末)成果指標実績	⑤後期推進計画の評価		⑥生涯学習の推進に寄与した取組に関する自己評価
								【指標】 A:達成度80%以上 B:達成度50~79% C:達成度50%未満 D:未実施	【評価の理由】 指標A:事業の成果を記入 指標B~D:達成できなかった理由、事業の成果を記入			【指標】 A:達成度80%以上 B:達成度50~79% C:達成度50%未満 D:未実施	【評価の理由】 指標A:成果指標達成のために工夫した点等を記入 指標B~D:達成できなかった理由等を記入	
110	2 (2) ②	環境保全事業の推進	環境創造課	豊かな自然環境を保全し、将来の世代に引き継いでいくためには、市民との協働及び市民による自発的な活動が必要不可欠であるため、市民との協働による「興津川保全推進事業」や、市民グループなどが河川の環境美化活動や環境学習を行なう「河川環境アドプトプログラム」、身近な自然を自主的に保護・保全していく「自然環境アドプトプログラム」など、環境保全活動への市民参加の場を創出し、市民との協働及び市民の自発的な活動の促進を図っている。	(1)興津川保全推進事業 (2)河川環境アドプトプログラム (3)自然環境アドプトプログラム (4)河川利用客マナー啓発活動等業務など	(1)興津川保全推進事業 (2)河川環境アドプトプログラム (3)自然環境アドプトプログラム (4)河川利用客マナー啓発活動等業務 ・延べ実施回数 83回 ・延べ実施回数 3回 (4)河川利用客マナー啓発活動等業務 ・活動日数 20日 指導実績 1,009人など	1,771	A	環境保全活動への市民参加の場を創出し、市民との協働及び市民の自発的な活動の促進を図ることができたため。	河川環境アドプトプログラムの登録団体の延べ活動回数 100回	83回	A	環境美化ボランティアによる河川清掃活動を通して、河川環境の保全と河川環境に対する意識の向上が図られた。	豊かな自然環境を保全し、将来の世代に引き継いでいくために、環境保全活動への市民参加の場を創出し、市民との協働及び市民の自発的な活動を促進し、市民参画を推進することができた。
111	2 (2) ②	放任竹林対策事業	環境創造課	所有者の高齢化や後継者不足などにより適切な管理が行われていない竹林が増加しており、里山保全団体と市との協働により、補助金交付・物品支給、貸出など里地、里山の保全施策を実施している。	・放任竹林対策補助金交付 ・放任竹林整備事業用消耗品等支給 ・竹破砕機貸出 ・竹林整備隊	・補助金交付 9団体 ・消耗品支給 24団体 ・竹破砕機貸出 81回 ・竹林整備隊 4回	9,518	A	放任竹林対策事業を実施する団体への補助金交付など、その活動を支援できたため。	里山保全団体の活動の継続 84%	76.4%	A	竹林整備隊の活動により、新たな人材の確保や、活動等に対する補助金交付を行い里山保全団体の継続した活動の支援につながった。	豊かな自然環境を保全し、将来の世代に引き継いでいくために、環境保全活動への市民参加の場を創出し、市民との協働及び市民の自発的な活動を促進し、市民参画を推進することができた。
112	2 (2) ②	区民意見聴取の実施	葵区役所地域総務課	区における地域の課題やまちづくりについて、自治会や地域団体などから意見・提案を受ける。	聴取した意見を区政に反映した件数 10件	聴取した意見を区政に反映した件数 9件	77	A	全38学(地)区への聞き取りやふるさと未来づくり会議で提起された課題等に対して積極的に解決に取り組み、スポーツを活かした地域活性化実証実験事業など9件を魅力づくり事業に反映した。目標値をやや下回っているが、概ね期待通り。	聴取した意見を区政に反映した件数 9件	聴取した意見を区政に反映した件数 平均9.5件	A	全38学(地)区への聞き取りやふるさと未来づくり会議で提起された課題等に対して積極的に解決に取り組み、事業に反映した。目標値をやや下回っているが、概ね期待通り。	住民が地域の課題に自ら向き合い、市と協働で解決に向け取り組んだことで、市民参画が推進された。
	駿河区役所地域総務課		意見聴取開催件数 年4回	意見聴取開催件数 年4回	当初の予定通り、全4回の意見聴取を行うことができた。	自主性の高いまちづくりの推進			聴取した意見のうち、14件を区政にフィードバックし、自主性の高いまちづくりを推進することができた。	大学生等の若い世代の参加者、地元企業、自治会等の参加者が同じテーブルについてしたことにより、より活発な意見を交換することができた。	参加した区民には意見聴取の場にてSDGsについて学んでいた上で、SDGsの視点を取り入れた区政に対する提案をグループごとにプレゼンテーションしていただいた。このことにより、市民のSDGs認知度と理解度の向上に貢献するとともに、区民の区政への参加を促進することができた。			
	清水区役所地域総務課		①清水区まちづくりミーティングの実施(モデル地区との協働事業1回以上) 自治会と区長等が地域課題に関する情報を共有するとともにその解決策とそれぞれの役割について協議をする。 ②清水区未来創造トークの実施 トークの実施1回以上 次世代のまちづくりの担い手が区長及び区役所職員と地域課題に関する意見交換をする。	①岡地区にて「10年後の人生、岡地区の未来を考える」をテーマに3回のミーティングを開催 ②清水区未来創造トークの実施 1回	①参加者が地域課題の洗い出しと優先的に取り組みたい課題について協議し、具体的な取組についての提案を行った。 ②参加者が地域の現状把握や住みたい街の実現に向けたワークショップへの参加を経て、意見交換や提案を行った。	①モデル地区との協働事業 1回以上/年 ②トークの実施 1回以上/年			①清水区まちづくりミーティング 令和2年度: 1回(由比地区) 令和3年度: 4回(由比地区) 令和4年度: 3回(岡地区)	②清水区未来創造トーク 令和2~4年度に1回ずつ実施。	自治会関係者から高校生に至るまで、幅広い世代の区民から意見聴取を行うことを通じて、区民と協働しながら、住民主体のまちづくりについて検討する機会を創出した。今後も、区民が自らの地域のことを学ぶ機会や、学んだ成果を活かす機会を創出し、地域交流の推進を図っていく。			
113	2 (2) ②	外国人住民の社会参画と連携の推進	国際交流課	異なる文化や習慣を尊重する多文化共生がますます重要になっている中、静岡市では、「静岡市多文化共生協議会」を設置し、外国人住民も静岡市に住む地域社会の一員として、幅広く行政に対して意見を述べられる機会を設け、市政への参画を図っている。また、民間国際交流・協力団体との連携を深めるとともに、静岡市国際交流協会の機能の充実を図っている。	多文化共生協議会を年4回開催する。	多文化共生協議会を年4回開催し、多文化共生推進計画の策定に意見を反映した。防災セミナーを2月に実施した。	523	A	多文化共生協議会を年4回開催し、多文化共生推進計画の策定に意見を反映した。防災セミナーを2月に実施した。	多文化共生のまちづくりの推進が、3次総の掲げる「世界に輝く静岡」の実現につながる視点での提言書のとりまとめ支援	提言書及び答申書を作成するにあたり、多文化共生協議会において3次総で関連する部分について説明をした。	A	提言書及び答申書を作成するにあたり、多文化共生協議会において3次総で関連する部分について説明をした。	多文化共生に係る条例や計画を策定する過程において、多文化共生協議会参加者やパブリックコメントなどにより、多くの市民が多文化共生について考える機会を提供できた
114	2 (2) ②	食の安心・安全意見交換会の実施	食品衛生課	静岡市の食品行政について、食品等の生産者、流通業者、販売者などの食品等事業者と行政、消費者である市民とが、それぞれの立場で意見を述べ合い、交流することで、共通の理解を図ることができるよう意見交換会を実施する。	年2回開催	年2回開催	173	A	ウェブ掲示板及びハイブリッド形式で意見交換会を2回実施し、食品行政やコロナ禍の食の安全について意見を聞いた。	次期(令和5年度~)アクションプランが完成	次期(令和5年度~)アクションプランが完成した。	A	通常の集合形式をハイブリッド形式とし、さまざまな意見を得ることができた。	意見交換会では、食の安心・安全に係る事業について有識者等と意見交換をしたことで、市民参画を推進するとともに、次期アクションプランに反映させることができた。

第2次生涯学習推進大綱 推進計画 令和4年度 登載事業一覧(R4年度実績)

No	施策名・事業番号	事業名称	所管課	事業概要	令和4年度取組目標	①令和4年度取組実績	②令和4年度決算額(千円)	③令和4年度の評価		後期推進計画末(令和4年度末)成果指標	④後期推進計画末(令和4年度末)成果指標実績	⑤後期推進計画の評価		⑥生涯学習の推進に寄与した取組に関する自己評価	
								【指標】 A:達成度80%以上 B:達成度50~79% C:達成度50%未満 D:未実施	【評価の理由】 指標A:事業の成果を記入 指標B~D:達成できなかった理由、事業の成果を記入			【指標】 A:達成度80%以上 B:達成度50~79% C:達成度50%未満 D:未実施	【評価の理由】 指標A:成果指標達成のために工夫した点を記入 指標B~D:達成できなかった理由等を記入		
3(1)① 生涯学習関連施設の整備															
115	3(1)①	生涯学習施設の整備	生涯学習推進課	生涯学習・地域の交流等の拠点となる生涯学習施設を安心・安全に利用してもらえるよう整備を行う。	船越生涯学習交流館の解体	船越生涯学習交流館の解体完了	78,578	A	取組予定どおり解体工事を完了したため	予定されている建設工事の完了(飯田)及び耐震補強工事の完了(辻・折戸)、建設工事の着手(船越)、閉館する施設	予定された全ての事業を完了した。	A	工事の執行にあたっては音や振動が発生し周辺住民に影響がでる作業の前に作業内容の事前周知・説明を徹底した。	施設の整備を行うことで、市民が安心・安全に生涯学習活動を実施することができる環境を整備することができた。	
116	3(1)①	児童の遊び場の整備	子ども未来課	自治会や町内会が管理運営している児童遊び場の整備や遊具等の新設・修繕などへの補助を実施している。	遊具等の定期点検を行い、その結果に基づき、各自治会(町内会)に計画的な児童遊び場の管理運営を促す。	遊具等の点検を実施し、各自治会(町内会)に対し、結果に基づく危険箇所を周知し、年間3件の修繕等補助を行った。	238	A	計画に沿って遊具等の点検を行い、自治会(町内会)に対し点検結果の周知を実施し、適正に補助金執行事務を実施した。	年間の補修等補助件数10件	年間の補修等補助件数3件	C	計画とおり遊具等の点検を行い、自治会(町内会)に対し点検結果を周知したものの、各自治会(町内会)からの補助金申請数が少なかったため。	市民が安心・安全に生涯学習活動を実施することができる環境を整備することができた。	
3(1)②生涯学習関連施設における学習環境の充実															
117	3(1)②	生涯学習施設事業	生涯学習センターにおける講座実施	生涯学習推進課	生涯学習センターにおいて、各種講座等を実施する。(指定管理業務)	各種講座を1,250回実施	各種講座を1,369回実施	指定管理料の一部	A	取組予定を上回る回数の講座を実施したため	受講生満足度90%以上	受講生満足度92.3%	A	指定管理者により、受講満足度を満たす適切な講座企画・運営ができていた結果と考えられる。	ライフステージに応じた学習機会の提供をとおして、地域の交流及び連携を促し、生涯学習を支える学習環境の充実と寄与した。
118	3(1)②	生涯学習施設事業	清水区生涯学習交流館における講座実施	生涯学習推進課	清水区生涯学習交流館において、各種講座等を実施する。(指定管理業務)	各種講座を1,220回実施	各種講座を1,384回実施	指定管理料の一部	A	取組目標を上回る回数の講座を実施したため	受講生満足度90%以上	受講生満足度95.2%	A	指定管理者により、受講満足度を満たす適切な講座企画・運営ができていた結果と考えられる。	ライフステージに応じた学習機会の提供をとおして、地域の交流及び連携を促し、生涯学習を支える学習環境の充実と寄与した。
119	3(1)②	生涯学習施設事業	葵区生涯学習交流館における講座実施	生涯学習推進課	葵区生涯学習交流館(清沢、大川、大河内、玉川、梅ヶ島、井川)において、各種講座等を実施する。	各種講座を110回実施	各種講座を121回実施	15,340	A	取組目標を上回る回数の講座を実施したため	受講生満足度95%以上	受講生満足度92.7%	A	受講満足度を満たす適切な講座企画・運営ができていた結果と考えられる。	ライフステージに応じた学習機会の提供をとおして、地域の交流及び連携を促し、生涯学習を支える学習環境の充実と寄与した。
120	3(1)②	女性をとりまく諸問題に関する学習・活動の推進(女性会館事業)	男女共同参画・人権政策課	男女共同参画社会の実現を目指す女性会館を拠点施設として、女性をとりまく諸問題に関する講座・講演会の開催、情報収集及び提供、男女共同参画団体の活動振興を図る。	20講座実施	21講座実施	指定管理料を含む	A	21講座実施し、2,381人の参加があった。アンケート結果では、全体を通しての満足度は97.9%、理解度97.3%と高い評価を得ることができた。	講座受講生の理解度80%以上	講座受講生の理解度97.3%	A	時代の流れに応じたテーマ及び講師を選定した点。	多様な学習機会・特色ある学習機会の提供し、多くの方の学習に寄与することができた。	
121	3(1)②	科学への関心を高めるための各種事業の実施(静岡科学館事業)	文化振興課	市民が自ら体験することを通して身近な科学に親しみ、及び科学への関心を高める場を提供することにより、市民の創造力及び感性の向上に資することを目的とした事業を実施する。(指定管理業務)	来館者数:255,000人(予定) 連携事業回数:100回	来館者数:161,063人 連携事業回数:184回	指定管理料の一部	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年度の利用が大幅に減少した。	来館者数:255,000人(予定) 連携事業回数:100回	来館者数:161,063人 連携事業回数:184回	B	新型コロナウイルス感染症の影響があり、来館者数は目標を達成できなかったが、一方で連携事業は目標を達成することができた。	新型コロナウイルスの影響があったものの、様々なソフト事業の実施により、市民の科学への関心を高め、科学分野の学習環境を充実させることができた。	
122	3(1)②	市民の芸術文化の振興を図る各種事業の実施	静岡市民文化会館管理運営事業	文化振興課	市民に文化活動の場と多彩な芸術文化の鑑賞機会を提供することにより、市民の芸術文化の向上を図ることを目的とした事業を実施する。(指定管理業務)	利用者数:500,000人 利用率:70.0% 主催事業:伝統芸能舞台公演事業等	利用者数:388,974人 利用率:62.1% 主催事業:伝統芸能舞台公演事業等	指定管理料の一部	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、目標を達成することができなかった。しかし前年度に比べ利用者数、利用率は改善されており、伝統芸能公演をはじめとした多彩な芸術文化の鑑賞機会の提供は実施できていたため。	利用者数:500,000人(予定) 利用率:70.0%(予定) 主催事業:舞台芸術鑑賞事業等(予定)	利用者数:388,974人 利用率:62.1% 主催事業:伝統芸能舞台公演事業等	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、目標を達成することができなかった。しかしコロナ禍において利用者数、利用率は毎年、改善されており、伝統芸能公演をはじめとした多彩な芸術文化の鑑賞機会の提供は実施できていたため。	コロナ禍においても、著名なアーティストや有名劇団の公演誘致に成功し、利用者数の増加が図られるとともに、コロナ禍に対応した市民参加型イベントを実施し、文化芸術の鑑賞機会提供と活動の場の確保に寄与した。
123	3(1)②	市民の芸術文化の振興を図る各種事業の実施	静岡音楽館管理運営業務	文化振興課	市民の音楽に対する関心を高め、市民文化の向上を図ることを目的とした事業を実施する。(指定管理業務)	施設利用率:年間平均84%(ホール、講堂、リハーサル室2室の平均) 定員に対するコンサート入場者数の割合:年間平均70% 人材育成に関する事業:年間10回以上	施設利用率:年間平均73%(ホール、講堂、リハーサル室2室の平均) 定員に対するコンサート入場者数の割合:年間平均64.7% 人材育成に関する事業:年間20回	指定管理料の一部	A	コロナ禍においても、多彩なジャンルのコンサート等を実施し、市民の音楽への関心を高めることができた。	・施設利用率:年間平均84% ・定員に対するコンサート入場者数の割合:年間平均70% ・人材育成に関する事業:年間10回以上	・施設利用率:年間平均73% ・定員に対するコンサート入場者数の割合:年間平均64.7% ・人材育成に関する事業:年間20回	A	市民が気軽に参加できる公演や広報活動を継続して実施し、施設利用者の裾野を広げ、施設利用率向上と来館者数の増加に努めた。	市民の音楽に対する関心を高め、市民文化の向上を図ることを目的とした事業を実施することができた。
124	3(1)②	市民の芸術文化の振興を図る各種事業の実施	静岡市美術館管理運営事業	文化振興課	多様な美術表現を広く市民に公開し、本市の特色ある美術文化の創造と発信を行い、及び美術文化の交流を促進することにより、美術に関する市民の知識及び教養の向上を図り、もって市民の美術文化を振興することを目的とした事業を実施する。(指定管理業務)	①入館者数:300,000人(5年間で1,500,000人) ②展覧会事業における来場者満足度:年間平均85%	①入館者数:202,136人 ②展覧会事業における来場者満足度:年間平均95.5%	指定管理料の一部	A	コロナ禍においても、多彩なジャンルの展覧会や関連事業を実施し、市民の芸術への関心を高めることができた。	①展覧会観覧者数:113,000人 ②展示解説、講演会、ワークショップ等の年間参加者数(エントランス展示事業除く):10,000人	①展覧会観覧者数:80,282人 ②展示解説、講演会、ワークショップ等の年間参加者数(エントランス展示事業除く):4,678人	B	コロナ禍においても、効果的な広報手段を検討することや、展覧会関連事業を充実させることで、展覧会の魅力を発信し、入館者数の増に努めた。	市民の芸術に対する関心を高め、市民文化の向上を図ることを目的とした事業を実施することができた。

第2次生涯学習推進大綱 推進計画 令和4年度 登載事業一覧(R4年度実績)

No	施策名・事業番号	事業名称	所管課	事業概要	令和4年度取組目標	①令和4年度取組実績	②令和4年度決算額(千円)	③令和4年度の評価		後期推進計画末(令和4年度末)成果指標	④後期推進計画末(令和4年度末)成果指標実績	⑤後期推進計画の評価		⑥生涯学習の推進に寄与した取組に関する自己評価	
								【指標】 A:達成度80%以上 B:達成度50~79% C:達成度50%未満 D:未実施	【評価の理由】 指標A:事業の成果を記入 指標B~D:達成できなかった理由、事業の成果を記入			【指標】 A:達成度80%以上 B:達成度50~79% C:達成度50%未満 D:未実施	【評価の理由】 指標A:成果指標達成のために工夫した点等を記入 指標B~D:達成できなかった理由等を記入		
125	3 (1) ②	市民の芸術文化の振興を図る各種事業の実施	中勤助文学記念館管理運営事業	文化振興課	作家中勤助が療養のため東京から旧服織村(現在の葵区新聞、羽鳥付近)へ移り住んだ旧前田邸を、中勤助文学記念館とし公開し、中文学の顕彰及び様々な文化活動の向上を図ることを目的に、管理運営を行う。	来館者数:2,350人(予定) 顕彰事業回数:2回 ※新型コロナウイルス感染症の影響がない場合の目標値	来館者数:1,886人 顕彰事業:3回	7,586	A	顕彰事業や記念館活用事業により、中勤助への関心を高めることができた。	来館者数:2,350人 顕彰事業回数:2回	来館者数:1,886人 顕彰事業:3回	A	顕彰事業や記念館活用事業により、中勤助への関心を高めることができた。	コロナ禍により、来館者数が減少したが、顕彰事業や記念館活用事業により、中勤助への関心を高め、市民の学習環境を充実させることができた。
126	3 (1) ②	市民の芸術文化の振興を図る各種事業の実施	清水文化会館管理運営事業	文化振興課	市民に文化活動の場と高次高質な芸術文化を鑑賞する機会を提供することにより、「多様な文化の継承と独自文化の創造」の現実と文化事業を通じて清水都心のにぎわいを創出することを目的に、PFI手法及び指定管理者制度による施設の管理運営を行う。	利用者数:500,000人(予定) 利用率:70.0%(予定) 主催事業:清水にぎわい落語まつり等(予定)	利用者数:245,961人 利用率:75.1% 主催事業:須川展也×マリナート・ワインズ、清水にぎわい落語まつりなどを実施。	指定管理料の一部	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年度の利用が大幅に減少した。	市民の芸術文化の向上及び清水都心の賑わい創出 来館者数:500,000人 ホール・ギャラリー利用率:各70%	来館者数:245,961人 ホール・ギャラリー利用率: 大ホール84.4% 小ホール65.4% ギャラリー75.5%	B	新型コロナウイルス感染症の影響があり、来館者数は目標を達成できなかったが、一方でホール・ギャラリー利用率は3つのうち2つ目標を達成することができた。	新型コロナウイルスの影響はあったものの、交流や地域づくりについて、市民に文化活動の場と高次高質な芸術文化を鑑賞する機会を提供し、学習環境を充実させることができた。
127	3 (1) ②	市民の芸術文化の振興を図る各種事業の実施	芹沢銈介美術館管理運営事業	文化振興課	静岡市の生んだ染色家で名誉市民、重要無形文化財保持者であり、文化功労者の栄誉を受けた芹沢銈介の功績をたたえとともに、芹沢芸術を永く後世に伝えるため、その作品とコレクションを保存展示して、薫り高い芸術の感銘と郷土文化の高揚を図ることを目的とした事業を実施する。	展示会開催に伴うスタッフカード・ワークシート、その他ワークショップ、夜間開館、イベントなどの活動により、学習環境を充実させることができた。	・入館者数32,363人 ・利用者アンケートの満足度95.8% ・企画展示4回、ワークショップ3種、夜間開館1回、イベント「銈介の家二階特別公開」2回	52,417	A	展示会開催に伴うスタッフカード・ワークシート、その他ワークショップ、夜間開館、イベントなどの積極的な活動により、前年度より入館者数を増やすことができた。	①入館者数17,000人 ②利用者アンケートの満足度95%以上	①入館者数32,363人 ②利用者アンケートの満足度95.8% ③企画展示4回、ワークショップ3種、夜間開館1回、イベント「銈介の家二階特別公開」2回	A	コロナ禍ではあったが、年4回の企画展示会、それに伴うスタッフカード・ワークシート、イベントなど、幅広い年齢層に魅力あるものを提供できたことにより、来館者及びアンケート満足度の指標を達成することができた。	展示会開催に伴うスタッフカード・ワークシート、その他ワークショップ、夜間開館、イベントなどの活動により、学習環境を充実させることができた。
128	3 (1) ②	市民の芸術文化の振興を図る各種事業の実施	静岡市東海道広重美術館管理運営事業	観光・MICE推進課	市民の美術に対する関心を高め、市民の芸術文化の向上を図るための施設として、浮世絵作品の紹介や研究活動推進を目的とした事業を実施する。(指定管理業務)	年間5回の展示会のほか各種イベントの開催および浮世絵鑑賞の啓発。	①入場者数:16,766人 ②実施事業 展示会:5回 常設展示:1回 ゆい年賀状版画コンクール:1回 ギャラリートーク:11回 ワークショップ:1回 出張講座:2回	39,000	A	コロナの影響を受け利用者数は例年より落ち込んだが、計画していた展示会はすべて実施し、その他各種講座やワークショップ等も実施した。	来場者アンケート満足度80%	0.864	A	年間を通じた展示会や各種イベントを通じ、様々な切り口で幅広い層への浮世絵文化の魅力の発信に努めたことが満足度向上につながった。	年間を通じた展示会や各種イベントを通じ、浮世絵を通じた芸術文化の振興に寄与した。また、その他来館者への展示解説を随時実施するほか、小中学校の観覧の受け入れや出張講座を実施し、浮世絵の知識を広め鑑賞を促した。
129	3 (1) ②	児童の健全育成に関する事業の実施(児童館事業)		子ども未来課	各種教室や読み聞かせ、クラブ活動など、児童に健全な遊びを提供することにより、児童の健康を増進して情操を豊かにするとともに、地域における児童健全育成の拠点となる施設として運営。	児童館13館の運営	児童館13館の運営	243,842	A	当初計画どおり、児童館の運営を行うことができた。	13館の児童館を運営	13館の児童館を運営	A	児童館の運営及び整備・修繕を計画的に行なった。	地域における児童健全育成の拠点としての機能を果たすことができた。
130	3 (1) ②	治水交流資料館講座の開催		河川課	河川の歴史、地形などのテーマから治水・防災意識の向上を図る目的で開催する。	4回実施	4回実施	38	A	市民の治水対策への関心と知識を深め、今後の参考となり水防意識の啓発に寄与することができた。	講座受講者の満足度90%	81.8	A	新型コロナウイルス感染症大時、感染拡大防止策を講じたうえで、毎年確実に実施した。	地域における児童健全育成の拠点としての機能を果たすことができた。
131	3 (1) ②	静岡市子どもクリエイティブタウンま・あ・る運営事業		産業政策課	子どもたちを対象に仕事体験やものづくり体験を通じて、次世代を担う創造力をもつ健全な人材を育成するとともに、社会や経済の仕組みの学習および地域産業の理解を促進するための施設を運営する	・利用者数10万人 ・講座数200回 ・学校利用数36回	・利用者数21,553人 ・講座数309回 ・学校・団体利用数59回	114,268	B	コロナの感染拡大防止策として、施設の収容率が7割程度となるように入館制限を行ったため、年間利用者数は目標達成に至らなかったものの、講座の開催回数及び学校・団体利用数は目標を上回り、多くの方に体験の場を提供できた。	・利用者数10万人 ・講座数240回 ・学校・団体利用数40回	・利用者数21,553人 ・講座数309回 ・学校・団体利用数59回	B	コロナの感染拡大防止策として、休館や入館制限などを行ったため、年間利用者数は目標達成に至らなかったものの、講座の開催回数及び学校・団体利用数は目標を上回り、多くの方に体験の場を提供できた。	コロナ禍により休館や入館制限などを余儀なくされたが、地元企業と連携した講座等を開催し、市民に地域産業に対する学習環境を充実させることができた。
132	3 (1) ②	図書館サービスの充実		中央図書館	図書館資料の充実及び提供を行う。	新規図書館資料の受入れ 図書他 61,600点	新規図書館資料の受入れ 図書他 63,760点	118,069	A	予定数以上の資料を受け入れることができた。	人口1人あたりの貸出点数5.89点	人口1人あたりの貸出点数5.67点	A	各館が独自の特色を目指すとともに、静岡に関する資料を寄贈で入手するなどして、生涯学習に役立つ蔵書構成となっている。	市民の暮らしや仕事、まちづくりに役立つ資料や、子どもから高齢者まであらゆる年代の市民が読書に親しめるような資料の収集・保存に努めている。

第2次生涯学習推進大綱 推進計画 令和4年度 登載事業一覧(R4年度実績)

No	施策名・事業番号	事業名称	所管課	事業概要	令和4年度取組目標	①令和4年度取組実績	②令和4年度決算額(千円)	③令和4年度の評価		後期推進計画末(令和4年度末)成果指標	④後期推進計画末(令和4年度末)成果指標実績	⑤後期推進計画の評価		⑥生涯学習の推進に寄与した取組に関する自己評価
								【指標】 A:達成度80%以上 B:達成度50~79% C:達成度50%未満 D:未実施	【評価の理由】 指標A:事業の成果を記入 指標B~D:達成できなかった理由、事業の成果を記入			【指標】 A:達成度80%以上 B:達成度50~79% C:達成度50%未満 D:未実施	【評価の理由】 指標A:成果指標達成のために工夫した点等を記入 指標B~D:達成できなかった理由等を記入	
3(2)① 地域・企業・大学・NPO等との連携の強化														
133	3(2)①	大学連携事業の実施	生涯学習推進課	協働して講座等を実施することで、市民に大学の持つ知的資源を活用した学習機会を提供する	市民大学リレー講座の開催 生涯学習施設・大学共催公開講座の実施	市民大学リレー講座の開催 生涯学習施設・大学共催公開講座の実施	274	A	市民大学リレー講座および生涯学習施設・大学共催公開講座を開催したことにより、市民に対して多くの学習機会を提供したため	市民大学リレー講座受講生満足度85%以上	市民大学リレー講座受講生満足度82%以上	A	共通テーマをSDGsとして、社会情勢に合わせた講座実施をした。令和6年度に静岡市内に新キャンパスを設ける予定の大学といち早く(令和4年度から)連携を実施した。	市民に大学の持つ知的資源を活用した学習機会を提供することができた。
134	3(2)①	協働パイロット事業の実施	市民自治推進課	市民活動団体と市の協働を進めるために、その試行的な事業を実施し、新しい協働事業の創出や協働推進のためのノウハウの取得を図る。	予算の範囲内での事業実施	11件の応募提案に対して、新規事業2件を採択・実施した。前年度からの継続事業2件を採択・実施した。	2,313	A	予定どおり予算範囲内にて事業実施することができた。	市民活動団体と市との協働事業数262事業	293事業	A	協働に関する研修会などを通じて市内に制度趣旨の説明を行うとともに協働意識の醸成を図った。	協働事業の推進を通じて市と市民活動団体との連携を強化した。
135	3(2)①	市民活動センターにおける活動支援	市民自治推進課	NPOのマネジメントや事業運営、立ち上げに関する相談の受付や、市民活動に関する情報の収集・提供、活動場所・拠点の提供及び講座・研修会の実施等により市民活動を支援する。	市民活動センター2施設において、市民活動に関する相談受付、情報収集・発信、活動場所・拠点の提供、講座・研修会を行う	市民活動センター2施設を指定管理制度により管理・運営し、市民活動に関する相談受付、情報収集・発信、活動場所・拠点の提供、講座・研修会を行った。	62,650	A	予定どおり市民活動センター2施設において、市民活動に関する相談受付、情報収集・発信、活動場所・拠点の提供、講座・研修会を行うことができた	市民活動センター来館者数65,000人	44,569人	B	来館者数は増加傾向ではあるものの、新型コロナウイルスの影響による減少幅が大きくなり、未だコロナ以前の水準には持ち直していない。	協働事業の推進を通じて市と市民活動団体との連携を強化した。
136	3(2)①	(再掲) 生涯活躍のまち静岡 駿河共生地区共生事業	福祉総務課(地域包括ケア・誰もが活躍推進本部)	大学や地域の団体・機関等と連携して、共生(地域・多世代交流)事業を実施し、互いに支え合う共生の地域づくりを行う。 ・講座・イベント等の実施 ・多様な地域住民により地域の生活課題などを検討する組織づくり・仕組みづくり	地域健康ステーション・地域健康オープンカレッジ・みなくるカフェの実施(年15回以上)	・地域健康ステーション(常設及び講座、イベント4回) ・地域健康オープンカレッジ(33回) ・みなくるカフェ(19回)を実施	7,530	A	予定どおり事業を実施することができた。	「共生」という言葉を用いたことがある割合 80%	81.3%	A	講座やイベント等を開催する都度、アンケートを実施し、参加者の意見を事業へ反映するよう工夫したため。	地域の支え合い活動に関する各種講座の開催により、地域福祉の推進に寄与することができた。
137	3(2)①	産学官交流の促進	清水産業・情報プラザ	産学官交流の促進	産学官交流センター	産学官交流センター	指定管理料の一部	A	目標を達成したため	講演会参加者へのアンケートにて満足と回答した人の割合 80%	講演会参加者へのアンケートにて満足と回答した人の割合 82.9%	A	講演先によって興味意欲が刺激される講座を実施。また、開催方法を現地、オンラインのハイブリット方式とし、広く聴講者を募ることができた。	各種講座を共催することにより、地域・企業・大学・NPO等との連携の強化に寄与することができた。
138	3(2)①	産学官交流の促進	産学官交流センター	産学官交流の促進	産学官交流センター	産学官交流センター	指定管理料の一部	A	目標を達成したため	産学共同研究による新商品・新事業進出件数 7件/年	産学共同研究委託事業 8件	A	目標件数以上に支援を実施できたため	産学連携コーディネータによる相談や、中小企業と大学・研究機関の共同研究により、連携が促進された。
139	3(2)①	創業支援事業	清水産業・情報プラザ	創業支援事業	清水産業・情報プラザ	清水産業・情報プラザ	指定管理料の一部	A	目標を達成したため	セミナー参加者へのアンケートにて満足と回答した人の割合 80%	セミナー参加者へのアンケートにて満足と回答した人の割合 92.5% ・創業支援セミナー 67.0%	B	・創業支援セミナーについては満足度が目標値を達成。女性起業家を招き、起業体験や創業ヒントを学べる講演を実施することで、起業家の士気を高めた。 ・情報化セミナーについては、ためにはなかったが内容が高度であったという意見が多く、満足度が低下した。	起業家・中小企業者を対象とするセミナーを開催することで、今後の事業遂行に役立つ学びの機会を提供することができた。
140	3(2)①	創業支援事業	産学官交流センター	創業支援事業	産学官交流センター	産学官交流センター	指定管理料の一部	A	概ね目標を達成したため	新規創業者数 30者/年	新規創業者数 29者/年	A	概ね目標を達成したため	事業実施により、事業者や学生の起業マインドの醸成に寄与できた。
141	3(2)①	(再掲) 地域学校協働活動推進事業	教育総務課	①小中一貫コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取組の推進。 ②ひとつなぎサポーター(無償)の配置促進 ③放課後子ども教室の拡充	・市内全小中学校で学校協働活動を実施 ・小学校81校に地域学校協働活動推進員を配置 ・小学校81校にて放課後子ども教室実施 ・26中学校区に統括を配置	・市内全小中学校で学校協働活動を実施 ・小学校81校に地域学校協働活動推進員を配置 ・小学校81校にて放課後子ども教室実施 ・26中学校区に統括を配置	80,253	A	学校協働活動については、延べ18万1千人にも上るボランティアが活動を行った。統括的な推進員、地域学校協働活動推進員による支援活動やおたより、リーフレット等による事例紹介・情報提供により、各学校、地域の実情に応じた学校支援活動の推進や放課後子ども教室の実施が目標値を達成した。	地域の人材・施設の活用を行った学校の割合が全国平均を上回る。	市内全ての小中学校(126校)で、地域のボランティアにより学校協働活動を実施した。放課後子ども教室は、小学校(81校)で実施した。実施したすべての教室は、学校施設を利用した。以上のことから、地域人材・施設の活用を行った割合は、100%。	統括的な推進員と地域学校協働活動推進員による支援活動やおたより、リーフレット等による事例紹介・情報提供により、各学校、地域の実情に応じた学校協働活動と放課後子ども教室を実施することができたため。	統括・地域学校協働活動推進員を中心に学校協働活動や放課後子ども教室を実施することで、地域での活動の場づくりを行った。それにより、住民主体のまちづくりを推進することができた。	
142	3(2)①	ユネスコ協会の支援	教育総務課	民間ユネスコ活動を行っている静岡ユネスコ協会及び清水ユネスコ協会が行うユネスコ活動費の一部を助成する。	静岡・清水ユネスコ協会の主催するユネスコ講座実施のための補助金交付、広報紙への掲載、団体への指導助言などによる支援の実施。	静岡・清水ユネスコ協会の主催するユネスコ講座実施のための補助金交付、広報紙への掲載、団体への指導助言などによる支援の実施。	234	A	静岡ユネスコ協会及び清水ユネスコ協会に対して、遅滞なく適切に補助金の交付し、広報紙への掲載を行うことでユネスコ講座の開催を支援することができたため。	支援の継続	4年間を通じ、継続した活動支援を行った。	A	4年間を通じ、継続して補助金の交付、広報紙への掲載を行いユネスコ講座を支援することで、学びの場の提供に寄与することができたため。	ユネスコ講座実施のための活動支援を行うことで、団体との連携を強化し安定した学びの場を支える基盤づくりを行った。

第2次生涯学習推進大綱 推進計画 令和4年度 登載事業一覧(R4年度実績)

No	施策名・事業番号	事業名称	所管課	事業概要	令和4年度取組目標	①令和4年度取組実績	②令和4年度決算額(千円)	③令和4年度の評価		後期推進計画末(令和4年度末)成果指標	④後期推進計画末(令和4年度末)成果指標実績	⑤後期推進計画の評価		⑥生涯学習の推進に寄与した取組に関する自己評価
								【指標】 A:達成度80%以上 B:達成度50~79% C:達成度50%未満 D:未実施	【評価の理由】 指標A:事業の成果を記入 指標B~D:達成できなかった理由、事業の成果を記入			【指標】 A:達成度80%以上 B:達成度50~79% C:達成度50%未満 D:未実施	【評価の理由】 指標A:成果指標達成のために工夫した点を記入 指標B~D:達成できなかった理由等を記入	
3(2)② 学習ネットワークづくり														
143	3(2)②	サークルリストの整備	生涯学習推進課	生涯学習施設等で活動している団体をまとめたサークルリストを整備、サークルを分野別に紹介し、市民の学習活動・ネットワークづくりに役立つ。	全38施設のサークルリストの管理	全38施設のサークルリストの管理	0	A	全施設においてサークルリストを管理したため	サークルリストの継続管理	全施設においてサークルリストを管理した	A	全施設においてサークルリストを管理したため	市民の生涯学習活動の情報源となり、新たな生きがいの発見や、団体同士の交流のきっかけを提供した。
144	3(2)②	女性人材リストの整備(再掲)	男女共同参画・人権政策課	市の審議会や行政委員会の委員に女性を積極的に選任するために、その情報となる女性人材リストを整備する。また、女性職員の職域拡大や能力開発、登用に取り組み、企業や団体等においても、女性の活躍の場が拡大されるよう、啓発を含めた働きかけを推進する。	新規登録対象者の5割以上登録	新規登録対象者の53.7%登録	0	A	令和4年度は新規で審議会委員に就任した方22人を登録できた。	市審議会等における女性登用率 40%	市審議会等における女性の登用率 30.2%	B	あて職や団体による推薦が多く、女性委員の登用率は伸び悩んだ。	女性人材リストの新規登録を行うことで、まちを支える人材の発掘をし、地域や社会での活躍を支援することができた。
145	3(2)②	市民活動支援システム「ここからネット」の運用	市民自治推進課	「ここからネット」の運用により、市民活動団体情報、イベント情報、ボランティア情報などの市民活動情報を提供することを通じて、市民活動の推進に取り組む。	適切な運営及び継続的な広報・周知活動を行う	ここからネットの運用により、市民活動情報の提供を行った。	2,889	A	予定どおり運営及び周知活動を実施することができた。	市民活動に「参加したことがある人」の割合65.0%	78.8%	A	NPO人の報告書提出の際等、団体が窓口に見えるタイミングで案内を行った。市主催イベントの情報を積極的に掲載する等して周知活動を行った。	市民活動団体情報、イベント情報、ボランティア情報等の提供により、学習のネットワークづくりを推進した。
146	3(2)②	協働に関する研修会の実施	市民自治推進課	市と市民活動団体との協働事業を促進するため、協働に関する職員向け研修会を実施する。	協働の意義や事業実施の考え方についての研修を行う。	令和3年度に協働事業を実施した課の職員を対象としてeラーニングによる職員研修を実施した。	0	A	予定どおり研修会を実施することができた。	市民活動団体と市との協働事業数262事業	269事業(見込み)	A	協働に関する研修会などを通して庁内に制度趣旨の説明を行うとともに協働意識の醸成を図った。	市民活動団体との連携強化を図るための市職員の協働の基盤づくりを進めた。
3(2)③ 全庁的な生涯学習推進体制の確立														
147	3(2)③	生涯学習推進本部の運営	生涯学習推進課	全庁的に生涯学習を推進するため、生涯学習推進本部会議(幹事会含む)を開催する。	推進本部会、幹事会、作業部会の開催	推進本部会2回開催 幹事会2回開催 作業部会4回開催	0	A	計画的に各会議を開催し、そこで出た意見を反映させ、第3次静岡市生涯学習推進大綱を策定した。	審議会・幹事会を経て第3次静岡市生涯学習推進大綱を作成	第3次静岡市生涯学習推進大綱策定	A	審議会や作業部会においてワークショップを開催し、多種多様な意見を柔軟に大綱案に反映させることができた。	市民活動団体との連携強化を図るための市職員の協働の基盤づくりを進めた
148	3(2)③	静岡シチズンカレッジこ・こ・こに推進事業	生涯学習推進課	庁内各課で実施する人材養成事業を束ね、共通の方針や仕組みを整備することで、一体的に市民と行政との協働によるまちづくりを担うシチズンシップに富んだ人材を養成する。	①こ・こ・こに各講座の周知 ・講座案内パンフレット、ポスターの作成 ②講座の統一感の創出 ・課の講座担当者による会議(シチズンシップ部会)の開催(3回)	①こ・こ・こに各講座の周知 ・講座案内パンフレット、ポスターの作成 ②講座の統一感の創出 ・課の講座担当者による会議(シチズンシップ部会)の開催(3回)	2,493	A	取組予定どおり、こ・こ・こに各講座の周知やシチズンシップ部会を開催し、庁内各課の人材養成講座を一体的に実施できたため。	講座を受講した人のうち、シチズンシップが身についた人の割合 90%	講座を受講した人のうち、シチズンシップが身についた人の割合 97%	A	交流会の開催や個別相談の実施をして、修了生の活動支援に取り組んだ。講座担当者への広報研修をし、受講生の獲得に取り組んだ。	庁内各課の人材養成講座の一体的な実施を通じて、地域や社会のために自ら行動する人材を育て、市民主体のまちづくりを推進した。

第2次生涯学習推進大綱 評価シート

各施策の柱における次の項目（成果指標・モニタリング項目・A評価事業割合）について、市としてのコメント（実績への考察・補足・評価）を記入してあります。

施策の柱・方向性	成果指標	評価コメント	モニタリング項目	評価コメント	A評価事業割合	評価コメント																					
誰もが環境づくりに学び合える	<p>成果指標：生涯学習を行っている市民の割合</p> <p>市民意識調査で調査 調査年度：H25（現大綱策定時）、H30（中間見直し時）、R3</p>	<p>生涯学習を行っている市民の割合は、平成25年度には30.5%であったが、令和3年度には53.7%と、目標の50%を達成した。</p> <p>令和3年度の市民意識調査の結果によれば、平成30年度の調査（46.2%）と比較し、自宅や移動中などに行う学習活動が約10%増加し、56.1%となった。対して、サークル活動や講座・教室など複数人が集まる学習活動は全体的に減少の傾向であった。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い自宅等で過ごす時間が増え、個人で学習活動を行う人が増えた可能性が考えられる。</p>	<p>モニタリング項目：生涯学習施設における主催・共催講座の参加人数</p>	<p>平成29年度から令和元年度の期間における主催・共催講座参加人数は、微減で推移していたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言などにより講座を開催できない時期があり、講座数全体が落ち込み、それに伴い、参加人数も減少した。その後、令和3年度以降徐々に回復しているが、コロナ禍前と比べると約4割減となっている。</p> <p>従来の参加者層だけでなく幅広い層に対して、潜在的なものも含め社会ニーズを適切に捉えた事業を実施していく必要がある。</p>	<p>柱1：誰もが気軽に学びあえる環境づくり A評価事業の割合推移</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th></tr> <tr><td>A評価事業数</td><td>69</td><td>68</td><td>73</td><td>67</td><td>65</td><td>85</td></tr> <tr><td>柱の登録事業数</td><td>78</td><td>79</td><td>87</td><td>92</td><td>92</td><td>94</td></tr> </table>		H29	H30	R1	R2	R3	R4	A評価事業数	69	68	73	67	65	85	柱の登録事業数	78	79	87	92	92	94	<p>平成29～令和元年度の期間におけるA評価事業の割合は、微減で推移してきたが、令和2～3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、実施できなかった事業があった。オンライン開催などの代替手段で開催方法を工夫した事業もあるが、A評価まではいかず、その割合が減少したと考えられる。</p> <p>令和4年度は、感染対策を講じるなど開催方法を工夫し、A評価事業の割合が大幅に増加した。今後も、ポストコロナ社会を踏まえ、ICTの活用のほか、社会ニーズやターゲットを適切にとらえた事業構成にしていく必要がある。</p>
		H29	H30	R1	R2	R3	R4																				
A評価事業数	69	68	73	67	65	85																					
柱の登録事業数	78	79	87	92	92	94																					
学びを活かすための支援	<p>成果指標：学んだことを地域や社会での活動に活かしている市民の割合</p> <p>市民意識調査で調査 調査年度：H25（現大綱策定時）、H30（中間見直し時）、R3</p>	<p>学んだことを地域や社会での活動に活かしている市民の割合は、平成25年度の11.9%に対し、平成30年度には14.6%と3%増となったが、令和3年度の調査では10.0%となり、目標の20%を達成できなかった。</p> <p>令和3年度の市民意識調査の結果によれば、特に50代以上で「活かしている市民の割合」が大きく低下したことが影響していることから、中高年が多く参加している自治会活動などが新型コロナウイルス感染症拡大の影響により減少したことや、中高年の就労率が上がったことなどが原因として考えられる。</p> <p>今後は、中高年が参加しやすい活動への転換を促すとともに、NPO活動などの多様な活動への若い層の参加を促していく必要がある。</p>	<p>モニタリング項目：こ・こ・こに関連の受講者で受講後に地域や社会のために行動した人の割合</p>	<p>シチズンシップに富んだ人材の養成を目的とした「静岡シチズンカレッジ こ・こ・こ」は平成28年度10講座から始まり、令和3年度には24講座と増加している。</p> <p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う緊急事態宣言などにより活動を制限されるような時期があったが、行動した人の割合は小幅な減少に留まった。</p> <p>今後は、新規受講者の開拓や修了生への活動支援の充実を図る必要がある。</p>	<p>柱2：学びを活かすための支援 A評価事業の割合推移</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th></tr> <tr><td>A評価事業数</td><td>24</td><td>21</td><td>17</td><td>11</td><td>17</td><td>18</td></tr> <tr><td>柱の登録事業数</td><td>24</td><td>24</td><td>20</td><td>20</td><td>20</td><td>20</td></tr> </table>		H29	H30	R1	R2	R3	R4	A評価事業数	24	21	17	11	17	18	柱の登録事業数	24	24	20	20	20	20	<p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う緊急事態宣言などにより事業が制限されるような時期が続いたため、計画通りに実施できない事業もあり、A評価事業の割合は大幅な減少となった。</p> <p>令和3、4年度は、感染対策を講じ、A評価事業の割合が増加した。</p> <p>ポストコロナ社会を踏まえ、ICTの活用の推進のほか、受講生、修了生に寄り添った事業実施や支援をより進めていく必要がある。</p>
		H29	H30	R1	R2	R3	R4																				
A評価事業数	24	21	17	11	17	18																					
柱の登録事業数	24	24	20	20	20	20																					
生涯学習を支える基盤づくり	<p>成果指標①：生涯学習施設の耐震化率</p> <p>※H30年度の中間見直しの際に、成果指標変更。</p>	<p>生涯学習施設の耐震対策については全39施設中35施設において対策済みにより耐震化率は89.7%となり、順調に推移している。</p> <p>未対策の施設については、令和3年度末までに解体・廃止や建替えに伴う使用停止などの耐震対策を行い、本市の耐震対策計画上の目標の100%を達成する見込みである。</p>	<p>モニタリング項目①：生涯学習施設の施設利用者数</p> <p>※貸館利用者のみ。主催・共催事業の参加者は除く。</p>	<p>生涯学習施設の施設利用者数は近年微減で推移してきたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響による施設の利用制限などにより、利用者数は大幅に減少したが、令和3年度以降徐々に回復している。</p> <p>現在、利用団体の構成員の46%が70代以上の高齢者であるため、新たな利用者層の取り込みがない場合、長期的には構成員の高齢化により団体解散や活動の停滞により稼働率が減少していくことが予想される。</p> <p>今後は、利用の少ない現役層にとって魅力を感じられ、使いやすい施設運用に取り組む必要がある。</p>	<p>柱3：生涯学習を支える基盤づくり A評価事業の割合推移</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th></tr> <tr><td>A評価事業数</td><td>31</td><td>30</td><td>35</td><td>25</td><td>27</td><td>30</td></tr> <tr><td>柱の登録事業数</td><td>35</td><td>35</td><td>36</td><td>35</td><td>35</td><td>34</td></tr> </table>		H29	H30	R1	R2	R3	R4	A評価事業数	31	30	35	25	27	30	柱の登録事業数	35	35	36	35	35	34	<p>平成29年度から令和元年度の期間におけるA評価事業の割合は、高い数値で推移してきたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた事業が多く、減少した。</p> <p>令和3年度以降は、感染対策を講じたことにより徐々にA評価事業の割合が増加した。</p> <p>ポストコロナ社会を踏まえ、デジタル環境の充実のほか、現代的なニーズにあった施設整備や運用改善に取り組んでいく必要がある。</p>
		H29	H30	R1	R2	R3	R4																				
A評価事業数	31	30	35	25	27	30																					
柱の登録事業数	35	35	36	35	35	34																					
	<p>成果指標②：こ・こ・こに交流会に参加した人の満足度</p> <p>※H30年度の中間見直しの際に、成果指標変更。 ※R1、2は新型コロナウイルス感染症拡大により交流会を中止したため実績なし。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大により、令和元年度から令和3年度はともに交流会が中止となったため、満足度の数値を計ることはできなかった。</p> <p>令和4年度に開催した交流会では、目標の85%を超える、86.9%の満足度が得られた。</p>	<p>モニタリング項目②：生涯学習施設の平均稼働率</p> <p>※楽区生涯学習交流館は除く</p>	<p>中山間地を除き、生涯学習施設の平均稼働率は近年36%で推移してきたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響による施設の利用制限などにより稼働率が低下したが、令和3年度以降徐々に回復している。</p> <p>現在、利用団体の構成員の46%が70代以上の高齢者であるため、新たな利用者層の取り込みがない場合、長期的には構成員の高齢化により団体解散や活動の停滞により稼働率が減少していくことが予想される。</p> <p>今後は、利用の少ない現役層にとって魅力を感じられ、使いやすい施設運用に取り組む必要がある。</p>																							

第2次生涯学習推進大綱 後期推進計画「成果指標」達成状況

推進目標	施策の方向性 (大施策)	施策の取組み (中施策)	後期推進計画「成果指標」達成状況				進捗評価		
			登録事業数	達成できた A 80%以上	やや達成できた B 79%~50%	達成できなかった C 50%未満	未実施 D 0%	A評価の割合	A:80%以上達成 B:50~79%達成 C:50%未満
1 誰もが環境が軽く学び合える	(1)充実した学習機会の提供	①未来を創る人材の育成	26	25	1	0	81.0%	A	
		②多様な学習機会の提供	41	31	6	3			1
		③ともに生きる学びの推進	17	12	3	1			1
	(2)生涯学習情報の提供	①特色を活かした情報発信	3	1	0	1	60.0%	B	
		②生涯学習情報システムの充実	2	2	0	0			0
	(3)学習相談体制の整備	①学習相談の充実	5	5	0	0	100.0%	A	
小計			94	76	10	5	3	80.9%	A
2 学びをためる支援	(1)学びを活かす場づくり	①学んだ成果を発表できる場の提供	4	2	1	1	66.7%	B	
		②地域での活動の場づくり	5	4	0	1			0
	(2)活躍できる人材の発掘・活用	①まちを支える人材の発掘	5	2	3	0	72.7%	B	
		②学習成果を活かした市民参画の推進	6	6	0	0			0
小計			20	14	4	2	0	70.0%	B
3 生涯学習を支える基盤づくり	(1)安心・安全な学習環境づくり	①生涯学習関連施設の整備	2	1	0	1	66.7%	B	
		②生涯学習関連施設における学習環境の充実	16	11	5	0			0
	(2)生涯学習ネットワークの構築	①地域・企業・大学・NPO等との連携の強化	10	8	2	0	81.3%	A	
		②学習ネットワークづくりの支援	4	3	1	0			0
		③全庁的な生涯学習推進体制の確立	2	2	0	0			0
小計			34	25	8	1	0	73.5%	B
合計			148	115	22	8	3	77.7%	B

★進捗評価について
「施策の方向性（大施策）」ごとに、A評価の事業数の割合で評価をしています。
A評価の割合が80%以上で進捗評価A
50~79%で進捗評価B
50%未満で進捗評価C

例：施策の方向性「充実した学習機会の提供」の評価
全体で83事業が登録
A評価の事業数は60

$$60 \div 83 \times 100 = 72.3 (\%)$$

A評価の事業数 大施策の登録事業数 進捗評価はB

第3次生涯学習推進大綱 推進計画 令和5年度 登載事業一覧(案)

No.	施策の柱	大施策	小施策	事業名称	事業概要(全体)		活動の状況(アウトプット)			投入コスト(インプット)		成果(アウトカム)						評価及び次年度以降に向けた課題・改善など				
					所属名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	活動指標(アウトプット指標)			事業費		成果指標(アウトカム指標)						1次評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容
									指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額(千円)	決算額(千円)	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値			当該年度の目標値の算出根拠			
1 誰もが気軽に学び、互いに学び合える機会の充実																						
(1) 変化の激しい社会で生き抜くための学習機会の提供																						
① 現代的課題に関する学習機会の提供																						
1	1	(1)	①	生涯学習事業(現代的課題)	市(直営・委託)	各生涯施設における現代的課題及び地域課題を扱った講座等の実施	政治、経済、情報リテラシー、環境問題、防災、交通安全等を扱った講座の実施	講座回数	各3回以上		指定管理料の一部	受講生満足度	91.9%	91.4%	90.7%	93.4%	直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。					
2	1	(1)	①	社会教育事業	市(直営・委託)	高齢者、子どもの保護者、女性を対象に、それぞれの現代的課題に対する学習ニーズに応える。	①高齢者学級の開催 ②家庭教育学級の開催 ③女性学級の開催	①高齢者学級の学級数 ②家庭教育学級の学級数 ③女性学級の学級数	①37学級 ②28学級 ③25学級		24,206	①延べ参加者数 ②受講生満足度	①21,611人 ②92.4%	①21,611人 ②92.4%	①20,285人 ②92.0%	①11,767人 ②91.3%	①直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した ②直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。					
3	1	(1)	①	情報リテラシー能力向上支援業務	市(委託)	デジタル・ディバイドの解消	デジタルの利活用や情報通信端末の利用に不慣れな方に対する、情報通信機器の操作を伴う体験会の実施	①契約事務 ②事業の体制づくり ③講座の実施	①実施 ②実施 ③30回		2,964	受講後アンケートにおける講座満足度	80.0%	77.2%	83.6%	—	講座を通じて情報通信機器の利活用に興味を持つことを成果と位置付け、受講後アンケートにおける講座満足度の割合を目標値を設定した。					
4	1	(1)	①	オクシズの森林整備事業費(オクシズの森林体感!事業)	市(委託)	市民に森林及び林業の役割を啓発するとともに、市民の健全な余暇の利用に供する。	①森林教室委託業務(森林教室、昆虫教室、林業体験教室、井川しいたけ教室、きのこ祭り) ②出張林業教室委託業務	①森林教室委託件数 ②出張林業教室委託件数	①4件 ②2件		6,000	①森林教室参加者満足度 ②出張林業教室参加者満足度	①90% ②90%	①95% ②94%	①99% ②86%	①90% ②94%	①前年度実績では、高い満足度を得た。この傾向を継続させるため、目標値を90%とする。 ②前年度実績では目標値を下回るが、高い満足度を得た。この傾向を継続するため、目標値を90%とする。					
5	1	(1)	①	環境学習会の開催支援、実施	市(直営・委託)	環境保全のために自ら行動する人を育み、持続可能な社会の実現に向けて地域、学校、団体、行政などが相互に連携し、協働による環境学習の推進を図る。	①環境学習推進のための指導員の活用 ②自然観察会等への参加機会の創出	①環境学習指導員の派遣 ②各種環境学習会の開催	①220人 ②80回		6,254	環境学習会等への参加者数	3,500人	2,830人	1,970人	1,741人	コロナウイルス感染症拡大前の参加者数を設定した。					
6	1	(1)	①	シニアの活躍支援	補助等(交付先)	人生100年時代と言われる中、多くの元気な高齢者が、健康長寿で地域や経済において活躍できる環境を整備し、「健康長寿のまち」の実現を目指す。	①マッチング支援 ②重点分野雇用創出	①支援企業数 ②窓口相談件数 ③出張相談会参加者数	①120社 ②900件 ③75人		15,500	①高齢求職者の雇用・就業数 ②シルバー人材センター新規会員登録数 ③窓口による事業利用満足度 ④公式LINE新規登録者数	①280人 ②60人 ③90% ④100人	①308人 ②105人 ③99% ④345人	①123人 ②60人 ③99% ④—	①183人 ②83人 ③94% ④—	①前年度までの実績及び新モデル事業によるボランティア等参加者数等を含めて設定 ②2月2~3人の登録を目指して設定 ③前年度までの実績を勘案して設定 ④4月8~10人の登録を目指して設定					
7	1	(1)	①	人権啓発事業	市(直営・委託)	人権の大切さ、人権尊重の理念を地域社会に広く浸透させる。	①人権啓発講演会 ②人権教育事業 ③スポーツ組織との連携事業	①講演会の運営 ②市内こども園等へ訪問 ③各種イベントの運営	①実施 ②4園 ③3回		4,610	人権サッカー教室、人権フェスティバル、人権啓発講演会における人権について理解が深まった人の割合	96%	97%	96%	96%	過去3年の平均値を勘案し、平均値以上を目標として設定した。					
8	1	(1)	①	生物多様性に係る学習会の実施	市(直営・委託)	2050年の静岡市の姿を「生きものとの共生による、健康で豊かな暮らしを次世代に受け継いでいく社会」とし、2030年までに「社会・自然の変化に対応した生物多様性への理解・協働推進による保全・再生の拡大」を図る。	①生物多様性地域戦略推進体制の構築 ②外来種の適正管理事業	①リーディングプロジェクトの進捗管理実施 ②出前講座の実施	①21事業 ②4回		2,438	生物多様性の概念及び保全活動の注目度(環境情報発信サイト「しぜんたんけんてちょう」閲覧数)	57,500件	55,523件	53,257件	39,738件	市民の外来生物に対する興味・関心が高まっていることや令和3年度に行ったトップページ改修を踏まえ、前年度実績値3%増の57,500件を目標値として設定した。					
9	1	(1)	①	点字講習会	市(委託)	視覚障がい者を支える点字ボランティアを養成する。	初心者向けの点字講習会を実施	点字講習会の開催	実施		198	受講者数	31人	35人	9人	28人	新型コロナによる受講者減少の影響を受けたR3年度以外のR1(28人)、R2、R4の3年の受講者数の平均値を目標値として設定した。					
10	1	(1)	①	防災教育事業	市(直営)	災害時における的確な判断力や防災知識・技術の向上を図るため、防災教育事業を実施	自主防災組織のリーダー等育成のための研修及び防災講演会等の実施	出前講座等開催数	150回		1,084	出前講座等参加者数	8,478人	7,504人	9,833人	8,095人	直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。					

No.	施策の柱	大 施策	小 施策	事業名称	事業概要 (全体)		活動の状況 (アウトプット)			投入コスト (インプット)		成果 (アウトカム)						評価及び次年度以降に向けた課題・改善など			
					所属名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	活動指標 (アウトプット指標)			事業費	成果指標 (アウトカム指標)						1次評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容
									指標名	当該年度の目標値	実績値		予算額 (千円)	決算額 (千円)	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値				
R4	R3	R2																			
11	1	(1)	①	ユニバーサルデザイン出前講座	建築総務課	市 (直営)	小中学校 (教職員を含む) を対象に、ユニバーサルデザインを楽しみながら学ぶ機会をつくり、その体験を通して、ユニバーサルデザインへの興味を高め、様々な人を思いやる気持ちを育てるため。	小中学校 (教職員を含む) を対象とした出前講座の開催	講座受講者数	講座受講者: 1,800人 算定根拠: R2~R5年度の受講者数平均値	105		教員からみた、UDに対する生徒の理解度	4	—	—	—	出前講座実施後に行う教員向けアンケート項目の4.“出前講座を受講した児童のUD理解度”における評価を、A→5、B→4、C→3、D→2、E→1とし、全教員の評価平均を目標値とする。			
12	1	(1)	①	井川の自然や文化とふれあふ体験活動の実施	教育総務課	市 (直営)	南アルプスユネスコエコパークの教育拠点として、青少年や市民に対し、自然とふれあふ機会を提供し、井川地域の振興に繋がる事業を推進する。	南アルプスユネスコエコパーク 井川自然の家主催事業の実施	①主催事業実施回数 ②主催事業応募率 (全応募数/全定員数)	①23回 ②100%	3,934		①参加者の満足度	①99%	①99%	①99%	①100%	①直近3か年の満足度の最低値である99%を最低予想値として算出し、目標値として設定した。			
13	1	(1)	①	国際理解に関する講座	国際交流課	市 (直営)	本市の国際化・多文化共生を推進するため、国際交流員等を派遣し国際感覚豊かな市民や次世代を担う人材の育成を図る。	英語・中国語・フランス語国際交流員 (CIR) を派遣し、こども園等を対象とした国際理解講座や市政出前講座の開催	国際理解講座、市政出前講座の派遣回数	90回	6		国際理解講座の受講者満足度	100%	100.0%	100.0%	100%	受講者アンケートの直近3か年の実績値を維持することを目標として設定した。			
14	1	(1)	①	在宅医療出前講座	地域活 躍推進課	市 (直営)	在宅医療・介護の連携を推進する。	市民啓発のための講演会、出前講座の開催	在宅医療出前講座の実施	実施	6,303		在宅医療出前講座で在宅医療サービスについて理解できた受講者の割合	95%	100.0%	90.5%	92.9%	在宅医療出前講座を受講した市民がアンケートで「専門職が提供できるサービスやケアの内容について理解できましたか」の問いに「理解できた」「ある程度理解できた」と回答することを、過去3年間の平均値を踏まえ目標値として設定した。			
15	1	(1)	①	治水交流資料館講座の開催	河川課	市	治水・防災意識の向上を図る。	河川の歴史や地形などをテーマにした講座の開催	講座の開催回数	4回実施	60		講座参加者の満足度	90.0%	73.9%	92.8%	100%	直近3年間の平均値をもとに算出した。			
16	1	(1)	①	消費者教育の実施	生活安全安心課	市 (直営・委託)	消費者が安全で安心して暮らすとともに、正しい知識に基づいた確かな判断により消費行動をとることができ社会的な実現を図る。	①消費生活相談の受付 ②消費者被害防止などの啓発講座 ③消費生活関連の情報収集・提供	①消費生活相談の実施 ②学校や地域における主催講座や出前講座の開催 ③SNSによる市民への注意喚起情報の提供	①100% ②36回 ③24回	9,045		①消費生活相談窓口としての消費生活センターの認知度 ②契約に関する正しい知識の定着度 ③エシカル消費に関心を持ち、行動を実践している市民の割合	①50.1% ②32.7% ③48.0%	①47.1% ②31.9% ③46.3%	—	—	消費生活条例に基づく第3次静岡市消費生活基本計画が令和5年度よりスタートし、当該計画に係る活動指標及び成果指標に掲げた令和12年度目標値を達成するため、事前に実施した令和4年度市民アンケート結果の数値を基準値とし、令和5年度目標値を設定した。 (例①: R12目標値70%、R8中間目標値59%、59%→基準値47.1%、4年間=2,975 47.1%+2,975%=50.1%)			
17	1	(1)	①	障がい者の理解・啓発促進事業	障害福祉企画課	市・補助等 (直営・交付先)	障がいや障がいのある人についての理解を深め、障がいのある人の社会参加の促進を図る。	①障がいに対する理解を深めるイベントの実施 ②障害者週間 (12/3~9) における啓発活動の実施	①実行委員会開催 ②イベント開催	①2回 ②1回	1,900		①イベント実施回数 ②イベント来場者へのアンケート回答で、共生社会への理解が深まった人の割合	①1回 ②80%	悪天により中止	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	①、②「障がい者共生のまちづくり計画」を踏まえ、共生社会についての理解を深めるイベントとすることを目標とした。			
18	1	(1)	①	食の安全・安心リスクコミュニケーション、食の安全教室の実施	食品衛生課	市 (直営)	「食の安全確保」および「食の安心の提供」を図る。	食の安全・安心アクションプランに基づいた業務を実施	リスク・コミュニケーションの申請に対する実施率 (マタニティ・市政出前講座等)	100%	1,202		アンケートにおける理解度	90%以上	100%	98.4%	100%	講習会参加者にアンケートを実施し、理解度90%以上を目標値として設定した。(理解度については、実際の参加メンバーによる差が大きいため、理解度が90%以上とした。)			
19	1	(1)	①	動物愛護の促進	動物指導センター	市 (委託)	指定管理者制度の導入により、適正かつ合理的な運営を行い、動物の理想の飼育管理、動物愛護精神の普及を図る。	①指定管理関係事務 (協定締結、年度評価等) ②活動状況の把握 ③愛護館の修繕及び備品購入	①広報掲載による周知 ②毎朝のミーティングの実施 ③利用者やHPへの周知	①広報掲載回数8回 ②100% ③実施	10,113		①来館者数 ②イベント・講座開催回数 ③子猫の譲渡数	①10,990人 ②14回 ③58頭	①10,993人 ②14回 ③57頭	①8,946人 ②13回 ③55頭	①8,471人 ②13回 ③61頭	①コロナ禍から回復した令和4年度の人数を目標値に設定した。 ②指定管理仕様書記載事項を設定した。 ③過去3年間の平均で58頭に設定した。			

No.	施策の柱	大施策	小施策	事業名称	事業概要(全体)			活動の状況(アウトプット)			投入コスト(インプット)		成果(アウトカム)						評価及び次年度以降に向けた課題・改善など									
					所属名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	活動指標(アウトプット指標)			事業費		成果指標(アウトカム指標)						1次評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容						
									指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額(千円)	決算額(千円)	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値			当該年度の目標値の算出根拠				実績値	達成度				
R4	R3	R2																										
20	1	(1)	①	料理教室等による食育推進	中央卸売市場	市(直営・委託)	市場を経由する食材を使用した料理教室を実施することで、市場の食に関する情報発信機能を強化し、市民の食育の強化と市場の活性化を図る。	市場関係者との企画協議による料理教室の開催。	実施回数	10回		5		参加者数	120人	117人	0人	0人	1回12人×10回=120人									
21	1	(1)	①	資源循環啓発施設運営事業	ごみ減量推進課	市(直営・委託)	市民のごみの減量化と資源化に関する意識向上を図る。	資源循環啓発施設の運営	①児童向け環境学習の開催回数 ②一般向け環境学習の開催回数	①100回 ②20回		58,732		環境学習の理解度	100%	96%	96%	96%	環境学習は、環境に係る現状・課題・知識・考え方について啓発するために実践しており、受講者全員が理解することを目指すため100%を目標値に設定した。									
②青少年期に学びの基礎を身に付けるための学習機会の提供																												
22	1	(1)	②	生涯学習事業(青少年期)	生涯学習推進課	市(直営・委託)	各生涯施設における現代的課題及び地域課題を扱った講座等の実施	自然科学、自然体験、子育て、読み聞かせ等を扱った講座の実施	講座回数	各2回以上		指定管理料の一部		受講生満足度	96.4%	96.4%	95.7%	96.1%	直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。									
23	1	(1)	②	学校教育における救命講習	救急課	市(直営・委託)	ハイスタンダーによる心肺蘇生率の向上	市民及び学校教育による救命講習受講の促進	①救命講習の計画的な開催 ②学校教育授業内で救命講習を実施	①実施 ②実施		4,105		救命講習受講者数(延人数)	2万人	1万8千人	1万4千人	3千人	学校教育内で1万人、それ以外の救命講習で1万人、計2万人以上の受講者数を目標設定した。									
24	1	(1)	②	高校生向けキャリア形成支援事業	商業労政課	市(委託)	市内企業の情報が行き届いていない若者に対する課題解決策として、若者に対する支援体制の強化を図ることを目的として市内企業への就労を促進する。	高校生向けキャリア形成支援事業	ワークショップ等、キャリア形成支援プログラムの実施	10校		13,084		将来の選択肢が広がったと回答した生徒の割合	97%	97.80%	97.80%	97.50%	事業対象者に対して過去3年と同程度の意識改革が行えるよう、過去3年の平均値を参考として、目標値を設定した。									
25	1	(1)	②	少年教室事業	青少年育成課	補助等(交付先)	子ども達に異年齢集団における自然体験活動や地域活動の機会を提供し、豊かな人間性・社会性を育み、地域や少年団体のリーダーとして養成する。	①各地区少年教室運営委員会への補助金交付 ②いかだまつり実行委員会への補助金交付	①補助金の交付事務 ②補助対象事業の実施に係る指導・助言	事務処理の円滑な実施		1,871		少年教室の登録者数	117人	117人	93人	102人	新型コロナウイルス感染症の影響で活動を休止した教室があったが、活動が再開できることを見込み、直近3か年の最大値を目標値として設定した。									
26	1	(1)	②	心の輪を広げる障害者理解促進事業	障害福祉企画課	市(直営)	障がいの有無に関わらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し支えあふ共生社会を目指し、障がいや障がいのある人に対する理解と認識を深める。	①「心の輪を広げる体験作文」及び「障害者週間のポスター」の公募 ②各部門で最も優れた1作品を静岡市の推薦作品として内閣府に送付 ③入賞作品を市として表彰 ④静岡市入賞作品の展示	①作品募集 ②作品審査及び優秀作品の選定 ③表彰式開催 ④入賞作品を各区にて展示	①実施 ②実施 ③表彰式開催 ④実施		16		合計応募作品数	16作品	24作品	12作品	14作品	小中学校の夏季休暇の課題に選ばれるかどうかによって、応募数の増減が大きく、年々応募数が減少している。過去3年間の平均程度を目標とし、課題に選出されるような工夫を検討する。									
27	1	(1)	②	南アルプス高山植物保護セミナー	環境共生課	市(直営・委託)	平成27年3月に策定した南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画(静岡市域版)に基づき、①自然環境の保全、②調査と教育、③地域の持続的な発展を図るための事業を推進する。	①自然環境の保全(高山植物、ライチョウ保護事業等) ②調査と教育(南アルプス環境調査等) ③地域の持続的な発展(普及啓発、情報発信等)	①防鹿柵の設置・維持管理 ②高山植物保護セミナー開催 ③ライチョウサポーター向け研修会開催 ④南アルプス動植物環境調査 ⑤普及啓発展示等の実施回数	①3か所 ②1回 ③1回 ④1回 ⑤10回		26,917		公式インスタグラムフォロワー数	1,200人	1,083人	500人	—	令和10年度の目標値2,000人に向け、若者や子育て世帯への情報発信等を強化することで毎年度、おおむね10%の増加を見込み、目標値として設定した。									
28	1	(1)	②	水素科学教室の開催	環境創造課	市(直営・委託)	地球温暖化対策や防災対策、産業振興の観点から、地域特性を踏まえ水素エネルギーを活用したまちづくり「静岡型水素タウン」の実現に向けた取組を推進する。	る・く・ると連携した子ども向けの普及啓発	水素をテーマとしたる・く・るテーブルサイエンスの実施	9回		453		イベント来場者における水素を活用したまちづくりを必要と思う市民の割合	93.0%	91.1%	94.5%	94.4%	直近3か年の平均により算出した。									
29	1	(1)	②	青少年国際親善交流事業	青少年育成課	市(直営)	青少年に国際交流の機会を提供することで、外国人との相互理解と友好を深め、広い国際的視野と国際協調の精神を養う。	海外で働いたり旅をした経験のある日本人講師を招き体験談を聞くことで、中高生に世界に目を向け生き方を考える機会を提供する。	事業実施回数	1回		100		参加者の満足度	100%	100%	100.0%	100%	国際親善交流機会の充実のため実施する参加者アンケートの、直近3か年の満足度の平均を目標値として設定した。									

No.	施策の柱	大 施策	小 施策	事業名称	事業概要 (全体)			活動の状況 (アウトプット)			投入コスト (インプット)		成果 (アウトカム)						評価及び次年度以降に向けた課題・改善など			
					所属名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	活動指標 (アウトプット指標)			事業費		成果指標 (アウトカム指標)						1次評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容
									指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額 (千円)	決算額 (千円)	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値			当該年度の目標値の算出根拠			
③仕事や就職に関する学習機会の提供																						
30	1	(1)	③	生涯学習施設の「Reまなび講座」	生涯学習推進課	市(直営・委託)	社会人として新しい基礎力を身につけることができる講座を実施し、「大人の学び直し」を推進する。	生涯学習施設における「Reまなび講座」の実施	①生涯学習センターでの講座実施回数 ②生涯学習交流館での講座実施回数	①22回 ②42回		指定管理料の一部		受講した人のうち、仕事や就活活動に活かせると思った人の割合	80.0%	—	—	—	講座実施初年度となるため、80%に設定した。			
31	1	(1)	③	大学連携事業の実施	生涯学習推進課	市(直営・委託)	大学との連携による学習機会の提供により、市民の専門化、高度化した学習要求に応える	①市民大学リレー講座の開催 ②生涯学習施設・大学共催公開講座の開催 ③大学連携生涯学習会議の開催	①市民大学リレー講座の開催 ②生涯学習施設・大学共催公開講座の開催 ③大学連携生涯学習会議の開催	①6回 ②20回 ③2回	310		①市民大学リレー講座受講生満足度 ②生涯学習施設・大学共催公開講座受講生満足度	①82.3% ②91.3%	①82.3% ②91.3%	①81.3% ②84.1%	①82.0% ②90.2%	①2直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。				
32	1	(1)	③	生涯学習事業(仕事や就職)	生涯学習推進課	市(直営・委託)	各生涯施設における現代的課題及び地域課題を扱った講座等の実施	職業能力の向上、キャリア観の形成、就労支援等を扱った講座の実施	講座回数	各1回以上		指定管理料の一部		受講生満足度	95.8%	94.2%	96.7%	96.6%	直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。			
(2)暮らしを豊かにする学習機会の提供																						
①学びとしてのスポーツに関わる学習機会の提供																						
33	1	(2)	①	生涯学習事業(スポーツ)	生涯学習推進課	市(直営・委託)	各生涯施設における現代的課題及び地域課題を扱った講座等の実施	体育、レクリエーション等を扱った講座の実施	講座回数	各1回以上		指定管理料の一部		受講生満足度	97.0%	97.0%	95.9%	96.6%	直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。			
34	1	(2)	①	スポーツ指導者スキルアップ講習会	スポーツ振興課	市(直営・委託)	各分野の専門講座を開き、指導者が正しい知識と指導法を習得するための学習の場を提供することで、指導者の育成と資質向上を図る。	大学教授や医師、インストラクター等を招いて基本的な指導法の習得を図るための講習会を開催する。	開催回数 ①スポーツ指導者スキルアップ講習会 ②学校プール監視員講習会	①6回 ②1回	67		参加者数 ①スポーツ指導者スキルアップ講習会 ②学校プール監視員講習会	①200人 ②150人	①200人 ②150人	①97人 ②96人	①延べ177人 ②中止	②コロナ感染症の影響が緩和されてきたR4の実績を参考に設定した。				
35	1	(2)	①	チャレンジなわとびの開催	スポーツ振興課	市(直営)	誰でも手軽にできるスポーツ「なわとび」を通して、市民の健康の増進、体力向上を図るとともに、参加者及び親子の交流を深める。	個人の部、組なわとびの部、チャンピオンの部、持久力の部の4部門があり、自分の体力や能力、年齢に応じてテストに挑戦する、チャレンジなわとびを開催する。	開催回数 ①なわとび判定員講習会 ②チャレンジなわとび	①1回 ②5回	60		参加者数 ①なわとび判定員講習会(清水区スポーツ推進委員以外の実参加者数) ②チャレンジなわとび(延べ参加者数)	①10人 ②690人	①8人 ②738人	①中止 ②37人	①1人 ②120人	①H30～R4 (R3除く)の実績を参考に設定した。 ②H30(610人)、R1(724人)、R4の実績を参考に設定した。				
36	1	(2)	①	ニュースポーツ体験会	スポーツ振興課	市(直営)	スポーツ推進委員による地域でのスポーツ活動を推進することにより、市民がスポーツに触れる機会を創出し、「静岡型スポーツ・イン・ライフ」の推進を図る。	・委員報酬の支払い ・連絡協議会への補助金交付 ・ニュースポーツイベントの開催 ・推進委員会研修会の受講促進	開催回数 ①チャレンジスポーツフェスティバル ②チャレンジスポーツDAY	①1回 ②各区1回以上	18,080		延べ参加者数 ①チャレンジスポーツフェスティバル ②チャレンジスポーツDAY	①470人 ②220人	①468人 ②213人	①中止 ②125人	①115人 ②中止	コロナ感染症の影響が緩和されてきたR4の実績を参考に設定した。				
37	1	(2)	①	市民ラジオ体操祭の開催	スポーツ振興課	市(委託)	各種市民大会等を開催することにより、市民のスポーツ実施の機会創出と健康づくりを促し、「静岡型スポーツ・イン・ライフ」の推進と競技力の向上を図る。	各競技団体を主管として各種目別大会やラジオ体操祭を開催する。(H15から事業実施、H29から委託)	①適切な委託事務の実施 ②実施大会の効果的な広報の実施 ③市民スポーツ大会の開催回数	①実施 ②実施 ③30回以上(各競技1回以上)	9,334		市民スポーツ大会への延べ参加者数	40,000人以上	21,583人	23,949人	25,064人	新型コロナウイルス影響前の令和元年度実績数値(39,531人)程度を目標値とした。				
38	1	(2)	①	初心者スポーツ教室の開催	スポーツ振興課	市(直営)	競技人口の拡大と各種目の競技力向上及び、「静岡型スポーツ・イン・ライフ」の推進を図る。	幼児や小学生または、初心者を対象としたスポーツ教室を開催する。	開催回数 ①走り方教室 ②クライミング教室	①18回以上 ②1回	1,365		参加者数 ①走り方教室 ②クライミング教室	①770人 ②216人	①770人 ②93人	①370人 ②97人	①520人 ②中止	①コロナ感染症の影響が緩和されてきたR4の実績を参考に設定 ②定員(24人)×教室数(9回)を目標とした。				
39	1	(2)	①	障害者スポーツ教室	障害福祉企画課	市(委託)	障がいのある人の健康維持向上、社会参加の促進及び障がいや障がいのある人に対する理解啓発を図る。	スポーツ教室の開催	①教室開催 ②障がいのない人への開催通知・参加依頼	①開催 ②実施	556		参加者数	240人	374人	221人	225人	「静岡市障がい者共生のまちづくり計画」策定時に、過去の実績から、令和3年度から令和5年度の目標値を「230人」「235人」「240人」と設定した。 ※静岡市障がい者共生のまちづくり計画：3年毎見直し				
40	1	(2)	①	清水庵原球場管理事業	スポーツ振興課	市(委託)	野球等のスポーツ振興及び市民の健康増進を図る。	施設管理を行うとともに、各種事業を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①2件 ②実施	51,979		①利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90.0% ②90.0%	①100% ②85.6%	①98.7% ②100%	①— ②96.9%	①協定締結時の仕様書上の目標値90%を目標値として設定した。 ②安全安心な利用ができるよう計画修繕に係る予算執行率を目標値として設定した。(契約差金等考慮)				

No.	施策の柱	大 施策	小 施策	事業名称	事業概要 (全体)			活動の状況 (アウトプット)			投入コスト (インプット)		成果 (アウトカム)						評価及び次年度以降に向けた課題・改善など			
					所属名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	活動指標 (アウトプット指標)			事業費		成果指標 (アウトカム指標)						1次評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容
									指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額 (千円)	決算額 (千円)	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値			当該年度の目標値の算出根拠			
41	1	(2)	①	清水ナショナルトレーニングセンター管理運営事業	スポーツ振興課	市(委託)	サッカー等、国内外のトップアスリートの利用に供するとともに、スポーツ振興及び市民の健康増進を図る。	施設管理を行うとともに、各種事業を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①2件 ②実施		212,651		①利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90.0% ②90.0%	①97.3% ②98.6%	①98% ②100%	①— ②100%	①協定締結時の仕様書上の目標値90%を目標値として設定した。 ②安全安心な利用ができるよう計画修繕に係る予算執行率を目標値として設定した。(契約差金等考慮)			
42	1	(2)	①	スポーツ施設維持管理事業	スポーツ振興課	市(直営・委託)	市民がスポーツ、レクリエーション等に供するために、施設を提供する。	施設の維持管理を行うとともに、市民向けに様々なスポーツ教室等を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①3件 ②実施		249,586		①指定管理施設における利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90.0% ②90.0%	①95.9% ②96.0%	①98.8% ②99.4%	①96.7% ②87.5%	①協定締結時の仕様書上の目標値90%を目標値として設定した。 ②安全安心な利用ができるよう計画修繕に係る予算執行率を目標値として設定した。(契約差金等考慮)			
43	1	(2)	①	総合運動場管理運営事業	スポーツ振興課	市(委託)	スポーツ、レクリエーション、文化活動等のための施設を提供する。	施設の維持管理を行うとともに、市民向けに様々なスポーツ等教室を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①2件(体育館含む) ②実施		386,742		①利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90.0% ②90.0%	①98.6% ②93.1%	①99.3% ②99.5%	①98.8% ②98.6%	①協定締結時の仕様書上の目標値90%を目標値として設定した。 ②安全安心な利用ができるよう計画修繕に係る予算執行率を目標値として設定した。(契約差金等考慮)			
44	1	(2)	①	体育館管理運営事業	スポーツ振興課	市(直営・委託)	スポーツ、レクリエーション、文化活動等のための施設を提供する。	施設の維持管理を行うとともに、市民向けに様々なスポーツ等教室を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①2件(総合運動場含む) ②実施		663,635		①指定管理施設における利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90.0% ②90.0%	①97.6% ②100%	①98.4% ②100%	①98.5% ②99.3%	①協定締結時の仕様書上の目標値90%を目標値として設定した。 ②安全安心な利用ができるよう計画修繕に係る予算執行率を目標値として設定した。(契約差金等考慮)			
45	1	(2)	①	日本平運動公園管理運営事業	スポーツ振興課	市(委託)	プロサッカー等の開催によるスポーツ振興及び市民の健康増進を図る。	施設管理を行うとともに、Jリーグ及び各種事業を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①2件 ②実施		134,599		①利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90.0% ②90.0%	①96.1% ②99.2%	①98.9% ②99.0%	①— ②95.9%	①協定締結時の仕様書上の目標値90%を目標値として設定した。 ②安全安心な利用ができるよう計画修繕に係る予算執行率を目標値として設定した。(契約差金等考慮)			
46	1	(2)	①	ふれあい健康増進館ゆ・ら・ら管理運営事業	スポーツ振興課	市(委託)	市民が気軽に楽しく心身のリフレッシュに努めることにより、世代間の交流の促進を図るとともに、市民の健康増進に寄与する施設を提供する。	施設の維持管理を行うとともに、市民向けに健康増進に関するスポーツ等教室を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②入退館管理システム貸借契約	①2件 ②実施		229,225		①利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90.0% ②90.0%	①97.8% ②99.6%	①96.0% ②98.6%	①— ②97.2%	①協定締結時の仕様書上の目標値90%を目標値として設定した。 ②安全安心な利用ができるよう計画修繕に係る予算執行率を目標値として設定した。(契約差金等考慮)			
②文化・芸術・趣味に関する学習機会の提供																						
47	1	(2)	②	生涯学習事業(文化・芸術・趣味)	生涯学習推進課	市(直営・委託)	各生涯施設における現代の課題及び地域課題を扱った講座等の実施	教養の向上、趣味等を扱った講座の実施	講座回数	各1回以上		指定管理料の一部		受講生満足度	95.8%	95.6%	95.2%	96.8%	直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。			
48	1	(2)	②	「まちは劇場」推進事業 まちは劇場コンサート事業	まちは劇場推進課	市(委託)	オーケストラ等と連携し、オープンスペースでのコンサートを行い、日常に音楽のある環境を創出することで「まちは劇場」を推進する。	「まちかどコンサート」、「Hotひといきコンサート」を開催	①委託契約締結件数 ②完了報告書確認件数 ③事務処理の円滑な実施	①2件 ②13件 ③実施		9,129		①まちかどコンサート来場者数 ②Hotひといきコンサート来場者数	①4,000人 ②1,080人	①3,941人 ②494人	①4,062人 ②777人	①3,800人 ②1,097人	①1回当たりの来場者数100人×37回=3,700人を予想値として算出、4,000人を目標値として設定した。 ②各会場募集定員を目標値とした(由比満原320人×2回+歴博80人×1回+清水200人×1回+会場未定100人×2回)。			
49	1	(2)	②	「まちは劇場」推進事業 市民参加型舞台公演事業	まちは劇場推進課	市(委託)	あらゆる人々が文化芸術活動に参加できる環境の整備に取組み、本市のプレゼンスの向上及び「市民が主役」のまちは劇場を推進する。	年齢や性別、障害の有無を問わず参加できる市民参加型の演劇ワークショップ及び発表公演の開催	①業務委託契約の締結 ②業務完了報告書の確認、検取	①1件 ②1件		5,400		①演劇ワークショップの実施 ②市民参加型バリアフリー公演の開催回数	①20回 ②1回	①52回 ②3回	①54回 ②2回	①25回 ②1回	①ワークショップの成果発表公演に向けて、必要な実施回数を設定した。 ②ワークショップ参加者が1回は舞台上に立てるように回数設定した。			
50	1	(2)	②	まちは劇場コンサート事業	文化振興課	市(委託)	市内で活動しているオーケストラ等と連携し、学校訪問コンサートや親子コンサートをを行い、音楽文化を通じてまちを活性化させることにより、「まちは劇場」を推進する。	①学校訪問コンサート ②こども園訪問コンサート ③親子コンサートの実施	①委託契約締結件数 ②完了報告書確認件数 ③検取件数	①1件 ②1件 ③1件		21,033		①学校訪問コンサート実施校数 ②こども園訪問コンサートの実施回数 ③親子コンサート応募人数	①8校 ②14園 ③3,700人	①8校 ②18園 ③5,969人	①8校 ②18園 ③6,964人	①6校 ②24園 ③6,734人	①予算積算上の実施分を完全実施するため、8校を目標値として設定した。 ②上に同じく、14園を目標値として設定した。 ③実施するホールの定員数(静文：1,968人、マリナート：1,513人、AOI：618人×2回)4,717人の80%である3,773人を予想値として算出し、3,700人を目標値とした。			

No.	施策の柱	大施策	小施策	事業名称	事業概要(全体)			活動の状況(アウトプット)			投入コスト(インプット)		成果(アウトカム)						評価及び次年度以降に向けた課題・改善など							
					所属名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	活動指標(アウトプット指標)			事業費		成果指標(アウトカム指標)						1次評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容				
									指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額(千円)	決算額(千円)	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値			当該年度の目標値の算出根拠				実績値	達成度		
51	1	(2)	(2)	文化芸術アウトリーチ事業	文化振興課	市(委託)	文化振興施策の一環として、様々な文化事業を効果的に実施し、本市の文化振興を図る。	「文化芸術アウトリーチプログラム事業」「静岡市民芸術発表会」「オーケストラ鑑賞事業」「伝統文化ワークショップ」等の開催、「静岡市民芸芸」の発行(文化活動委託)、静岡市芸術文化奨励賞の交付等	①委託契約締結件数 ②完了報告書確認件数 ③検収件数	①1件 ②12件 ③12件		26,265		①「文化芸術アウトリーチプログラム事業」訪問回数 ②「静岡市民芸芸」一般応募者数 ③「静岡市民芸芸発表会」参加団体数 ④「伝統文化ワークショップ」参加者数 ⑤「オーケストラ鑑賞事業」参加者アンケート満足度 ⑥「竹久夢二作品等展覧会」実施 ⑦「平野富山作品等の保管及び展示等業務」展示替回数	①9回 ②261人 ③40団体 ④120人 ⑤95.0% ⑥実施 ⑦3回	①11件 ②279人 ③81団体 ④116人 ⑤93.8% ⑥実施 ⑦3回	①9件 ②250人 ③67団体 ④120人 ⑤96.2% ⑥3,661人 ⑦3回	①— ②261人 ③57団体 ④148人 ⑤98.3% ⑥2,815人 ⑦3回	①予算の範囲内で実施が可能と判断される訪問数 ②過去3年間の平均値で設定 ③新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として募集定員を設けた数値を目標値として設定 ④新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として募集定員を設けた数値を目標値として設定(各回30人×4グループ) ⑤過去3年間の参加者アンケート満足度の平均値で目標値を設定 ⑥今後の実施会場が未確定のため、実施の有無を目標値とする。 ⑦美術作品の保護の観点から予想値を算出し、目標値に設定							
③健康に関する学習機会の提供																										
52	1	(2)	(3)	生涯学習事業(健康)	生涯学習推進課	市(直営・委託)	各生涯施設における現代的課題及び地域課題を扱った講座等の実施	健康づくり、医療、食育、食の安全等を扱った講座の実施	講座回数	各2回以上		指定管理料の一部		受講生満足度	95.0%	94.5%	95.2%	95.4%	直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。							
53	1	(2)	(3)	S型デイサービス事業の推進	地域包括ケア推進本部	市(委託)	在宅高齢者の生きがいの創出、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上を図る。	介護予防、生きがいづくり、地域交流等のミニデイサービス(心身機能の維持向上のための体操、レクリエーション等)の実施	新規立ち上げ会場数	3会場		68,160		参加者実人数	5,100人	4,862人	4,577人	3,974人	新型コロナウイルス感染症の影響を受けていない令和元年度以前の参加者の増加の傾向を考慮し、目標値を設定した。							
54	1	(2)	(3)	勤労者福祉センター管理運営事業	商業労政課	市(委託)	勤労者その他一般市民の文化教養の向上、健康の増進及び余暇利用の充実を図る。	①施設の維持管理 ②講座・教室の開催	指定講座・自主講座の開催	実施		335,285 (前年度からの繰越50,000千円含む)		講座受講者満足度	92%	95%	90%	89%	過去3年間の平均値と昨年度の目標値を比較して、より高い数値を目標値に設定した。							
55	1	(2)	(3)	健康教育相談事業	健康づくり推進課	市(直営)	生活習慣病予防や健康増進等、健康に関する正しい知識の普及を図り、必要な指導や助言を行う。	教室・相談等の実施	適切な実施	実施		4,389		①健康教育教室実施回数 ②健康相談延参加者数	①94回 ②480人	①94回 ②480人	①61回 ②438人	①97回 ②508人	①過去3年間の平均の実績値と前年度の実績値のうち高い値を目標値として設定した。							
56	1	(2)	(3)	市民健康講座の実施	病院総務課	市(直営)	地域住民の皆さんが安心して元気に暮らせるよう、健康や疾病予防等に関する情報を分かりやすく提供し、誰もが気軽に参加できる講座を開催する。	講座の開催	講座の実施回数	1回		0		受講者の満足度	90%以上	—	—	—	直近5回(H30、R1年度実施)のアンケート結果において、満足度平均値91.0%							
57	1	(2)	(3)	自立支援のための各種講座の実施 福祉教育の実施	地域包括ケア推進センター	市(直営)	障がいの有無にかかわらず、住み慣れた地域で自分らしい生活ができるよう健康・福祉の両面からリハビリテーションの視点による専門的な支援を行う。	①②市民や医療・介護・福祉に従事する職種を対象に健康や介護予防、在宅介護に関する講座を開催する。 ③児童等を対象に授業や施設見学等を通じて福祉教育に取り組んでいく。	①専門職向け講座 ②市民向け講座 ③福祉教育支援実施回数	①8回 ②6回 ③8回		1,110		専門職・市民向け講座アンケート ①理解度 ②活用したいと思う人の割合 福祉教育支援アンケート ③満足度	①95% ②95% ③80%	①95% ②94% ③—	①92% ②94% ③—	①98% ②98% ③—	①②は直近3か年の実績値の平均を目標値とした。 ③は授業や施設見学等を通じて8割が福祉教育に有益な情報となることを目標とした。							
58	1	(2)	(3)	生涯活躍のまち静岡(CCRC)推進事業	地域包括ケア推進本部	市(直営・委託)	元気な高齢者を中心に、地域の誰もが活躍できる環境づくりに取り組むことにより、「健康長寿のまち」を推進する。	2つのモデル地区(葵おまち地区、駿河共生地区)において、その拠点となる施設を中心に、産学官民の連携により多様な取組を総合的に展開する。	生涯活躍のまち静岡推進事業の実施	実施		16,908		①アクティブシニアの移住者数 ②連携事業数 開催数	①55人 ②75回	①55人 ②83回	①67人 ②71回	①54人 ②74回	①過去3か年(特異値のR3を除く)の実績から同等の値を設定 ②過去3か年の実績平均値から目標値を設定							

No.	施策の柱	大施策	小施策	事業名称	事業概要(全体)			活動の状況(アウトプット)			投入コスト(インプット)		成果(アウトカム)						評価及び次年度以降に向けた課題・改善など			
					所属名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	活動指標(アウトプット指標)			事業費		成果指標(アウトカム指標)						1次評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容
									指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額(千円)	決算額(千円)	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値			当該年度の目標値の算出根拠			
59	1	(2)	(3)	しそ〜かてん広体操の普及活動	地域N推進センター	市(直営)	高齢者が要介護状態になることや状態の悪化を防ぐために静岡市版介護予防体操「しそ〜かてん広体操」の普及を推進する。	高齢者の心身機能の維持・向上のためにしそ〜かてん広体操等をはじめ介護予防体操の教室・講座の開催や介護予防の動機づけ取組として元気度測定会を開催する。	①しそ〜かてん広体操教室実施回数 ②介護予防体操講座の実施 ③元気度測定会の実施	①40回 ②実施 ③6回		54,763		①教室参加前後の維持・改善した人の割合 ②講座受講者アンケートの満足度 ③体操の継続率	①86% ②78% ③81%	①83% ②— ③87%	①82% ②— ③71%	①95% ②— ③86%	①③直近3か年の実績値の平均を目標値とした。 ②住民を対象とした他の講座アンケートの満足度を参考値とした。			
60	1	(2)	(3)	地域福祉推進事業	地域活包括推進本部	市(直営・委託)	市民の誰もができる限り健康で、互いに支え合い、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、地域福祉の推進を図る。	拠点となる施設を中心に、地域福祉の推進に資する市民講座やシンポジウムの開催、広報紙の発行やパネル展示による啓発・情報提供を実施する。	①講座・シンポジウム実施回数 ②広報紙発行回数 ③パネル展示回数	①6回 ②4回 ③1回		2,735		講座及びシンポジウム参加者の満足度	90.0%	91.3%	96.0%	—	過去の実績から算出			
(3) 市民の自発的な学習の促進																						
①生涯学習施設等の学ぶ場所の提供(貸館・展示等)																						
61	1	(3)	(1)	生涯学習センターにおける貸館実施	生涯学習推進課	市(直営・委託)	指定管理者のノウハウを活用しながら、市民の生涯学習活動の場を提供し、生涯学習への支援・協力を行うとともに推進を図る。	①各種講座等の開催 ②市民が安心して利用できる施設運営	①モニタリング実施箇所数 ②月例業務、年度報告書確認件数 ③翌年度協定締結準備	①11箇所 ②13件 ③完了		447,850		①平均稼働率 ②延べ利用者数	①40.0% ②410,303人	①40.0% ②410,303人	①36.5% ②352,328人	①34.8% ②254,502人	新型コロナウイルス感染症により令和2年度に大幅に稼働率及び利用者数が減少した。令和3年度以降は徐々に回復傾向のため、前年度以上前年度の実績値を目標値として設定する。			
62	1	(3)	(1)	清水区生涯学習交流館における貸館実施	生涯学習推進課	市(直営・委託)	指定管理者のノウハウを活用しながら、市民の生涯学習活動の場を提供し、生涯学習への支援・協力を行うとともに推進を図る。	①各種講座等の開催 ②市民が安心して利用できる施設運営	①モニタリング実施箇所数 ②月例業務、年度報告書確認件数 ③翌年度協定締結準備	①20箇所 ②13件 ③完了		531,743		①平均稼働率 ②延べ利用者数	①27.4% ②497,224人	①27.4% ②497,224人	①24.2% ②442,387人	①21.8% ②322,363人	新型コロナウイルス感染症により令和2年度に大幅に稼働率及び利用者数が減少した。令和3年度以降は徐々に回復傾向のため、前年度以上前年度の実績値を目標値として設定する。			
63	1	(3)	(1)	葵区生涯学習施設における貸館実施	生涯学習推進課	市(直営・委託)	市民の生涯学習活動の場を提供し、生涯学習への支援・協力を行うとともに推進を図る。	①各種講座等の開催 ②市民が安心して利用できる施設運営(直営館の維持管理業務)	施設維持点検等業務の完了	8業務		12,749		①平均稼働率 ②延べ利用者数	①4.0% ②9,122人	①4.0% ②9,122人	①3.6% ②10,925人	①3.1% ②6,228人	新型コロナウイルス感染症により令和2年度に大幅に稼働率及び利用者数が減少した。令和3年度以降は徐々に回復傾向のため、前年度以上前年度の実績値を目標値として設定する。			
64	1	(3)	(1)	生涯学習団体の認定制度	生涯学習推進課	市(直営)	生涯学習施設における生涯学習団体を認定することで、生涯学習施設を利用する市民の自発的な学習の促進を図る。	①条例8条3号団体の認定(随時) ②条例9条2項団体の認定(年度末)	生涯学習施設における団体認定制度の案内実施	38施設		0		①条例8条3号団体数 ②条例9条2項団体数	①1,828 ②1,002	①1,958 ②994	①1,662 ②989	①1,863 ②1,023	直近3か年の平均値を目標値として設定した。			
65	1	(3)	(1)	学校等体育施設利用事業	スポーツ振興課	市・補助等(直営・交付先)	学校施設を利用することで、地域住民のスポーツ活動への参加機会を創出し、地域のスポーツ活動を推進する。	学校ごとに、学校等体育施設利用運営協議会を置き、利用団体の登録や利用調整を行う。	①事務担当者説明会の円滑な開催 ②夜間照明施設の保守点検	①実施 ②1回		68,965		延べ利用者数	170万人	1,849,563人	1,687,568人	1,569,032人	過去3年間(R2~R4)の平均値を目標値として設定した。			
66	1	(3)	(1)	こどもクリエイティブタウン管理運営事業	産業政策課	市(直営・委託)	こどもたちを対象にした仕事体験やものづくり体験を通じて、自主性や創造性を育み、社会・経済の仕組みや地域産業を学ぶ。	①講座形式のものづくり体験等 ②模擬店舗形式での仕事体験等 ③商店街、企業との連携による仕事体験等	①指定管理料支払事務 ②定例会(12回)を通じた管理運営に係る指導・助言	①事務処理の円滑な実施 ②定例会への参加		114,949		①利用者数 ②利用者満足度	①100,000人 ②98.1%	①13,012人 ②99.7%	①6,605人 ②98.2%	①106,370人 ②96.6%	①指定管理業務仕様書で定める指標を目標値に設定した。(施設の受入可能人数を考慮し設定。) ②過去3か年の平均値を目標値に設定した			
67	1	(3)	(1)	賤機都市山村交流センター管理経費	中山間地振興課	市(委託)	農業体験等の交流場所としての施設及び憩いの場を提供するとともに、必要な講座、教室等を開催すること等により、都市住民と中山間地域住民の交流の促進を図る。	管理運営委託(指定管理)	①指定管理件数 ②定期報告及び年度報告	①1件 ②13回		24,987		利用者満足度	95.0%	100.0%	98.8%	94.8%	直近3か年の平均値を目標値として設定した。			
68	1	(3)	(1)	自然の家における施設運営の実施	教育総務課	市(直営)	自然の家の安全で利用しやすい管理運営を行うことにより、市民の利用の増加を図る。	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家の維持管理・施設運営	①利用者の利用目的達成度 ②施設事故件数	①95% ②0件		42,558		①利用組数	①154組	①134組	①142組	①185組	①直近3か年の平均値である154組を予想値として算出し目標値として設定した。			

No.	施策の柱	大施策	小施策	事業概要(全体)				活動の状況(アウトプット)			投入コスト(インプット)		成果(アウトカム)							評価及び次年度以降に向けた課題・改善など			
				事業名称	所属名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	活動指標(アウトプット指標)			事業費		成果指標(アウトカム指標)							1次評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容
									指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額(千円)	決算額(千円)	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値			当該年度の目標値の算出根拠	実績値			
69	1	(3)	①	蒲原東部・西部コミュニティセンター管理運営事業	スポーツ振興課	市(直営)	市民の自治意識の向上、健康の増進及び生活文化の振興のために、身近な地域における交流の場を提供する。	施設の維持管理を行う。	①各種委託契約締結件数 ②施設の小破修繕の実施	①6件 ②実施		5,782		利用者数	11,081人	10,648人	10,858人	10,153人	過去3か年の利用者数平均値の5%増を目標値として設定した。				
70	1	(3)	①	野外活動施設管理事業	スポーツ振興課	市(直営・委託)	気軽に自然と触れ合える環境を整備することにより、市民の健康増進とレクリエーションの振興を図る。	キャンプ場、ハイキングコースの維持管理を行うとともに、活動の場の安全対策を図る。	①土地賃貸借契約締結件数 ②謝金の支払件数 ③キャンプ場、ハイキングコースの整備	①41件 ②70件 ③実施		52,922		キャンプ場利用者数	5,039人	4,553人	5,171人	4,674人	過去3か年の利用者数平均値の5%増を目標値として設定した。				
71	1	(3)	①	【再掲】清水庵原球場管理事業	スポーツ振興課	市(委託)	野球等のスポーツ振興及び市民の健康増進を図る。	施設管理を行うとともに、各種事業を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①2件 ②実施		51,979		①利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90.0% ②90.0%	①100% ②85.6%	①98.7% ②100%	①— ②96.9%	①協定締結時の仕様書上の目標値90%を目標値として設定した。 ②安全安心な利用ができるよう計画修繕に係る予算執行率を目標値として設定した。(契約差金等考慮)				
72	1	(3)	①	【再掲】清水ナショナルトレーニングセンター管理運営事業	スポーツ振興課	市(委託)	サッカー等、国内外のトップアスリートの利用に供するとともに、スポーツ振興及び市民の健康増進を図る。	施設管理を行うとともに、各種事業を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①2件 ②実施		212,651		①利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90.0% ②90.0%	①97.3% ②98.6%	①98% ②100%	①— ②100%	①協定締結時の仕様書上の目標値90%を目標値として設定した。 ②安全安心な利用ができるよう計画修繕に係る予算執行率を目標値として設定した。(契約差金等考慮)				
73	1	(3)	①	【再掲】スポーツ施設維持管理事業	スポーツ振興課	市(直営・委託)	市民がスポーツ、レクリエーション等に供するための施設を提供する。	施設の維持管理を行うとともに、市民向けに様々なスポーツ教室等を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①3件 ②実施		249,586		①指定管理施設における利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90.0% ②90.0%	①95.9% ②96.0%	①98.8% ②99.4%	①96.7% ②87.5%	①協定締結時の仕様書上の目標値90%を目標値として設定した。 ②安全安心な利用ができるよう計画修繕に係る予算執行率を目標値として設定した。(契約差金等考慮)				
74	1	(3)	①	【再掲】総合運動場管理運営事業	スポーツ振興課	市(委託)	スポーツ、レクリエーション、文化活動等のための施設を提供する。	施設の維持管理を行うとともに、市民向けに様々なスポーツ等教室を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①2件(体育館含む) ②実施		386,742		①利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90.0% ②90.0%	①98.6% ②93.1%	①99.3% ②99.5%	①98.8% ②98.6%	①協定締結時の仕様書上の目標値90%を目標値として設定した。 ②安全安心な利用ができるよう計画修繕に係る予算執行率を目標値として設定した。(契約差金等考慮)				
75	1	(3)	①	【再掲】体育館管理運営事業	スポーツ振興課	市(直営・委託)	スポーツ、レクリエーション、文化活動等のための施設を提供する。	施設の維持管理を行うとともに、市民向けに様々なスポーツ等教室を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①2件(総合運動場含む) ②実施		663,635		①指定管理施設における利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90.0% ②90.0%	①97.6% ②100%	①98.4% ②100%	①98.5% ②99.3%	①協定締結時の仕様書上の目標値90%を目標値として設定した。 ②安全安心な利用ができるよう計画修繕に係る予算執行率を目標値として設定した。(契約差金等考慮)				
76	1	(3)	①	【再掲】日本平運動公園管理事業	スポーツ振興課	市(委託)	プロサッカー等の開催によるスポーツ振興及び市民の健康増進を図る。	施設管理を行うとともに、Jリーグ及び各種事業を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①2件 ②実施		134,599		①利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90.0% ②90.0%	①96.1% ②99.2%	①98.9% ②99.0%	①— ②95.9%	①協定締結時の仕様書上の目標値90%を目標値として設定した。 ②安全安心な利用ができるよう計画修繕に係る予算執行率を目標値として設定した。(契約差金等考慮)				
77	1	(3)	①	【再掲】ふれあい健康増進館ゆ・ら管理運営事業	スポーツ振興課	市(委託)	市民が気軽に楽しく心身のリフレッシュに努めることにより、世代間の交流の促進を図るとともに、市民の健康増進に寄与する施設を提供する。	施設の維持管理を行うとともに、市民向けに健康増進に関するスポーツ等教室を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②入退館管理システム賃貸借契約	①2件 ②実施		229,225		①利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90.0% ②90.0%	①97.8% ②99.6%	①96.0% ②98.6%	①— ②97.2%	①協定締結時の仕様書上の目標値90%を目標値として設定した。 ②安全安心な利用ができるよう計画修繕に係る予算執行率を目標値として設定した。(契約差金等考慮)				
78	1	(3)	①	麓科都市山村交流センター管理経費	中山間地振興課	市(委託)	農業体験等の交流場所としての施設及び憩いの場を提供するとともに、必要な講座、教室等を開催すること等により、都市住民と中山間地域住民の交流の促進を図る。	管理運営委託(指定管理)	①指定管理件数 ②定期報告及び年度報告	①1件 ②13回		27,039		利用者満足度	93.8%	95.5%	97.0%	93.6%	直近3か年の平均値を目標値として設定した。				
79	1	(3)	①	市民の芸術文化の振興を図る各種事業の実施 清水文化会館管理運営事業	文化振興課	市(直営・委託)	市民に文化活動の場と芸術文化の鑑賞機会を提供することにより、市民の芸術文化の向上を図るとともに、文化を核とした清水都心の賑わい創出を図る。	PFI・指定管理者制度(利用料金制)による館の維持管理・運営(設備の維持管理、利用受付・貸出・案内・自主事業等)	①通知書送付件数 ②委託業務契約の締結件数(モニタリング支援) ③モニタリング実施回数 ④指定管理業務報告書、財務に関する報告書・検査件数	①1件 ②1件 ③3回 ④15回(維持管理・運営)1回(財務)		262,358		①年間来館者数 ②ホール・ギャラリー利用率	①500,000人 ②70.0%	①245,961人 ②75.1%	①181,116人 ②68.2%	①73,954人 ②44.0%	「清水駅東地区文化施設整備及び維持管理・運営事業運営業務仕様書」における事業期間第3チーム(令和4年度～令和8年度)で設定した目標値。				
80	1	(3)	①	市民の芸術文化の振興を図る各種事業の実施 静岡市民文化会館管理運営事業	文化振興課	市(直営・委託)	市民に文化活動の場と多彩な芸術文化の鑑賞機会を提供することにより、市民の芸術文化の向上を図る。	指定管理者制度による館の運営(受付・案内・利用料徴収・設備の管理・事業等)修繕、大規模改修など。	①指定管理業務協定締結件数 ②指定管理業務のモニタリング回数 ③指定管理業務確認・検査件数(年報1件、月報12件)	①1件 ②3回 ③13件		234,772		①年間利用者数 ②年間施設利用率	①50万人 ②70%	①388,974人 ②62.1%	①234,948人 ②58.9%	①111,400人 ②44.6%	過去の実績をもとに指定管理者と調整の上、協定締結時の仕様書で設定した。				

No.	施策の柱	大施策	小施策	事業名称	事業概要 (全体)			活動の状況 (アウトプット)			投入コスト (インプット)		成果 (アウトカム)					評価及び次年度以降に向けた課題・改善など					
					所属名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	活動指標 (アウトプット指標)			事業費		指標名	当該年度の目標値	成果指標 (アウトカム指標)			実績値	達成度	1次評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容
									指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額 (千円)	決算額 (千円)			R4	R3	R2					
81	1	(3)	①	児童館運営事業	子ども未来課	市 (委託)	地域における児童健全育成の拠点として、子どもの健康を増進し、情操を豊かにするため、各種教室や読み聞かせ、クラブ活動など児童に健全な遊びを提供する。	市内13館の児童館の運営	適切な運営施設数	13館		245,757		①利用者満足度 ②利用者数	①90% ②240,000人	①90.7% ②197,229人	①87.3% ②182,947人	①84.8% ②135,981人 (4, 5月開所)			①指定管理協定により定められている目標値を設定した。 ②ウイズコロナの状況において、地域の児童健全育成の拠点となる児童館は重要な役割を担う施設であり、多くの子育て家庭や児童に利用していたことを目的に、前年度と同程度の利用者数を目標値とした。		
82	1	(3)	①	女性をとりまく諸問題に関する学習・活動の推進 (女性会館事業)	男女共同参画・人権政策課	市 (直営・委託)	男女共同参画社会実現のための拠点施設である女性会館を管理運営し、男女共同参画に係る各種事業を通じて市民に広く啓発するとともに、女性をとりまく諸問題の解決に取り組む市民グループの活動を支援する。	①指定管理者との協定の締結、男女共同参画に関する講座の開催、団体活動の支援、女性を取り巻く諸問題や男女共同参画に関する情報収集発信のための図書コーナーの運営、施設管理 ②女性会館相談室の開設：女性のための総合相談・法律相談、LGBTQ相談の実施 ③指定管理事業の年度評価の実施	①指定管理業務のモニタリング実施回数 ②指定管理業務報告確認・検査回数 (年報1件、月報12件) ③年度評価の実施	①1回 ②13件 ③完了		109,994		①新規利用者数 (講座、相談、図書) ②講座受講者の理解度 ③図書コーナーの図書貸出冊数 ④女性相談の適切な実施	①1,100人 ②80.0% ③16,500冊 ④実施	①1,284人 ②97.3% ③17,384冊 ④実施 (1,889件)	①884人 ②一 ③16,396冊 ④実施 (1,922件)	①957人 ②一 ③16,583冊 ④実施 (1,938件)			①、②協定書の数値を目標値とした。 ③図書コーナーの本の貸出しにより男女共同参画の意識向上が図られることから、過去3年間の平均値を参考に目標値を設定した。 ④相談の適切な実施を指標として設定した (相談の適切な実施がなされているかについては、拡大ケースカンファレンスに出席し確認する)。		
83	1	(3)	①	東静岡地区「アート&スポーツ/ヒロバ」開設・運営事業	企画課	市・補助等 (直営・交付先)	「文化・スポーツ等の拠点」として位置付けた東静岡市有地を、本格的な整備方針が決定するまで、「賑わいづくりの実験場」として活用する。	「まちは劇場プロジェクト」及び「2020年東京オリパラ」を見据えた取組として、大道芸・ダンス・音楽等の様々なジャンルとともに、ローラースポーツやホビー等のイベントを実施する「アート&スポーツ/ヒロバ」を運営する。	①実行委員会の開催 ②各作業部会の開催	①2回 ②7回		31,340		①東静岡アート&スポーツ/ヒロバのローラースポーツパーク利用者人数 ②芝生広場でのイベント開催数	①29,947人 ②10回	①27,225人 ②12回	①28,004人 ②一	①24,790人 ②一			①前年度実績の110%を目標とする。 ②例年開催する8回に加え、イベント誘致等による、2回を加えた10回とした。		
84	1	(3)	①	文化・クリエイティブ産業振興センター管理運営事業	産業政策課	市 (直営・委託)	文化・クリエイティブ産業の活性化を通じ、新産業の創出や地域の賑わいづくりを行う	①大道芸、劇団などのパフォーマンスを支援する取組 ②クリエーターの集積と育成を図る取組 ③文化・クリエイティブ産業を振興するための啓蒙・啓発を進める取組 (展示会・セミナー等) ④企業とクリエーターとのマッチングを促進する取組	①指定管理関係業務 (協定締結、年度評価、指定管理料支払業務等) ②管理運営に係る指導、助言	①事務処理の円滑な実施 ②会議への参加		90,645		①利用者数 ②利用者満足度 ③クリエーターと企業のマッチング件数 ④クリエーターの集積数	①40,000人 ②90% ③6件 ④3者	①43,820名 ②90% ③16件 ④0者	①38,191人 ②86% ③10件 ④5者	①33,864人 ②86% ③8件 ④4者			指定管理業務仕様書【R5〜R9】で定める指標を目標値に設定した。(過去の実績等を踏まえて各指標を設定。)		
85	1	(3)	①	老人憩いの家における高齢者の社会参加促進事業	高齢者福祉課	市 (直営・委託)	老人に対し、教養の向上、レクリエーション等の場の提供、老人の心身の健康増進を図る。	①各種相談事業、健康増進、教養の向上、レクリエーションに関する事業の実施 ②施設の維持管理	①モニタリング、指定管理者との協議 ②施設修繕実施	①随時 ②随時		24,079		利用者満足度	90.0%	98.3%	99.1%	95.2%			すでに一定の評価を得ている利用者満足度を今後も維持するため、静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画と合わせ、利用者満足度90.0%を目標値とした。		
86	1	(3)	①	世代間交流センターにおける高齢者の社会参加促進事業	高齢者福祉課	市 (直営・委託)	世代間の交流活動を通じて、豊かな地域社会の形成に資する。	①高齢者と地域住民等が相互に交流することを促進し、地域の伝統文化を承継する事業及び世代間の交流に係る教養の向上、レクリエーション等の場の提供に関する事業の実施 ②施設の維持管理	①モニタリング、指定管理者との協議 ②施設修繕実施	①随時 ②随時		60,142		利用者満足度	90.0%	99.1%	98.4%	90.0%			すでに一定の評価を得ている利用者満足度を今後も維持するため、静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画と合わせ、利用者満足度90.0%を目標値とした。		
87	1	(3)	①	老人福祉センターにおける高齢者の社会参加促進事業	高齢者福祉課	市 (直営・委託)	老人に対し、各種相談に応ずるとともに、健康増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与し活動の指導及び推進を図る。	①各種相談事業及び健康増進、教養の向上及びレクリエーションに関する事業の実施 ②施設の維持管理	①モニタリング、指定管理者との協議 ②施設修繕実施	①随時 ②随時		248,695		利用者満足度	90.0%	96.7%	97.0%	90.4%			すでに一定の評価を得ている利用者満足度を今後も維持するため、静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画と合わせ、利用者満足度90.0%を目標値とした。		

No.	施策の柱	大施策	小施策	事業概要(全体)				活動の状況(アウトプット)			投入コスト(インプット)		成果(アウトカム)						評価及び次年度以降に向けた課題・改善など			
				事業名称	所属名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	活動指標(アウトプット指標)			事業費		成果指標(アウトカム指標)						1次評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容
									指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額(千円)	決算額(千円)	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値			当該年度の目標値の算出根拠			
②展示等による鑑賞・学習機会の提供																						
88	1	(3)	②	登呂博物館管理運営業務	文化財課	市(直営)	登呂遺跡の価値を市民に発信し、地域の歴史や文化について関心を深めてもらう。	○幅広い分野の展示 ○講座・講演会等教育普及事業の実施 ○博物館協議会の開催	①特別展・企画展回数 ②各種教育普及事業の開催回数 ③協議会開催回数	①4回 ②25回 ③2回		68,519		博物館の入館者数	169,000人	161,181人	118,132人	97,168人	登呂遺跡発見80周年事業を実施することを鑑み、前年度実績の5%増を目標値として設定。			
89	1	(3)	②	三保松原文化創造センター管理運営	文化財課	市(直営・委託)	世界文化遺産「三保松原」の魅力と価値を国内外へ発信するとともに、三保松原と他の文化や芸術と融合させた松原文化を創造していく。	○建物の保守、管理 ○展示の保守、管理 ○企画展の開催	①年間を通しての開館 ②年間を通しての公開 ③企画展の開催回数	①実施 ②実施 ③4回		32,286		来館者数	440,000人	423,100人	253,302人	322,643人	前年度(40万人)の10%増を目標値とする。			
90	1	(3)	②	科学への関心を高めるための各種事業の実施(静岡科学館事業)	文化振興課	市(直営・委託)	市民が自ら体験することを通して身近な科学に親しみ、及び科学への関心を高める場を提供することにより、市民の創造力及び感性の向上に資する。	指定管理者制度による施設、展示物の維持管理を行うとともに科学の実演会及び講座を実施する。	①協定締結件数 ②モニタリング実施回数 ③指定管理業務報告書・検査件数	①1件 ②3回 ③13回		312,950		①年間来館者数 ②事業満足度※R5からR4までは連携事業回数を指標としていた。	①250,000人 ②95.0%	①161,063人 ②184回	①110,813人 ②185回	①76,132人 ②114回	指定管理者と調整の上、協定締結時の仕様書内で設定した目標値			
91	1	(3)	②	興津坐漁荘記念館管理運営事業	観光・MICE推進課	市(委託)	興津地区および周辺地域を結びつけ、観光コースの拠点として地域の活性化と観光振興を図る。	施設の維持管理運営及び観光情報を発信し集客対策を行う。	①事務の適正な実施 ②東海道まらちあるぎウェブサイトへの情報掲載	①実施 ②年4回以上		8,829		①施設来館者数 ②来場者アンケートの満足度(5段階評価で4以上の割合)	①5,943人 ②80%	①7,386人 ②99.9%	①5,463人 ②89.6%	①4,979人 ②-	①施設改修工事による影響も考慮し、直近3年の平均値を目標値とした。 ②当課所管の指定管理施設の業務仕様書に設定している来場者アンケート満足度と同じ数値を指標として設定した。			
92	1	(3)	②	芹沢銈介美術館管理運営事業	文化振興課	市(直営)	静岡市名誉市民であり型絵染の人間国宝・芹沢銈介の芸術を永く後世に伝える。美術に関する知識の向上と文化の発展に寄与する。	芹沢銈介の型絵染の作品等や芹沢銈介が収集した世界各国の工芸品の展示を行うとともに、講座や講演会等教育普及事業を実施する。	①企画展の開催件数 ②講演会・講座等教育普及事業の開催件数 ③開館日数	①4回 ②15回 ③257日		83,133		①年間観覧者数 ②観覧者満足度	①30,000人 ②96.6%	①32,363人 ②95.8%	①28,013人 ②95.2%	①11,994人 ②98.8%	①コロナ前の実績を考慮し設定した。 ②観覧者アンケートの満足度の直近3か年の平均を考慮し設定した。			
93	1	(3)	②	市民ギャラリー事業の実施	文化振興課	市(委託)	市民に文化に触れる機会と発表の場を提供し、文化の向上を図る。	ギャラリー利用者の受付管理、展示会予定表の作成、作業日誌の作成等の管理運営事務及びギャラリー使用料徴収業務	①業務委託契約の締結 ②業務委託完了報告書の確認 ③業務委託の検収	①1件 ②12件 ③1件		7,792		年間利用率	68.4%	50.6%	59.1%	34.6%	令和元年度の実績値(68.36%)を基に設定。			
94	1	(3)	②	市民の芸術文化の振興を図る各種事業の実施(静岡音楽館管理運営事業)	文化振興課	市(直営・委託)	市民の音楽に対する関心を高め、市民文化の向上を図る。	指定管理者制度による施設の維持管理を行うとともに、多くの市民が音楽文化に触れる機会を提供するため、各種コンサートや講座を実施する。	①協定締結件数 ②モニタリング実施回数 ③指定管理業務報告書・検査件数	①1件 ②3回 ③13回		336,109		①施設利用率(年間平均) ②定員に対するコンサート入場者数の割合(年間平均)	①84.0% ②70.0%	①76.2% ②64.7%	①68.7% ②54.7%	①60.1% ②75.8%	過去の実績をもとに指定管理者と調整の上、協定締結時の仕様書内で設定した目標値			
95	1	(3)	②	市民の芸術文化の振興を図る各種事業の実施(静岡市美術館管理運営事業)	文化振興課	市(直営・委託)	多様な美術表現を広く市民に公開し、静岡市の特色ある美術文化の創造と発信を行い、美術に関する市民の知識及び教養の向上を図る。	指定管理者制度による施設の維持管理を行うとともに、多くの市民が芸術文化に触れる機会を提供するため、企画展示や講座を実施する。	①協定締結件数 ②モニタリング実施回数 ③指定管理業務報告書・検査件数	①1件 ②3回 ③13回		380,209		①累計入館者数(150万人・R2~R6) ②展覧会事業における来場者満足度(年間平均)	①30万人(150万人/5年) ②85%	①202,136人 ②95.5%	①191,275人 ②94.8%	①235,248人 ②92.8%	過去の実績をもとに指定管理者と調整の上、協定締結時の仕様書内で設定した目標値			
96	1	(3)	②	市民の芸術文化の振興を図る各種事業の実施(中助助文学記念館管理運営事業)	文化振興課	市(委託)	作家中助助氏の業績の顕彰や市民の文化・文芸活動の場として広く市民の文化向上に寄与すること。	「中助助文学記念館」の日常管理運営及び中助助顕彰事業の実施。	①委託契約締結件数 ②完了報告書確認・検収件数(月報12件)	①8件 ②12回		7,792		年間来場者数	2,116人	1,886人	1,695人	1,252人	令和元年度の実績値(2,116人)を基に設定。			
97	1	(3)	②	駿府匠宿運営事業	産業振興課	市(直営・委託)	今川、徳川時代から受け継がれてきた伝統工芸とその後興った近代産業をテーマにした体験型施設「駿府匠宿」を運営し、創作体験や各種展示を通じて、来場者が工芸に親しみ、歴史に触れる機会を提供して、本市場場産業の振興を図る。	①「駿府匠宿」の管理・運営を指定管理者制度のもとに実施 ②本市伝統工芸や地場産業を体験できる場を提供	①協定締結事務件数 ②年度評価回数 ③定例会実施回数	①1回 ②1回 ③12回		235,013		①創作体験者数 ②利用者満足度	①31,000人 ②95%	①29,513人 ②97.8%	①22,512人 ②95.0%	①14,093人 ②99.5%	①令和4年度実績に新規模型体験の導入による伸びを見込み設定 ②満足度は現状で高水準のため同水準を維持するため95%とした。			

No.	施策の柱	大施策	小施策	事業概要(全体)				活動の状況(アウトプット)			投入コスト(インプット)		成果(アウトカム)						評価及び次年度以降に向けた課題・改善など			
				事業名称	所属名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	活動指標(アウトプット指標)			事業費		成果指標(アウトカム指標)						1次評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容
									指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額(千円)	決算額(千円)	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値			当該年度の目標値の算出根拠			
R4	R3	R2																				
98	1	(3)	②	図書整備充実事業	中央図書館	市(直営)	12館の図書館施設及び移動図書館の安全で安心できる維持管理を行う。	施設の適切な維持管理を行う。	①委託事業件数 ②設備点検/維持管理作業件数	①67件 ②11件		373,638		①図書館施設の瑕疵による事故件数 ②図書館施設の瑕疵による閉館日数	①0件 ②0日	①0件 ②0日	①0件 ②0日	①0件 ②0日	①直近3か年の実績は0件である。図書館施設は全体的に老朽化が進んでいるが、今後も計画的な設備点検や委託事業等を実施し、利用者が安全で安心できる施設の維持管理を確実に実現する必要があることから、図書館施設の瑕疵による事故件数0件を目標値として設定した。 ②直近3か年の実績は0日である。今後も計画的な設備点検や委託事業等を実施し、図書館施設の瑕疵による閉館という事態で利用者の不利益になることを防ぐ必要があることから、図書館施設の瑕疵による閉館日数0日を目標値として設定した。			
99	1	(3)	②	清水港船宿記念館管理運営事業	観光・MICE推進課	市(委託)	次郎長翁の功績と清水地区の歴史、文化を紹介することで、清水港エリアのまち歩き観光の拠点として活用する。	施設の維持管理運営を行う。また、指定管理者の行う事業により、施設の高度利用と魅力づくりを図ると共に、情報を発信し集客を図る。	①指定管理事務の実施 ②連絡会議の開催 ③東海道まちあるきウェブサイトへの情報掲載	①実施 ②年4回以上 ③年4回以上		8,399		①施設来館者数 ②来場者アンケートの満足度(5段階評価で4以上の割合)	①10,000人 ②80.0%	①7,350人 ②92.4%	①4,330人 ②84.2%	①4,783人 ②83.7%	①指定管理者が事業計画書で設定している当該年度の目標値を指標として設定した。 ②指定管理業務仕様書に設定している来場者アンケート満足度の目標値を指標として設定した。			
100	1	(3)	②	静岡市東海道広重美術館管理運営事業	観光・MICE推進課	市(委託)	東海道五十三次を代表作とする歌川広重の浮世絵を所蔵し、市民・観光客に広く閲覧することで、文化の振興と、街道観光に寄与する。	施設の維持管理運営を行う。また、指定管理者の事業により、施設の高度利用と魅力づくりを図る。また、広重美術館及び由比本陣施設指定管理者とともに集客対策を進める。	①指定管理業務の実施 ②連絡会議の開催 ③東海道まちあるきウェブサイトへの情報掲載	①実施 ②年6回以上 ③年4回以上		37,959		①施設来館者数 ②来場者アンケートの満足度(5段階評価で4以上の割合)	①21,500人 ②80.0%	①16,766人 ②86.4%	①13,484人 ②84.2%	①10,607人 ②83.7%	①指定管理者が事業計画書で設定している当該年度の目標値を指標として設定した。 ②指定管理業務仕様書に設定している来場者アンケート満足度の目標値を指標として設定した。			
101	1	(3)	②	埋蔵文化財センター管理運営事業	文化財課	市(直営)	埋蔵文化財センターの円滑な管理運営と共に出土遺物の調査整理と展示公開を行い、市内の埋蔵文化財について顕彰する。	①発掘調査した遺跡の資料整理作業と出土遺物の保管・管理を行う。 ②整理作業の終了した遺物の展示や遺跡の紹介を行う。	①出土遺物の実測点数 ②企画展の開催回数	①500点 ②3回		50,164		①年報、報告書完成2件以上 ②来館者数	①2件 ②2,276人	①2件 ②2,168人	①1件 ②1,389人	①2件 ②893人	①施設設置の本来目的である出土資料の整理作業の結果として作る、年報など報告書完成件数を目標値とした。 ②調査成果を公開した企画展開催等による年間来館者数を、前年度5%増を目標値とした。			

No.	施策の柱	大施策	小施策	事業名称	事業概要(全体)			活動の状況(アウトプット)			投入コスト(インプット)		成果(アウトカム)						評価及び次年度以降に向けた課題・改善など			
					所属名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	活動指標(アウトプット指標)			事業費		成果指標(アウトカム指標)						1次評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容
									指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額(千円)	決算額(千円)	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値			当該年度の目標値の算出根拠			
2 学びを地域や社会に活かすための支援の充実																						
(1) 地域や社会を担う人材の養成																						
①シチズンシップに富んだ人材の養成																						
102	2	(1)	①	地域デザインカレッジ2023(こ・こ・に地域チャレンジ学部)	市(直営)	地域の課題を正確に把握し、地域住民とともに解決策に取り組むことができる人材を養成する。	地域の課題を解決するスキル習得の学習機会と、課題解決に向けたチャレンジの場を提供する講座の実施。	講座回数	5回		4,403	①受講した人のうち、シチズンシップが身についた人の割合 ②修了生数	①100% ②10人	①100% ②10人	①100% ②6人	①100% ②12人	①②直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。					
103	2	(1)	①	駿河区地域の人材育成事業 駿援隊(こ・こ・に地域チャレンジ学部)	市(直営)	地域コミュニティ(自治会・町内会等)をリーダーとともに支える人材を育成する。	女性目線の防災講座の実施。(駿河区地域総務課)	講座回数	4回		650	①受講した人のうち、シチズンシップが身についた人の割合 ②修了生数	①100% ②22人	①100% ②22人	—	—	①②講座中止でR3、R4のデータが無いため、前年度実績を基に設定した。					
104	2	(1)	①	UDOまちづくりベース(こ・こ・に地域チャレンジ学部)	市(直営・委託)	まちづくりに関わる実践活動や組織づくりができる人、さらにはリーダーを育てていくこと。	理想的なビジョン(住み続けたいと思うまちの姿)の「活動の実践」や「既存事業の持続化」に寄与する学びや交流の場を提供する講座の実施。(有度生涯学習交流館)	講座回数	4回		指定管理料の一部	①受講した人のうち、シチズンシップが身についた人の割合 ②修了生数	①80% ②30人	—	—	—	講座実施初年度となるため、①を80%、②を定員数に設定した。					
105	2	(1)	①	多文化共生サポーター養成講座(こ・こ・に地域チャレンジ学部)	市(直営)	日本人と外国人住民の交流を増やし、地域の支え合いを進めることができる「多文化共生サポーター」を養成する。	多文化共生を進めるために重要となる、地域の課題の把握や、やさしい日本語のスキルなどを学ぶ機会を提供する講座の実施。(国際交流課)	講座回数	5回		186	①受講した人のうち、シチズンシップが身についた人の割合 ②修了生数	①100% ②20人	①100% ②19人	①100% ②19人	①100% ②21人	①②直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。					
106	2	(1)	①	「消費の賢者」ウェブセミナー(こ・こ・に地域チャレンジ学部)	市(直営)	人・社会・地域・環境に配慮した「エシカル消費」等の知識を得て、地域・学校・職場などにおいてその実践ができる消費者市民を養成する。	消費者として知っておきたい契約の基礎知識や消費者トラブルの事例、悪質商法の手法とその対処法などを学ぶオンライン講義の実施。(生活安全安心課)	講座回数	4回		173	①受講した人のうち、シチズンシップが身についた人の割合 ②修了生数	①100% ②8人	①100% ②8人	①100% ②7人	①100% ②7人	①②直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。					
107	2	(1)	①	環境大学(こ・こ・に地域チャレンジ学部)	市(直営・委託)	環境全般について専門的な知識を修得し、身の回りの環境問題の解決に向かって主体的に取り組む環境学習リーダー・学習支援スタッフを養成することにより、よりよい静岡市の環境を将来の世代へ継承することを目指す。	多彩な大学教授・現場を熟知する専門家が講師となり、環境問題を様々な視点から捉え、自らが行動するための知識や実践的な技能を学ぶ講座の実施。(こみ減量推進課)	講座回数	10回		678	①受講した人のうち、シチズンシップが身についた人の割合 ②修了生数	①100% ②25人	①100% ②25人	①100% ②20人	①100% ②15人	①②直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。					
108	2	(1)	①	市民生きもの調査員養成講座(こ・こ・に地域チャレンジ学部)	市(直営)	生物多様性保全のために生きもの調査を実施できる人材を養成する。	市内に生息する多種多様な生きもの調査を実施できる人材の養成を行うために、生きもの見分け方やモニタリング手法を学び、専門家と共にフィールドに出て実際に調査を行う講座の実施。(環境共生課)	講座回数	6回		165	①受講した人のうち、シチズンシップが身についた人の割合 ②修了生数	①97.2% ②22人	①94.4% ②21人	①100% ②23人	—	①②R3から新設講座のため、直近2か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。					
109	2	(1)	①	観光ボランティアガイド養成講座(こ・こ・に地域チャレンジ学部)	市(直営・委託)	観光ガイドによるおもてなしやガイドを行なうことで、観光地の魅力度を向上させ、観光による交流人口の拡大と地域経済の活性化を図る。	観光ボランティアガイドとして活動している団体の会員から、ガイドとしておもてなしをするうえで必要となる心構えや、市内の観光地を案内する際のポイント等を学ぶ講座の実施。(観光・MICE推進課)	講座回数	6回		200	①受講した人のうち、シチズンシップが身についた人の割合 ②修了生数	①100% ②24人	①100% ②24人	①100% ②12人	①100% ②4人	①②直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。					
110	2	(1)	①	英語deおもてなしサポーター養成講座(こ・こ・に地域チャレンジ学部)	市(直営・委託)	クルーズ船乗客等に対しておもてなしやガイドを行なうことで、観光地の魅力度を向上させ、観光による交流人口の拡大と地域経済の活性化を図る。	主にクルーズ船寄港時に、英語でのガイドをしている団体の会員から、海外の方をおもてなしをするうえで必要となる心構えや、英語で案内する際のポイント等を学ぶ講座の実施。(観光・MICE推進課)	講座回数	6回		350	①受講した人のうち、シチズンシップが身についた人の割合 ②修了生数	①96.1% ②20人	①88.2% ②20人	①100% ②9人	①100% ②4人	①②直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。					
111	2	(1)	①	文化財サポーター(こ・こ・に地域チャレンジ学部)	市(直営)	市内の貴重な歴史資源の保護や活用、情報の発信におおきな役割を担う人材の養成。	文化財の現地見学や講義を通して、文化財の保護・活用について基礎的な知識を学ぶ講座の実施。(文化財課)	講座回数	5回		347	①受講した人のうち、シチズンシップが身についた人の割合 ②修了生数	①100% ②12人	①100% ②6人	①100% ②16人	①93.3% ②14人	①②直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。					

No.	施策の柱	大 施策	小 施策	事業名称	事業概要 (全体)			活動の状況 (アウトプット)			投入コスト (インプット)		成果 (アウトカム)						評価及び次年度以降に向けた課題・改善など			
					所属名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	活動指標 (アウトプット指標)			事業費	成果指標 (アウトカム指標)						1次評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容	
									指標名	当該年度の目標値	実績値		予算額 (千円)	決算額 (千円)	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値					当該年度の目標値の算出根拠
112	2	(1)	①	食育ボランティア人材養成講座 (こ・こ・に地域チャレンジ学部)	生涯学習推進課	市 (直営・委託)	身近な食を改めて学び直すことで、食育活動への興味を高め、食育活動の普及啓発及び潜在的な担い手を掘り起こす。	誰もが向き合う「食」をテーマに、医療、栄養、料理だけでなく、厨房見学や調理実習、参加者同士のディスカッションなど「体験価値」を通じ、身近な視点から「楽しく」学ぶ講座の実施。(健康づくり推進課)	講座回数	10回		546		①受講した人のうち、シチズンシップが身についた人の割合 ②修了生数	①80% ②30人	—	—	—	講座実施初年度となるため、①を80%、②を定員数に設定した。			
113	2	(1)	①	運動でつながる～スキルを活かそう～ (こ・こ・に地域チャレンジ学部)	生涯学習推進課	市 (直営・委託)	「運動」をテーマに、自らが持つスキルを地域で活かす具体的な方策と契機を提供することで、地域で活動する人材の発掘と育成を図る。	「運動」をテーマに自身が伝えられること・伝えたいこと等を整理しながら講座として企画し、シミュレーションと実践を行う講座の実施。(駿河生涯学習センター)	講座回数	5回		指定管理料の一部		①受講した人のうち、シチズンシップが身についた人の割合 ②修了生数	①100% ②8人	①100% ②8人	—	—	①②R4から新設講座のため、前年度実績を基に設定した。			
114	2	(1)	①	地域支え合い人材養成講座 (こ・こ・に地域チャレンジ学部)	生涯学習推進課	市 (直営・委託)	地域における高齢者の現状や課題を把握し、高齢者のための通いの場や居場所づくりなどの地域支え合い活動におけるリーダーとなる人材を養成する。	地域における高齢者の現状や課題を把握し、高齢者のための通いの場や居場所づくりのために必要なことを講義形式で学び、さらに、実践者からの報告、グループワーク等により具体的な活動をイメージしていく講座の実施。(地域包括ケア・誰もが活躍推進本部)	講座回数	5回		594		①受講した人のうち、シチズンシップが身についた人の割合 ②修了生数	①100% ②9人	①100% ②9人	①100% ②5人	—	①②講座中止でR2のデータが無いため、直近2か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。			
115	2	(1)	①	市民後見人養成講座 (基礎編) (こ・こ・に地域チャレンジ学部) ※隔年実施	生涯学習推進課	市 (直営・委託)	認知症高齢者等が増加する中、成年後見人を地域で支える体制を構築するために、その新たな担い手として市民後見人を養成する。	成年後見制度の概要や対象者理解などを、実習を交えて学ぶ講座の実施。(福祉総務課)	講座回数	隔年開催のため未実施		—		①受講した人のうち、シチズンシップが身についた人の割合 ②修了生数	①100% ②15人	①100% ②13人	—	①100% ②16人	①②隔年開催でR3のデータが無いため、2か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。			
116	2	(1)	①	再犯防止に関する支援者養成講座 (こ・こ・に地域チャレンジ学部)	生涯学習推進課	市 (直営)	再犯防止の推進に理解ある市民を増やし、犯罪をした者等の社会復帰を推進する。	犯罪等をした者等の処遇について(保護観察や保護司制度等)、社会復帰のための就労・居住支援の制度について学び、再犯防止の推進について理解を深める講座の実施。(福祉総務課)	講座回数	7回		233		①受講した人のうち、シチズンシップが身についた人の割合 ②修了生数	①80% ②20人	—	—	講座実施初年度となるため、①を80%、②を定員数に設定した。				
117	2	(1)	①	アイボランティア入門講座 (こ・こ・に地域チャレンジ学部)	生涯学習推進課	市 (直営・委託)	視覚障がいのある人を支援するボランティアを養成する。	視覚障がいへの理解を深め、視覚障がいのある方々との座談会や、点訳、音訳、ガイドヘルプなどの体験を行い、必要なサポートを学ぶ講座の実施。(障害福祉企画課)	講座回数	7回		171		①受講した人のうち、シチズンシップが身についた人の割合 ②修了生数	①96.3% ②11人	①88.9% ②11人	①100% ②14人	①100% ②5人	①②直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。			
118	2	(1)	①	移動支援事業従事者養成講座 (こ・こ・に地域チャレンジ学部)	生涯学習推進課	市 (直営・委託)	知的障がい及び精神障がいのある方を対象としたガイドヘルパーを担える人材を養成する。	移動支援の基礎知識や障がいのある方への接し方などを、講義や実際の外出支援への同行を通じて学ぶ講座の実施。(障害福祉企画課)	講座回数	6回 (3回×2)		807		①受講した人のうち、シチズンシップが身についた人の割合 ②修了生数	①94.6% ②60人	①96.3% ②60人	①92.9% ②22人	—	①②R3から新設講座のため、直近2か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。			
119	2	(1)	①	こころのバリアフリープロモーター養成講座 (こ・こ・に地域チャレンジ学部)	生涯学習推進課	市 (直営)	精神疾患とその障害特性を理解し、精神障がい者の社会参加の促進や活動支援を共に行える人材を養成する。	精神疾患に関することや障がい者が抱える生活のしづらさについて、お互いの理解を深めながら、こころのバリアフリー活動を実践できるようになる講座の実施。(こころの健康センター)	講座回数	5回		139		①受講した人のうち、シチズンシップが身についた人の割合 ②修了生数	①100% ②11人	①100% ②9人	—	①100% ②13人	①②講座中止でR3のデータが無いため、2か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。			
120	2	(1)	①	女性のための支援者養成講座+ (プラス) (こ・こ・に地域チャレンジ学部)	生涯学習推進課	市 (直営・委託)	女性特有の困難について理解し、伴走型支援のスキルを身につけた人材を養成する。	様々な分野における女性特有の困難について、現場の声も取り入れ、意見交換の場や受講者同士のネットワークを構築する講座の実施。(男女共同参画・人権政策課)	講座回数	5回		1,600		①受講した人のうち、シチズンシップが身についた人の割合 ②修了生数	①93.1% ②32人	①93.1% ②32人	—	—	①②R4から新設講座のため、前年度実績を基に設定した。			
121	2	(1)	①	子育ての親育ち学校 (こ・こ・に地域チャレンジ学部)	生涯学習推進課	市 (直営)	子育てを楽しめる力を養うと共に、子育て支援に関心のある方が、様々な視点で子育て家庭との関わり方を学ぶことで、地域で活躍できる人材を養成する。	子どもの発達、心の成長、おもちゃ遊び、外遊び、親のメンタルヘルスなど、専門家から子育ての楽しめる力を養う講座の実施。(子ども未来課)	講座回数	6回		609		①受講した人のうち、シチズンシップが身についた人の割合 ②修了生数	①92.2% ②24人	①86.7% ②24人	①100% ②22人	①90.0% ②20人	①②直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。			

No.	施策の柱	大施策	小施策	事業名称	事業概要(全体)			活動の状況(アウトプット)			投入コスト(インプット)		成果(アウトカム)							評価及び次年度以降に向けた課題・改善など			
					所属名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	活動指標(アウトプット指標)			事業費		成果指標(アウトカム指標)							1次評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容
									指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額(千円)	決算額(千円)	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値			当該年度の目標値の算出根拠	実績値			
R4	R3	R2																					
122	2	(1)	①	ひきこもりサポーター養成講座(こ・こ・に講座)	生涯学習推進課	市(直営・委託)	ひきこもり支援を適切に行える人材を養成することにより、ひきこもり支援の資質向上を図る。	「ひきこもりとは?」という基礎知識から、講座修了後のサポーター活動を見据えた実際の支援方法まで取り組む講座の実施。(青少年育成課)	講座回数	6回		106		①受講した人のうち、シチズンシップが身についた人の割合 ②修了生数	①97.8% ②15人	①93.3% ②15人	①100% ②19人	①100% ②11人	①②直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。				
123	2	(1)	①	"学校・地域 ひとつなぎ" コーディネーター養成講座(こ・こ・に地域チャレンジ学部)	生涯学習推進課	市(直営・委託)	学校と地域をつなぐコーディネーター役を担い、学校の教育活動へ参画し、学校支援・放課後の居場所づくり等の連携・協働活動を推進していくことができる人材を育成する。	教育や学校と地域の連携のあり方、コーディネーターの役割、広報や情報収集、活動プログラム立案等のスキルを学ぶ講座の実施。(教育総務課)	講座回数	6回		990		①受講した人のうち、シチズンシップが身についた人の割合 ②修了生数	①100% ②30人	①100% ②30人	①100% ②21人	①100% ②18人	①②直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。				
124	2	(1)	①	学習支援人材養成講座(こ・こ・に地域チャレンジ学部)	生涯学習推進課	市(直営・委託)	地域で学習支援活動に意欲的に参加し、自らが課題解決に取り組む中核となる人材を育成する。また、仲間づくりによる更なる地域人材の発掘・育成を目指す。	生活が苦しい、学校に馴染めない、日本語が不自由などの様々な困難を抱えている子どもへの支援を始めたいと考えている方に、必要な知識や活動の実例を紹介し、活動への参加のきっかけとする講座の実施。(奨生涯学習センター)	講座回数	5回		指定管理料の一部		①受講した人のうち、シチズンシップが身についた人の割合 ②修了生数	①100% ②6人	①100% ②6人	①100% ②4人	①85.7% ②7人	①②直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。				
125	2	(1)	①	ものづくりプラモデル大学(こ・こ・に地域チャレンジ学部)	生涯学習推進課	市(直営)	行政やプラモデル業界とともにプラモデルを活用したまちづくりに参画する人材を育成する。	プラモデル産業が抱える課題を捉え、プラモデルに関する知見、技術を学習すると共に、プラモデルを活用したまちづくりに関する手法を習得する。(産業振興課)	講座回数	10回		1,700		①受講した人のうち、シチズンシップが身についた人の割合 ②修了生数	①100% ②23人	①100% ②23人	①94.1% ②20人	—	①②R3から新設講座のため、直近2か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。				
126	2	(1)	①	静岡市お茶の学校(こ・こ・に地域チャレンジ学部)	生涯学習推進課	市(直営)	「静岡市のお茶」「お茶のまち静岡市」に関心・愛着を持った「お茶のまち静岡市」のサポーターやコーディネーター役を担う人づくりを推進する。	茶業者から茶業の現状などについて直接話を聞く機会を提供し、「静岡市のお茶」について様々な分野から総合的に学ぶ講座の実施。(農業政策課)	講座回数	7回		357		①受講した人のうち、シチズンシップが身についた人の割合 ②修了生数	①94.5% ②15人	①88.9% ②14人	①100% ②16人	—	①②講座中止でR2のデータが無いため、直近2か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。				
127	2	(1)	①	高校生まちづくりスクール(プロジェクト編)(こ・こ・に高校生チャレンジコース)	生涯学習推進課	市(直営・委託)	若者の地域定着を図るため、若者の社会参画を促すことで、自己有用感及び地域への愛着を高める。	参加者が自身の興味関心から発見された地域課題を解決するためのプロジェクトを考案し実行する講座の実施。(青少年育成課)	講座回数	6回		699		①受講した人のうち、シチズンシップが身についた人の割合 ②修了生数	①100% ②20人	①100% ②12人	①94.4% ②22人	①96% ②29人	①直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。 ②講座定員を基に設定した。				
128	2	(1)	①	生涯学習事業(シチズンシップに富んだ人材の養成)	生涯学習推進課	市(直営・委託)	各生涯施設における現代的課題及び地域課題を扱った講座等の実施	郷土理解、地域産業、市民主体のまちづくりを推進する人材育成等を扱った講座の実施	講座回数	各2回以上		指定管理料の一部		受講生満足度	93.7%	92.7%	92.1%	96.4%	直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。				
129	2	(1)	①	ゲートキーパー養成研修	精神保健福祉課	市(直営)	自殺のリスクを抱える方の早期発見・早期対応を図るため、自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応を行うことのできる人材を養成する。	自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応(悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る)を行うことのできる「ゲートキーパー」を養成する。	ゲートキーパー養成研修(一般市民向け)の動画作成	動画の作成1件		0		ゲートキーパー養成研修(一般市民向け)動画へのビューア数	60件	—	—	—	令和6年3月1日に動画を公開する予定であるため、他の研修動画の令和5年3月の1か月分の閲覧者数を参考とした。				
130	2	(1)	①	要約筆記養成講座	障害福祉企画課	市(委託)	聴覚に障がいのある人の交流活動の促進及びコミュニケーションを支援する人材を養成する。	聴覚に障がいのある人のコミュニケーション支援の一つとして、要約筆記を行う人材を養成する講座の開催	①②ともに講座開催数	①23回 ②2回		873		①②ともに受講者数	①20人 ②30人	①19人 ②—	①1人 ②—	①3人 ②—	①受講生の減少により事業の見直しを行い、令和4年度より県との共催事業となったため、R4～県講座の定員数を目標値とした。 ②R5年度からの新規事業のため定員数を目標値とした。				
131	2	(1)	①	静岡市型人材養成事業	障害福祉企画課	市(委託)	本市に在住する重症心身障がい児(者)の方への支援体制を充実させるため、事業所職員、看護師の他、当事者の保護者にも講師に加わってもらい、利用者目線を重視した「静岡市型人材養成事業」を実施する。	重症心身障がい児(者)対応の既存施設、親の会等との連携により、利用者目線の実践的な支援技術を身に付けるための研修等を実施	人材養成講座の開催	実施		387		講座実施回数	10回	11回	8回	0回	過去3年間の実績値より目標値を設定した。(コロナ禍により実施できなかった令和2年度を除く)				

No.	施策の柱	大 施策	小 施策	事業名称	事業概要 (全体)			活動の状況 (アウトプット)			投入コスト (インプット)		成果 (アウトカム)						評価及び次年度以降に向けた課題・改善など								
					所属名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	活動指標 (アウトプット指標)			事業費		成果指標 (アウトカム指標)						1次評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容					
									指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額 (千円)	決算額 (千円)	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値			当該年度の目標値の算出根拠				実績値	達成度			
133	2	(1)	①	地域学校協働活動推進事業	教育総務課	市(直営・委託)	学校と地域が連携・協働することにより、地域全体で子どもたちの健やかな育成を図る。	①全小中学校で学校応援団活動を実施 ②地域との連携・協働により、全小中学校で放課後子ども教室の運営 ③統括・地域学校協働活動推進員の配置	①学校応援団実施校数 ②放課後子ども教室実施校数	①126校 ②81校		106,422		①地域の子どもは、学校だけでなく、地域住民も主体的に関わり育てていくものとする 地域住民の割合 ②放課後子ども教室参加児童の満足度「楽しい、どちらかというところ」	①85% ②100%	①89% ②91%	①89% ②94%	①82% ②96%	①各学校・地域へのアンケート調査により、算出。全ての小中学校で地域との連携が実現することを目指し設定した。 ②児童へのアンケート調査により、算出。児童に高い満足度を感じてもらうために設定した。								
134	2	(1)	①	認知症サポーター養成講座	地域包括ケア推進部・誰も	市(直営)	認知症の発症初期から地域における認知症の人への支援体制の構築を図る。	認知症サポーターの養成	認知症サポーター養成講座の開催数	110回		1,964		サポーター養成数	3,800人	2,404人	2,226人	②802人	新型コロナウイルス感染症の影響を受けていない令和元年度以前の養成数を考慮し、目標値を設定した。								
②地域経済を担う人材の養成																											
135	2	(1)	②	アイセル女性カレッジ(こ・こ・にキャリアチャレンジ学部)	生涯学習推進課	市(直営・委託)	地域や職場でリーダーとして活躍できる女性の人材育成を目的とする。	防災分野に女性の視点、男女共同参画の視点が必要であることを理解し、自治会、自主防災会などの場で、主体的に活動するきっかけや情報が得られる講座の実施。 (男女共同参画・人権政策課)	講座回数	7回		指定管理料の一部		①受講した人のうち、仕事や就活活動に活かせると思った人の割合 ②修了生数	①80% ②17人	①— ②17人	①— ②15人	①— ②19人	①新たな指標となるため、80%に設定した。 ②直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。								
136	2	(1)	②	しずおか教師塾(こ・こ・にキャリアチャレンジ学部)	生涯学習推進課	市(直営)	教育に対する情熱や使命感をもち、公教育が抱える現在の多様な教育的ニーズに正面から取り組むことができ、人を敬い、子どもを愛し、次代を担う人づくりへの責任を果たし、市民から信頼される人材を育成する。	人間力を磨くための「人学(ひとまなび)講座」「及び教師力を高めるための「教育講座」を中心に、宿泊体験講座や未来講座等の講座の実施。 (教職員課)	講座回数	15回		2,109		①受講した人のうち、仕事や就活活動に活かせると思った人の割合 ②修了生数	①80% ②24人	①— ②24人	①— ②23人	①— ②23人	①新たな指標となるため、80%に設定した。 ②直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。								
137	2	(1)	②	ヘルシー食deプランニング飲食関係者向け専門講座(こ・こ・にキャリアチャレンジ学部)	生涯学習推進課	市(直営・委託)	ヘルシーメニュー提供の意義や技術的指導を実施。また、提供だけでなく手段として社会課題解決に生かせる人材を養成	ヘルシーメニュー提供に向けた技術的指導やマーケティング、プランニングを学びながら取り組み、食を社会課題解決に生かす手法を学ぶ講座の実施。 (健康づくり推進課)	講座回数	5回		1,060		①受講した人のうち、仕事や就活活動に活かせると思った人の割合 ②修了生数	①80% ②5人	—	—	—	①新たな指標となるため、80%に設定した。 ②講座実施初年度となるため定員数に設定した。								
138	2	(1)	②	ライフデザイン・ワークショップファシリテーター養成講座(こ・こ・にキャリアチャレンジ学部)	生涯学習推進課	市(直営・委託)	就職氷河期世代をはじめとする、働くことに課題や困難を抱える方の再チャレンジを応援することができ、地域で人を支える体制を構築する。	ライフデザイン・ワークショップやライフデザイン・ダイアログ等の各種プログラムにファシリテーターとして参加する人材を育成するため、ライフデザインの考え方を学び、ファシリテーターに必要な知識の習得を目指す講座の実施。 (地域包括ケア・誰もが活躍推進本部)	講座回数	8回		3,680		①受講した人のうち、仕事や就活活動に活かせると思った人の割合 ②修了生数	①80% ②30人	— ②30人	—	—	①新たな指標となるため、80%に設定した。 ②R4から新設講座のため、前年度実績を基に設定した。								
139	2	(1)	②	高校生まちづくりスクール(ビジネス編)(高校生チャレンジコース)	生涯学習推進課	市(直営)	市民主体のまちづくりを担うシチズンシップに富んだ人材を養成する。	地域の課題をビジネスの手法によって解決する提案について、マーケティングやプランニングを学びながら取り組む講座の実施。	講座回数	5回		1,358		①受講した人のうち、仕事や就活活動に活かせると思った人の割合 ②修了生数	①80% ②25人	①— ②16人	①— ②42人	①— ②24人	①新たな指標となるため、80%に設定した。 ②講座定員を基に設定した。								
140	2	(1)	②	生涯学習事業(地域経済を担う人材の養成)	生涯学習推進課	市(直営・委託)	各生涯施設における現代的課題及び地域課題を扱った講座等の実施	多様性の尊重、社会的包摂、消費者問題、金融、税金等を扱った講座の実施	講座回数	各2回以上		指定管理料の一部		受講生満足度	91.6%	91.6%	87.8%	91.8%	直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。								
141	2	(1)	②	地場産業後継者育成事業	産業振興課	市(直営)	地場産業界の後継者確保と後継者育成及び新規就業者の支援を行う。	①地域産業団体での最長3カ月の現場実習を支援(短期支援事業) ②伝統産業で最長2年間の技術習得を支援(長期支援事業) ③物作りで生計を立てようとする者の独立を支援(独立支援事業) ④長期支援修了者を雇用した事業主を支援(雇用奨励金)	実習生への訪問	1人2回		11,796		新規制度利用者数 ①長期支援 ②独立支援	①3人 ②—	①4人 ②—	①3人 ②2人	①2人 ②1人	①2毎年度予算の範囲内で新規を募集しているため。(同水準を維持していくことにより、伝統工芸の後継者が着実に増えていくため。)								

No.	施策の柱	大施策	小施策	事業名称	事業概要(全体)				活動の状況(アウトプット)			投入コスト(インプット)		成果(アウトカム)						評価及び次年度以降に向けた課題・改善など		
					所属名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	活動指標(アウトプット指標)			事業費		成果指標(アウトカム指標)						1次評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容
									指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額(千円)	決算額(千円)	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値			当該年度の目標値の算出根拠			
142	2	(1)	②	アグリチャレンジパーク蒲原の運営	農業政策課	市(直営・委託)	新規就農者の育成及び市民に対する農業の啓発を実施し、農業に対する理解を深める。	新規就農者育成のための研修実施及び市民対象の農業体験イベントの実施。	①研修場を利用した農業研修生の確保 ②農業体験イベント参加組数	①6区画 ②300人/または100組/年		5,180		新規就農者の養成研修(年間)	30回	30回	30回	30回	新規就農者育成のための栽培講習・経営講習等について、各講習会受講後の実践期間等を考慮し、月2回程度のペースで実施することを目標値とした。			
143	2	(1)	②	再就職支援技能講座(介護職員初任者研修講座)	商業労政課	市(委託)	離職者の再就職を支援する。	介護職員初任者研修講座の開催	介護職員初任者研修講座の開催	2回		1,808		①申込者数 ②修了者数 ③就職率	①50人 ②35人 ③75%	①61人 ②36人 ③87%	①47人 ②29人 ③75%	①52人 ②38人 ③65%	①②③前年度並みの申込者・修了者・就職率の確保を目指し、目標値を設定した。			
144	2	(1)	②	清水産業・情報プラザ管理運営事業	産業振興課	市(直営・委託)	創業者の育成、産学連携を通じた産業振興を図るとともに、情報通信網を活用した市民生活の利便向上を図る。	①施設の維持管理 ②創業者育成室の運営 ③産学官講演会、情報化講演会等の実施。 ④製造現場改善支援事業	①創業者育成室に入居した新規創業者数 ②製造現場改善支援事業参加企業数	①7者 ②8者		75,107		産学交流センター・清水産業・情報プラザの支援による新規創業者数、新商品開発、新分野進出等件数	70件	76件	63件	70件	指定管理業務仕様書に定める指標を目標値に設定した。			
(2) 対話や地域交流の促進																						
①対話を通じた学びや地域・社会活動の促進																						
145	2	(2)	①	ここにわ交流会	生涯学習推進課	市(直営)	「こ・こ・に」における各人材養成講座の受講生及び修了生を対象とした交流会を実施し、受講生同士のヨコの関係だけでなく、修了生とのタテの関係、行政などのナメの関係も創出、強化することで、仲間づくりや学んだ成果を地域や社会での活動に活かせる場を提供する。	交流会の開催	交流会の実施	1回		2,877千円の一部		参加者満足度	87.0%	86.0%	—	—	新型コロナウイルス感染症の影響により、R1~R3は中止したため、H30とR4の実績を比較して高い値を基に設定した。			
146	2	(2)	①	おしゃべりサロン事業	子ども未来課	市(直営)	身近な場所で子育て支援事業を実施することにより、子育て家庭の不安を軽減するなど、安心して子ども産み育てることが出来る環境を形成する。	子育てに関するノウハウを有する市内56カ所の公立認定こども園で親子のふれ合いや育児相談・育児講座を実施	事業実施箇所数(実施こども園数)	56カ所		3,091		あそび・子育ておしゃべりサロン参加者(公立こども園)	5,500人	3,713人	2,905人	3,397人	コロナの5類移行に伴う利用者増加を見込み、コロナ禍(R1~4年)比2割増の利用者数を目標値とした。			
②学びをきっかけにした地域交流の活性化																						
147	2	(2)	②	生涯学習センター・交流館まつりの開催	生涯学習推進課	市(委託)	学習の成果発表の場や、地域における市民の交流の機会を設け、生涯学習施設を地域の核施設とするため、センター・交流館まつり等を開催する。	各施設においてセンターまたは交流館まつりを開催	実施回数	全施設で各1回以上		指定管理料の一部		①参加団体数 ②参加人数	①54,450 ②1,057人	①17,383 ②479人	①7,886 ②258人	①1,880 ②100人	新型コロナウイルス感染症の影響により、R2~R4は中止した施設が多かったため、コロナ禍以前のR1の実績を基に設定した。			
148	2	(2)	②	静岡市民文化祭の開催	文化振興課	市(委託)	広く市民に創作発表および鑑賞の機会を提供することにより、芸術文化を一般に普及し市民文化向上を図る。	「静岡市民文化祭」の実施、委託契約	①委託契約締結件数 ②完了報告書確認件数 ③事務処理の円滑な実施	①1件 ②1件 ③実施		3,522		静岡市民文化祭来場者数	14,000人	11,758人	10,658人	747人	令和元年以前の直近3か年における来場者数は約20,000人である。令和4年度は中止する事業はかなり少ないと想定されるため、この水準の7割程度まで来場者が回復すると見込み、20,000×0.7=14,000人を目標値として設定する。			
(3) 市民の自発的な地域・社会活動の促進																						
①人材活用場の提供																						
149	2	(3)	①	民間教育力活用事業の実施	学校教育課	市(直営)	学校教育活動全般に民間教育力を活用することで、児童・生徒の体験的、問題解決的な学習の充実を図る。	①外部講師登録リストの管理 ②外部人材の活用支援	①人材リストの作成・周知 ②講師謝金の配当(各校)及び支出事務	①実施 ②実施		3,012		外部人材を活用した授業の有効性があると回答した学校の割合	100%	100%	100%	100%	学校が希望する分野について、教員だけではできない発展的・体験的な授業を実施することができたかどうかを図るため、この目標値を設定した。			
150	2	(3)	①	【再掲】環境学習会の開催支援、実施	環境共生課	市(直営・委託)	環境保全のために自ら行動する人を育み、持続可能な社会の実現に向けて地域、学校、団体、行政などが相互に連携し、協働による環境学習の推進を図る。	①環境学習推進のための指導員の活用 ②自然観察会等への参加機会の創出	①環境学習指導員の派遣 ②各種環境学習会の開催	①220人 ②80回		6,254		環境学習会等への参加者数	3,500人	2,830人	1,970人	1,741人	コロナウイルス感染症拡大前の参加者数を設定した。			

No.	施策の柱	大施策	小施策	事業概要(全体)				活動の状況(アウトプット)			投入コスト(インプット)		成果(アウトカム)						評価及び次年度以降に向けた課題・改善など																	
				事業名称	所属名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	活動指標(アウトプット指標)			事業費		成果指標(アウトカム指標)						1次評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容														
									指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額(千円)	決算額(千円)	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値			当該年度の目標値の算出根拠				実績値	達成度												
②自発的な地域・社会活動の支援																																				
151	2	(3)	②	まちづくり推進事業補助金交付事業	生涯学習推進課	市(直営)	コミュニティの醸成と地域主体の住民参画による個性あるまちづくりを推進するため、年間を通して、計画的・継続的に様々な地域活動を支援する。	地域が主体的に行う「ふれあい事業」、「環境美化事業」、「子ども健全育成事業」、「教育文化事業」、「安全対策事業」、「福祉・健康事業」、「生活環境事業」、「文化伝承事業」の8事業に対して補助金を交付する。	まちづくり推進事業補助金交付事務の円滑な実施	19件		15,510		実施事業数 ※19交付団体が、まちづくりの事業に幅広く取組んだ成果	153事業	153事業	130事業	127事業	新型コロナウイルス感染症の5類移行を踏まえ、昨年度並みの事業数を目標値として設定した。																	
152	2	(3)	②	ふるさと応援寄附金等によるNPO等指定寄附事業	市民自治推進課	補助等(交付先)	社会的課題に取り組む市民活動団体等と寄附者の応援したい気持ちを繋ぐ架け橋に本市がなることで、活力ある地域づくりの促進を図る。	ふるさと応援寄附金等によるNPO等を指定した寄附制度を活用し、市民活動団体等に補助金を交付する。	①団体の募集及び審査 ②個別相談会の実施	①実施 ②実施		7,267		①寄附事業を行ったプロジェクト数 ②前年度にふるさと応援寄附金の募集を行ったプロジェクトの実現率	①8件 ②100%	①6件 ②87.5%	①8件 ②100%	①16件 ②-	①過年度実績を参照し設定した。 ②ふるさと応援寄附金による支援が一助となり団体がプロジェクトを実現できていることを指標として設定した。																	
153	2	(3)	②	協働パイロット事業	市民自治推進課	市(委託)	市と市民活動団体の協働を促進することによって、社会的課題のより効果的な解決を図る。	①協働パイロット事業の実施 ②職員への啓発	①NPO向け説明会開催回数 ②職員研修会開催回数	①2回 ②1回		2,530		①パイロット事業応募数 ②市と市民活動団体の協働事業数	①12件 ②266件	①11件 ②269件(仮)	①12件 ②237件	①15件 ②222件	①過去3年間の平均の実績値と前年度の実績値のうち高い値を目標値として設定した。 ②市民活動促進基本計画の目標275事業(R8)に向けて着実に数値を増加させていくための指標として設定した。																	
③学びを活かして活動する場所の提供																																				
154	2	(3)	③	【再掲】生涯学習センターにおける貸館実施	生涯学習推進課	市(直営・委託)	指定管理者のノウハウを活用しながら、市民の生涯学習活動の場を提供し、生涯学習への支援・協力を行うとともに推進を図る。	①各種講座等の開催 ②市民が安心して利用できる施設運営	①モニタリング実施箇所数 ②月例業務、年度報告書確認件数 ③翌年度協定締結準備	①11箇所 ②13件 ③完了		447,850		①平均稼働率 ②延べ利用者数	①40.0% ②410,303人	①40.0% ②410,303人	①36.5% ②352,328人	①34.8% ②254,502人	新型コロナウイルス感染症により令和2年度に大幅に稼働率及び利用者数が減少した。令和3年度以降は徐々に回復傾向のため、前年度以上前年度の実績値を目標値として設定																	
155	2	(3)	③	【再掲】清水区生涯学習交流館における貸館実施	生涯学習推進課	市(直営・委託)	指定管理者のノウハウを活用しながら、市民の生涯学習活動の場を提供し、生涯学習への支援・協力を行うとともに推進を図る。	①各種講座等の開催 ②市民が安心して利用できる施設運営	①モニタリング実施箇所数 ②月例業務、年度報告書確認件数 ③翌年度協定締結準備	①20箇所 ②13件 ③完了		531,743		①平均稼働率 ②延べ利用者数	①27.4% ②497,2243人	①27.4% ②497,2243人	①24.2% ②442,387人	①21.8% ②322,363人	新型コロナウイルス感染症により令和2年度に大幅に稼働率及び利用者数が減少した。令和3年度以降は徐々に回復傾向のため、前年度以上前年度の実績値を目標値として設定																	
156	2	(3)	③	【再掲】葵区生涯学習施設における貸館実施	生涯学習推進課	市(直営・委託)	市民の生涯学習活動の場を提供し、生涯学習への支援・協力を行うとともに推進を図る。	①各種講座等の開催 ②市民が安心して利用できる施設運営(直営館の維持管理業務)	施設維持点検等業務の完了	8業務		12,749		①平均稼働率 ②延べ利用者数	①4.0% ②9,122人	①4.0% ②9,122人	①3.6% ②10,925人	①3.1% ②6,228人	新型コロナウイルス感染症により令和2年度に大幅に稼働率及び利用者数が減少した。令和3年度以降は徐々に回復傾向のため、前年度以上前年度の実績値を目標値として設定																	
157	2	(3)	③	青少年研修センターの運営	青少年育成課	市(直営)	青少年団体に施設を提供し、青少年団体の健全な育成並びに青少年の教養の向上及び心身の健全な育成を図る。	①施設の利用許可事務 ②施設の維持管理	施設の維持管理	実施		149		延利用者数	665人	605人	884人	931人	登録団体数、利用者数は減少傾向にあるが、各団体の活動場所提供の維持のため、R4年実績の10%増を目標値として設定した。																	
158	2	(3)	③	市民活動センターの運営	市民自治推進課	市(直営・委託)	市民活動を促進することによって、市民自治によるまちづくりに寄与する。	①市民活動センターの運営 ②市民活動促進協議会の開催	①モニタリング調査の実施回数 ②センター連絡会議開催回数 ③市民活動促進協議会開催回数	①1回 ②6回 ③4回		68,824		①市民活動センター利用者数 ②市民活動センター新規登録団体数 ③市民活動センター利用者満足度調査で「満足」等と回答した人の割合	①50,318人 ②33団体/年 ③93%	①44,569人 ②33団体/年 ③89%	①39,451人 ②33団体/年 ③95%	①34,848人 ②32団体/年 ③95%	①R3とR4の実績値の増加率(12.9%)をR4実績値に乘じて目標値を設定した。 ②市民活動促進基本計画の目標平均33団体(R8)に向けて着実に数値を維持させていくための指標として設定した。 ③過去3年間の平均の実績値と前年度の実績値のうち高い値を目標値として設定した。																	
159	2	(3)	③	【再掲】女性をとりまく諸問題に関する学習・活動の推進(女性会館事業)	男女共同参画・人権政策課	市(直営・委託)	男女共同参画社会実現のための拠点施設である女性会館を管理運営し、男女共同参画に係る各種事業を通じて市民に広く啓発するとともに、女性をとりまく諸問題の解決に取り組む市民グループの活動を支援する。	①指定管理者との協定の締結、男女共同参画に関する講座の開催、団体活動の支援、女性を取り巻く諸問題や男女共同参画に関する情報収集発信のための図書コーナーの運営、施設管理 ②女性会館相談室の開設:女性のための総合相談・法律相談、LGBTQ相談の実施 ③指定管理事業の年度評価の実施	①指定管理業務のモニタリング実施回数 ②指定管理業務報告確認・検査回数(年報1件、月報12件) ③年度評価の実施	①1回 ②13件 ③完了		109,994		①新規利用者数(講座、相談、図書) ②講座受講者の理解度 ③図書コーナーの図書貸出冊数 ④女性相談の適切な実施	①1,100人 ②80.0% ③16,500冊 ④実施	①1,284人 ②97.3% ③17,384冊 ④実施(1,889件)	①884人 ②- ③16,396冊 ④実施(1,922件)	①957人 ②- ③16,583冊 ④実施(1,938件)	①、②協定書の数値を目標値とした。 ③図書コーナーの本の貸出しにより男女共同参画の意識向上が図られることから、過去3年間の平均値を参考に目標値に設定した。 ④相談の適切な実施を指標として設定した(相談の適切な実施がなされているかについては、拡大ケースカンファレンスに出席し確認する)。																	

No.	施策の柱	大施策	小施策	事業概要(全体)				活動の状況(アウトプット)			投入コスト(インプット)		成果(アウトカム)						評価及び次年度以降に向けた課題・改善など							
				事業名称	所属名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	活動指標(アウトプット指標)			事業費		成果指標(アウトカム指標)						1次評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容				
									指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額(千円)	決算額(千円)	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値			当該年度の目標値の算出根拠				実績値	達成度		
3 「学ぶ」「活かす」の循環を支える基盤の充実																										
(1) 学びやすい生涯学習施設等の整備																										
①生涯学習施設等の整備・維持・管理																										
160	3	(1)	①	生涯学習センター運営事業	市(直営・委託)	指定管理者のノウハウを活用しながら、市民の生涯学習活動の場を提供し、生涯学習への支援・協力を行うとともに推進を図る。	①各種講座等の開催 ②市民が安心して利用できる施設運営	①モニタリング実施箇所数 ②月例業務、年度報告書確認件数 ③翌年度協定締結準備	①11箇所 ②13件 ③完了		477,926		①利用者満足度(職員の対応) ②受講生満足度 ③管理瑕疵による事故	①96.9% ②92.3% ③0件	①96.9% ②92.3% ③0件	①96.8% ②92.0% ③0件	①82.3% ②92.3% ③1件	①②直近3か年の平均値と前年度実績を踏まえて設定した。 ※①については令和元年度からアンケート実施方法を変更 ③適正な施設の管理運営を目標とするため瑕疵による事故0件を目標として設定した。								
161	3	(1)	①	生涯学習交流館運営事業(清水区)	市(直営・委託)	指定管理者のノウハウを活用しながら、市民の生涯学習活動の場を提供し、生涯学習への支援・協力をを行うとともに推進を図る。	①各種講座等の開催 ②市民が安心して利用できる施設運営	①モニタリング実施箇所数 ②月例業務、年度報告書確認件数 ③翌年度協定締結準備	①21箇所 ②13件 ③完了		522,494		①利用者満足度(職員の対応) ②受講生満足度 ③管理瑕疵による事故	①89.2% ②94.3% ③0件	①89.2% ②94.3% ③0件	①88.1% ②95.3% ③0件	①86.4% ②93.3% ③0件	①②直近3か年の平均値と前年度実績を踏まえて設定した。 ③適正な施設の管理運営を目標とするため瑕疵による事故0件を目標として設定した。								
162	3	(1)	①	生涯学習交流館運営事業(葵区)	市(直営・委託)	市民の生涯学習活動の場を提供し、生涯学習への支援・協力をを行うとともに推進を図る。	①各種講座等の開催 ②市民が安心して利用できる施設運営(直営館の維持管理業務)	①講座回数 ②施設維持点検等業務の完了	①110回 ②9業務		15,340		①受講生満足度 ②管理瑕疵による事故	①96.0% ②0件	①96.0% ②0件	①96.0% ②0件	①94.3% ②0件	①直近3か年の平均値と前年度実績を踏まえて設定した。 ②適正な施設の管理運営を目標とするため瑕疵による事故0件を目標として設定した。								
163	3	(1)	①	【再掲】学校等体育施設利用事業	市・補助等(直営・交付先)	学校施設を利用することで、地域住民のスポーツ活動への参加機会を創出し、地域のスポーツ活動を推進する。	学校ごとに、学校等体育施設利用運営協議会を置き、利用団体の登録や利用調整を行う。	①事務担当者説明会の円滑な開催 ②夜間照明施設の保守点検	①実施 ②1回		68,965		延べ利用者数	170万人	1,849,563人	1,687,568人	1,569,032人	過去3年間(R2~R4)の平均値を目標値として設定した。								
164	3	(1)	①	【再掲】こどもクリエイティブタウン管理運営事業	市(直営・委託)	こどもたちを対象にした仕事体験やものづくり体験を通じて、自主性や創造性を育み、社会・経済の仕組みや地域産業を学ぶ。	①講座形式のものづくり体験等 ②模擬店舗形式での仕事体験等 ③商店街、企業との連携による仕事体験等	①指定管理料支払事務 ②定例会(12回)を通じた管理運営に係る指導・助言	①事務処理の円滑な実施 ②定例会への参加		114,949		①利用者数 ②利用者満足度	①100,000人 ②98.1%	①13,012人 ②99.7%	①6,605人 ②98.2%	①106,370人 ②96.6%	①指定管理業務仕様書で定める指標を目標値に設定した。(施設の受入可能人数を考慮し設定。) ②過去3か年の平均値を目標値に設定した								
165	3	(1)	①	【再掲】賤機都市山村交流センター管理経費	市(委託)	農業体験等の交流場所としての施設及び憩いの場を提供するとともに、必要な講座、教室等を開催すること等により、都市住民と中山間地域住民の交流の促進を図る。	管理運営委託(指定管理)	①指定管理件数 ②定期報告及び年度報告	①1件 ②13回		24,987		利用者満足度	95.0%	100.0%	98.8%	94.8%	直近3か年の平均値を目標値として設定した。								
166	3	(1)	①	【再掲】自然の家における施設運営の実施	市(直営)	自然の家の安全で利用しやすい管理運営を行うことにより、市民の利用の増加を図る。	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家の維持管理・施設運営	①利用者の利用目的達成度 ②施設事故件数	①95% ②0件		42,558		①利用組数	①154組	①134組	①142組	①185組	①直近3か年の平均値である154組を予想値として算出し目標値として設定した。								
167	3	(1)	①	児童館改修事業	市(直営)	老朽化した児童館に必要な施設改修等を行い、長寿命化・耐震化を図る。	市内13館の児童館の改修工事等の実施	改修工事等の実施箇所数	2館		20,722		施設や整備に起因する重大な事故件数	0件	0件	0件	0件	安心・安全な児童館として維持・管理し、事故発生を防ぐため								
168	3	(1)	①	【再掲】清水電原球場管理事業	市(委託)	野球等のスポーツ振興及び市民の健康増進を図る。	施設管理を行うとともに、各種事業を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①2件 ②実施		51,979		①利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90.0% ②90.0%	①100% ②85.6%	①98.7% ②100%	①— ②96.9%	①協定締結時の仕様書上の目標値90%を目標値として設定した。 ②安全安心な利用ができるよう計画修繕に係る予算執行率を目標値として設定した。(契約差金等考慮)								
169	3	(1)	①	【再掲】清水ナショナルトレーニングセンター管理運営事業	市(委託)	サッカー等、国内外のトップアスリートの利用に供するとともに、スポーツ振興及び市民の健康増進を図る。	施設管理を行うとともに、各種事業を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①2件 ②実施		212,651		①利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90.0% ②90.0%	①97.3% ②98.6%	①98% ②100%	①— ②100%	①協定締結時の仕様書上の目標値90%を目標値として設定した。 ②安全安心な利用ができるよう計画修繕に係る予算執行率を目標値として設定した。(契約差金等考慮)								
170	3	(1)	①	【再掲】スポーツ施設維持管理事業	市(直営・委託)	市民がスポーツ、レクリエーション等に供するための施設を提供する。	施設の維持管理を行うとともに、市民向けに様々なスポーツ教室等を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①3件 ②実施		249,586		①指定管理施設における利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90.0% ②90.0%	①95.9% ②96.0%	①98.8% ②99.4%	①96.7% ②87.5%	①協定締結時の仕様書上の目標値90%を目標値として設定した。 ②安全安心な利用ができるよう計画修繕に係る予算執行率を目標値として設定した。(契約差金等考慮)								

No.	施策の柱	大施策	小施策	事業概要(全体)				活動の状況(アウトプット)			投入コスト(インプット)		成果(アウトカム)						評価及び次年度以降に向けた課題・改善など			
				事業名称	所属名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	活動指標(アウトプット指標)			事業費		成果指標(アウトカム指標)						1次評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容
									指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額(千円)	決算額(千円)	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値			当該年度の目標値の算出根拠			
R4	R3	R2																				
171	3	(1)	①	【再掲】青少年研修センターの運営	青少年育成課	市(直営)	青少年団体に施設を提供し、青少年団体の健全な育成並びに青少年の教養の向上及び心身の健全な育成を図る。	①施設の利用許可事務 ②施設の維持管理	施設の維持管理	実施	149		延利用者数	665人	605人	884人	931人	登録団体数、利用者は減少傾向にあるが、各団体の活動場所提供の維持のため、R4年実績の10%増を目標値として設定した。				
172	3	(1)	①	【再掲】総合運動場管理運営事業	スポーツ振興課	市(委託)	スポーツ、レクリエーション、文化活動等のための施設を提供する。	施設の維持管理を行うとともに、市民向けに様々なスポーツ等教室を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①2件(体育館含む) ②実施	386,742		①利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90.0% ②90.0%	①98.6% ②93.1%	①99.3% ②99.5%	①98.8% ②98.6%	①協定締結時の仕様書上の目標値90%を目標値として設定した。 ②安全安心な利用ができるよう計画修繕に係る予算執行率を目標値として設定した。(契約差金等考慮)				
173	3	(1)	①	【再掲】体育館管理運営事業	スポーツ振興課	市(直営・委託)	スポーツ、レクリエーション、文化活動等のための施設を提供する。	施設の維持管理を行うとともに、市民向けに様々なスポーツ等教室を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①2件(総合運動場含む) ②実施	663,635		①指定管理施設における利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90.0% ②90.0%	①97.6% ②100%	①98.4% ②100%	①98.5% ②99.3%	①協定締結時の仕様書上の目標値90%を目標値として設定した。 ②安全安心な利用ができるよう計画修繕に係る予算執行率を目標値として設定した。(契約差金等考慮)				
174	3	(1)	①	【再掲】登呂博物館管理運営業務	文化財課	市(直営)	登呂遺跡の価値を市民に発信し、地域の歴史や文化について関心を深めてもらう。	○幅広い分野の展示 ○講座・講演会等教育普及事業の実施 ○博物館協議会の開催	①特別展・企画展回数 ②各種教育普及事業の開催回数 ③協議会開催回数	①4回 ②25回 ③2回	68,519		博物館の入館者数	169,000人	161,181人	118,132人	97,168人	登呂遺跡発見80周年事業を実施することを鑑み、前年度実績の5%増を目標値として設定。				
175	3	(1)	①	【再掲】日本平運動公園管理事業	スポーツ振興課	市(委託)	プロサッカー等の開催によるスポーツ振興及び市民の健康増進を図る。	施設管理を行うとともに、Jリーグ及び各種事業を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①2件 ②実施	134,599		①利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90.0% ②90.0%	①96.1% ②99.2%	①98.9% ②99.0%	①— ②95.9%	①協定締結時の仕様書上の目標値90%を目標値として設定した。 ②安全安心な利用ができるよう計画修繕に係る予算執行率を目標値として設定した。(契約差金等考慮)				
176	3	(1)	①	【再掲】ふれあい健康増進館ゆ・ら・ら管理運営事業	スポーツ振興課	市(委託)	市民が気軽に楽しく心身のリフレッシュに努めることにより、世代間の交流の促進を図るとともに、市民の健康増進に寄与する施設を提供する。	施設の維持管理を行うとともに、市民向けに健康増進に関するスポーツ等教室を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②入退館管理システム賃貸借契約	①2件 ②実施	229,225		①利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90.0% ②90.0%	①97.8% ②99.6%	①96.0% ②98.6%	①— ②97.2%	①協定締結時の仕様書上の目標値90%を目標値として設定した。 ②安全安心な利用ができるよう計画修繕に係る予算執行率を目標値として設定した。(契約差金等考慮)				
177	3	(1)	①	【再掲】まちは劇場コンサート事業	文化振興課	市(委託)	市内で活動しているオーケストラ等と連携し、学校訪問コンサートや親子コンサートを行い、音楽文化を通じてまちを活性化させることにより、「まちは劇場」を推進する。	①学校訪問コンサート ②こども園訪問コンサート ③親子コンサートの実施	①委託契約締結件数 ②完了報告書確認件数 ③検収件数	①1件 ②1件 ③1件	21,033		①学校訪問コンサート実施校数 ②こども園訪問コンサートの実施園数 ③親子コンサート応募人数	①8校 ②14園 ③3,700人	①8校 ②18園 ③5,969人	①8校 ②18園 ③6,964人	①6校 ②24園 ③6,734人	①予算構築上の実施分を完全実施するため、8校を目標値として設定した。 ②上に同じく、14園を目標値として設定した。 ③実施するホール(静文:1,968人、マリナート:1,513人、AOI:618人×2回)4,717人の80%である3,773人を予想値として算出し、3,700人を目標値とした。				
178	3	(1)	①	【再掲】三保松原文化創造センター管理運営	文化財課	市(直営・委託)	世界文化遺産「三保松原」の魅力と価値を国内外へ発信するとともに、三保松原と他の文化や芸術と融合させた松原文化を創造していく。	○建物の保守、管理 ○展示の保守、管理 ○企画展の開催	①年間を通しての開催 ②年間を通しての公開 ③企画展の開催回数	①実施 ②実施 ③4回	32,286		来館者数	440,000人	423,100人	253,302人	322,643人	前年度(40万人)の10%増を目標値とする。				
179	3	(1)	①	【再掲】農科都市山村交流センター管理経費	中山間地振興課	市(委託)	農業体験等の交流場所としての施設及び憩いの場を提供するとともに、必要な講座、教室等を開催すること等により、都市住民と中山間地域住民の交流の促進を図る。	管理運営委託(指定管理)	①指定管理件数 ②定期報告及び年度報告	①1件 ②13回	27,039		利用者満足度	93.8%	95.5%	97.0%	93.6%	直近3か年の平均値を目標値として設定した。				
180	3	(1)	①	【再掲】科学への関心を高めるための各種事業の実施(静岡科学館事業)	文化振興課	市(直営・委託)	市民が自ら体験することを通して身近な科学に親しみ、及び科学への関心を高める場を提供することにより、市民の創造力及び感性の向上に資する。	指定管理者制度による施設、展示物の維持管理を行うとともに科学の実演会及び講座を実施する。	①協定締結件数 ②モニタリング実施回数 ③指定管理業務報告書・検査件数	①1件 ②3回 ③13回	312,950		①年間来館者数 ②事業満足度※R5からR4までは連携事業回数を指標としていた。	①250,000人 ②95.0%	①161,063人 ②184回	①110,813人 ②185回	①76,132人 ②114回	指定管理者と調整の上、協定締結時の仕様書内で設定した目標値				
181	3	(1)	①	【再掲】芹沢銈介美術館管理運営事業	文化振興課	市(直営)	静岡市名誉市民であり型絵染の人間国宝・芹沢銈介の芸術を永く後世に伝える。美術に関する知識の向上と文化の発展に寄与する。	芹沢銈介の型絵染の作品等や芹沢銈介が収集した世界各国の工芸品の展示を行うとともに、講座や講演会等教育普及事業を実施する。	①企画展の開催件数 ②講演会・講座等教育普及事業の開催件数 ③開館日数	①4回 ②15回 ③257日	83,133		①年間観覧者数 ②観覧者満足度	①30,000人 ②96.6%	①32,363人 ②95.8%	①28,013人 ②95.2%	①11,994人 ②98.8%	①コロナ前の実績を考慮し設定した。 ②観覧者アンケートの満足度の直近3か年の平均を考慮し設定した。				
182	3	(1)	①	【再掲】市民ギャラリー事業の実施	文化振興課	市(委託)	市民に文化に触れる機会と発表の場を提供し、文化の向上を図る。	ギャラリー利用者の受付管理、展示会予定表の作成、作業日誌の作成等の管理運営事務及びギャラリー使用料徴収業務	①業務委託契約の締結 ②業務委託完了報告書の確認 ③業務委託の検収	①1件 ②12件 ③1件	7,792		年間利用率	68.4%	50.6%	59.1%	34.6%	令和元年度の実績値(68.36%)を基に設定。				

No.	施策の柱	大 施策	小 施策	事業名称	事業概要 (全体)			活動の状況 (アウトプット)			投入コスト (インプット)		成果 (アウトカム)						評価及び次年度以降に向けた課題・改善など			
					所属名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	活動指標 (アウトプット指標)			事業費		成果指標 (アウトカム指標)						1次評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容
									指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額 (千円)	決算額 (千円)	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値			当該年度の目標値の算出根拠			
R4	R3	R2																				
183	3	(1)	①	【再掲】市民の芸術文化の振興を図る各種事業の実施 清水文化会館管理運営事業	文化振興課	市(直営・委託)	市民に文化活動の場と芸術文化の鑑賞機会を提供することにより、市民の芸術文化の向上を図るとともに、文化を核とした清水都心の賑わい創出を図る。	PFI・指定管理者制度(利用料金制)による館の維持管理・運営(設備の維持管理、利用受付・貸出・案内・自主事業等)	①通知書送付件数 ②委託業務契約の締結件数(モニタリング支援) ③モニタリング実施回数 ④指定管理業務報告書、財務に関する報告書・検査件数	①1件 ②1件 ③3回 ④15回(維持管理・運営)1回(財務)	262,358		①年間来館者数 ②ホール・ギャラリー利用率	①500,000人 ②70.0%	①245,961人 ②75.1%	①181,116人 ②68.2%	①73,954人 ②44.0%	「清水駅東地区文化施設整備及び維持管理・運営事業運営業務仕様書」における事業期間第3ターム(令和4年度～令和8年度)で設定した目標値。				
184	3	(1)	①	【再掲】市民の芸術文化の振興を図る各種事業の実施 静岡音楽館管理運営事業	文化振興課	市(直営・委託)	市民の音楽に対する関心を高め、市民文化の向上を図る。	指定管理者制度による施設の維持管理を行うとともに、多くの市民が音楽文化に触れる機会を提供するため、各種コンサートや講座を実施する。	①協定締結件数 ②モニタリング実施回数 ③指定管理業務報告書・検査件数	①1件 ②3回 ③13回	336,109		①施設利用率(年間平均) ②定員に対するコンサート入場者数の割合(年間平均)	①84.0% ②70.0%	①76.2% ②64.7%	①68.7% ②54.7%	①60.1% ②75.8%	過去の実績をもとに指定管理者と調整の上、協定締結時の仕様書内で設定した目標値				
185	3	(1)	①	【再掲】市民の芸術文化の振興を図る各種事業の実施 静岡市美術館管理運営事業	文化振興課	市(直営・委託)	多様な美術表現を広く市民に公開し、静岡市の特色ある美術文化の創造と発信を行い、美術に関する市民の知識及び教養の向上を図る。	指定管理者制度による施設の維持管理を行うとともに、多くの市民が芸術文化に触れる機会を提供するため、企画展示や講座を実施する。	①協定締結件数 ②モニタリング実施回数 ③指定管理業務報告書・検査件数	①1件 ②3回 ③13回	380,209		①累計入館者数(150万人・R2～R6) ②展覧会事業における来場者満足度(年間平均)	①30万人(150万人/5年) ②85%	①202,136人 ②95.5%	①191,275人 ②94.8%	①235,248人 ②92.8%	過去の実績をもとに指定管理者と調整の上、協定締結時の仕様書内で設定した目標値				
186	3	(1)	①	【再掲】市民の芸術文化の振興を図る各種事業の実施 静岡市民文化会館管理運営事業	文化振興課	市(直営・委託)	市民に文化活動の場と多彩な芸術文化の鑑賞機会を提供することにより、市民の芸術文化の向上を図る。	指定管理者制度による館の運営(受付・案内・利用料徴収・設備の管理・事業等)修繕、大規模改修など。	①指定管理業務協定締結件数 ②指定管理業務のモニタリング回数 ③指定管理業務報告書・検査件数(年報1件、月報12件)	①1件 ②3回 ③13件	234,772		①年間利用者数 ②年間施設利用率	①50万人 ②70%	①388,974人 ②62.1%	①234,948人 ②58.9%	①111,400人 ②44.6%	過去の実績をもとに指定管理者と調整の上、協定締結時の仕様書で設定した目標値				
187	3	(1)	①	【再掲】市民の芸術文化の振興を図る各種事業の実施 中助助文学記念館管理運営事業	文化振興課	市(委託)	作家中助助氏の業績の顕彰や市民の文化・文芸活動の場として広く市民の文化向上に寄与すること。	「中助助文学記念館」の日常管理運営及び中助助顕彰事業の実施。	①委託契約締結件数 ②完了報告書確認・検収件数(月報12件)	①8件 ②12回	7,792		年間来場者数	2,116人	1,886人	1,695人	1,252人	令和元年度の実績値(2,116人)を基に設定。				
188	3	(1)	①	【再掲】市民活動センターの運営	市民自治推進課	市(直営・委託)	市民活動を促進することによって、市民自治によるまちづくりに寄与する。	①市民活動センターの運営 ②市民活動促進協議会の開催	①モニタリング調査の実施回数 ②センター連絡会議開催回数 ③市民活動促進協議会開催回数	①1回 ②6回 ③4回	68,824		①市民活動センター利用者数 ②市民活動センター新規登録団体数 ③市民活動センター利用者満足度調査で「満足」等と回答した人の割合	①50,318人 ②33団体/年 ③93%	①44,569人 ②33団体/年 ③89%	①39,451人 ②33団体/年 ③95%	①34,848人 ②32団体/年 ③95%	①R3とR4の実績値の増加率(12.9%)をR4実績値に乗じて目標値を設定した。 ②市民活動促進基本計画の目標平均33団体(R8)に向けて着実に数値を維持させていくための指標として設定した。 ③過去3年間の平均の実績値と前年度の実績値のうち高い値を目標値として設定した。				
189	3	(1)	①	【再掲】児童館運営事業	子ども未来課	市(委託)	地域における児童健全育成の拠点として、子どもの健康を増進し、情操を豊かにするため、各種教室や読み聞かせ、クラブ活動など児童に健全な遊びを提供する。	市内13館の児童館の運営	適切な運営施設数	13館	245,757		①利用者満足度 ②利用者数	①90% ②240,000人	①90.7% ②197,229人	①87.3% ②182,947人	①84.8% ②135,981人(4、5月開所)	①指定管理協定により定められている目標値を設定した。 ②ウィズコロナの状況において、地域の児童健全育成の拠点となる児童館は重要な役割を担う施設であり、多くの子育て家庭や児童に利用していただくことを目的に、前年度と同程度の利用者数を目標値とした。				
190	3	(1)	①	【再掲】駿府匠宿運営事業	産業振興課	市(直営・委託)	今川、徳川時代から受け継がれてきた伝統工芸とその後興った近代産業をテーマにした体験型施設「駿府匠宿」を運営し、創作体験や各種展示を通じて、来場者が工芸に親しみ、歴史に触れる機会を提供して、本市地場産業の振興を図る。	①「駿府匠宿」の管理・運営を指定管理者制度のもとに実施 ②本市伝統工芸や地場産業を体験できる場を提供	①協定締結事務件数 ②年度評価回数 ③定例会実施回数	①1回 ②1回 ③12回	235,013		①創作体験者数 ②利用者満足度	①31,000人 ②95%	①29,513人 ②97.8%	①22,512人 ②95.0%	①14,093人 ②99.5%	①令和4年度実績に新規模型体験の導入による伸びを見込み設定 ②満足度は現状で高水準のため同水準を維持するため95%とした。				
191	3	(1)	①	【再掲】女性をとりまく諸問題に関する学習・活動の推進(女性会館事業)	男女共同参画・人権政策課	市(直営・委託)	男女共同参画社会実現のための拠点施設である女性会館を管理運営し、男女共同参画に係る各種事業を通じて市民に広く啓発するとともに、女性をとりまく諸問題の解決に取り組む市民グループの活動を支援する。	①指定管理者との協定の締結、男女共同参画に関する講座の開催、団体活動の支援、女性を取り巻く諸問題や男女共同参画に関する情報収集発信のための図書コーナーの運営、施設管理 ②女性会館相談室の開設:女性のための総合相談・法律相談、LGBTQ相談の実施 ③指定管理事業の年度評価の実施	①指定管理業務のモニタリング実施回数 ②指定管理業務報告書確認・検査回数(年報1件、月報12件) ③年度評価の実施	①1回 ②13件 ③完了	109,994		①新規利用者数(講座、相談、図書) ②講座受講者の理解度 ③図書コーナーの図書貸出冊数 ④女性相談の適切な実施	①1,100人 ②80.0% ③16,500冊 ④実施	①1,284人 ②97.3% ③17,384冊 ④実施(1,889件)	①884人 ②— ③16,396冊 ④実施(1,922件)	①957人 ②— ③16,583冊 ④実施(1,938件)	①、②協定書の数値を目標値とした。 ③図書コーナーの本の貸出しにより男女共同参画の意識向上が図られることから、過去3年間の平均値を参考に目標値に設定した。 ④相談の適切な実施を指標として設定した(相談の適切な実施がなされているかについては、拡大ケースカンファレンスに出席し確認する)。				
192	3	(1)	①	【再掲】東静岡地区「アート&スポーツ/ヒロバ」開設・運営事業	企画課	市・補助等(直営・交付先)	「文化・スポーツ等の拠点」として位置付けた東静岡市有地を、本格的な整備方針が決定するまで、「賑わいづくりの実験場」として利活用する。	「まちは劇場プロジェクト」及び「2020年東京オリパラ」を見据えた取組として、大道芸・ダンス・音楽等の様々なジャンルとともに、ローラースポーツやホビー等のイベントを実施する「アート&スポーツ/ヒロバ」を運営する。	①実行委員会の開催 ②各作業部会の開催	①2回 ②7回	31,340		①東静岡アート&スポーツ/ヒロバのローラースポーツパーク利用者数 ②芝生広場でのイベント開催数	①29,947人 ②10回	①27,225人 ②12回	①28,004人 ②—	①24,790人 ②—	①前年度実績の110%を目標とする。 ②例年開催する8回に加え、イベント誘致等による、2回を加えた10回とした。				

No.	施策の柱	大施策	小施策	事業名称	事業概要(全体)			活動の状況(アウトプット)			投入コスト(インプット)		成果(アウトカム)							評価及び次年度以降に向けた課題・改善など			
					所属名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	活動指標(アウトプット指標)			事業費		成果指標(アウトカム指標)							1次評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容
									指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額(千円)	決算額(千円)	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値			当該年度の目標値の算出根拠	実績値			
R4	R3	R2																					
193	3	(1)	①	【再掲】文化・クリエイティブ産業振興センター管理運営事業	産業政策課	市(直営・委託)	文化・クリエイティブ産業の活性化を通じ、新産業の創出や地域の賑わいづくりを行う	①大道芸、劇団などのパフォーマンスアートを支援する取組 ②クリエイターの集積と育成を図る取組 ③文化・クリエイティブ産業を振興するための啓蒙・啓発を進める取組(展示会・セミナー等) ④企業とクリエイターとのマッチングを促進する取組	①指定管理関係業務(協定締結、年度評価、指定管理料支払業務等) ②管理運営に係る指導、助言	①事務処理の円滑な実施 ②会議への参加	90,645		①利用者数 ②利用者満足度 ③クリエイターと企業のマッチング件数 ④クリエイターの集積数	①40,000人 ②90% ③6件 ④3者	①43,820名 ②90% ③16件 ④0者	①38,191人 ②86% ③10件 ④5者	①33,864人 ②86% ③8件 ④4者	指定管理業務仕様書【R5～R9】で定める指標を目標値に設定した。(過去の実績等を踏まえて各指標を設定。)					
194	3	(1)	①	【再掲】埋蔵文化財センター管理運営事業	文化財課	市(直営)	埋蔵文化財センターの円滑な管理運営と共に出土遺物の調査整理と展示公開を行い、市内の埋蔵文化財について顕彰する。	①発掘調査した遺跡の資料整理作業と出土遺物の保管・管理を行う。 ②整理作業の終了した遺物の展示や遺跡の紹介を行う。	①出土遺物の実測点数 ②企画展の開催回数	①500点 ②3回	50,164		①年報、報告書完成2件以上 ②来館者数	①2件 ②2,276人	①2件 ②2,168人	①1件 ②1,389人	①2件 ②893人	①施設設置の本来目的である出土資料の整理作業の結果として作る、年報など報告書完成件数を目標値とした。 ②調査成果を公開した企画展開催等による年間来館者数を、前年度5%増を目標値とした。					
195	3	(1)	①	【再掲】老人憩いの家における高齢者の社会参加促進事業	高齢者福祉課	市(直営・委託)	老人に対し、教養の向上、レクリエーション等の場の提供し、老人の心身の健康増進を図る。	①各種相談事業、健康増進、教養の向上、レクリエーションに関する事業の実施 ②施設の維持管理	①モニタリング、指定管理者との協議 ②施設修繕実施	①随時 ②随時	24,079		利用者満足度	90.0%	98.3%	99.1%	95.2%	すでに一定の評価を得ている利用者満足度を今後も維持するため、静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画と合わせ、利用者満足度90.0%を目標値とした。					
196	3	(1)	①	【再掲】世代間交流センターにおける高齢者の社会参加促進事業	高齢者福祉課	市(直営・委託)	世代間の交流活動を通じて、豊かな地域社会の形成に資する。	①高齢者と地域住民等が相互に交流することを促進し、地域の伝統文化を承継する事業及び世代間の交流に係る教養の向上、レクリエーション等の場の提供に関する事業の実施 ②施設の維持管理	①モニタリング、指定管理者との協議 ②施設修繕実施	①随時 ②随時	60,142		利用者満足度	90.0%	99.1%	98.4%	90.0%	すでに一定の評価を得ている利用者満足度を今後も維持するため、静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画と合わせ、利用者満足度90.0%を目標値とした。					
197	3	(1)	①	【再掲】老人福祉センター等における高齢者の社会参加促進事業	高齢者福祉課	市(直営・委託)	老人に対し、各種相談に応ずるとともに、健康増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与し活動の指導及び推進を図る。	①各種相談事業及び健康増進、教養向上及びレクリエーションに関する事業の実施 ②施設の維持管理	①モニタリング、指定管理者との協議 ②施設修繕実施	①随時 ②随時	248,695		利用者満足度	90.0%	96.7%	97.0%	90.4%	すでに一定の評価を得ている利用者満足度を今後も維持するため、静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画と合わせ、利用者満足度90.0%を目標値とした。					
②生涯学習施設等の使いやすさの向上																							
198	3	(1)	②	生涯学習施設等の運用改善事業	生涯学習推進課	市(直営・委託)	生涯学習施設の利用者の視点に立ち、団体登録制度や予約制度の見直し、自由利用スペースの設置など、施設利用における利便性向上のための運用改善を指定管理者とともに図る。	①施設の利用に係る制度の見直し ②施設利用の利便性向上	ワーキンググループの開催	3回	0		①生涯学習センター利用者満足度(管理運営全体) ②清水区生涯学習交流館利用者満足度(管理運営全体) ③実施した運用改善案	①95.7% ②92.0% ③1件	①94.8% ②99.1% ③1件	①96.5% ②89.1% ③1件	①95.9% ②87.8% ③1件	①直近3か年の平均値と前年度実績を踏まえて設定した。 ③複数ある案件のうち、必ず1件は実施を目指すものとして、目標に設定した。					
(2) 生涯学習施設等のデジタル環境の整備																							
①生涯学習施設等のデジタル環境の整備																							
199	3	(2)	①	生涯学習施設等のデジタル化の推進	生涯学習推進課	市(直営・委託)	リモートやオンデマンドなどのデジタル技術を活用した学習機会の提供のために、生涯学習施設のデジタル学習環境を整備する。	施設のオンライン環境整備	モバイルWi-Fiルーターの設置台数	8台	74		延べ利用回数	150回	128回	—	—	令和4年度6月から実施しており、10か月分の実績から12か月換算した数値を参考に目標として設定した。					

No.	施策の柱	大施策	小施策	事業名称	事業概要(全体)			活動の状況(アウトプット)			投入コスト(インプット)		成果(アウトカム)						評価及び次年度以降に向けた課題・改善など																	
					所属名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	活動指標(アウトプット指標)			事業費		成果指標(アウトカム指標)						1次評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容														
									指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額(千円)	決算額(千円)	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値			当該年度の目標値の算出根拠				実績値	達成度												
R4	R3	R2																																		
②生涯学習施設等の予約システムの管理・運用																																				
200	3	(2)	②	生涯学習施設予約システムのDX化の推進	生涯学習推進課	市(直営)	施設予約のシステム化により、事務の効率化、迅速化とともに、利用者の利便性向上を図る。	①予約システム及び機器の賃借業務 ②新予約システムへの更新	①システム稼働状況の報告確認回数 ②新予約システム開発事務の進捗管理	①12回 ②完了		6,779		①計画的な停止等を除く年間のシステム稼働率 ②新予約システム開発業者との契約	①100% ②契約完了	①100% ②-	①100% ②-	①100% ②-	①直近3か年の実績を基に設定した。 ②令和5年度に契約し、令和6年10月までに新システムを稼働させる予定																	
201	3	(2)	②	スポーツ施設予約システムの管理	スポーツ振興課	市(直営・委託)	インターネットを活用したサービスを提供することにより、各種スポーツ施設予約の利便性向上を図る。	①利用者登録 ②抽選申込み ③空き施設検索、予約申込 ④利用許可書発行	①利用者登録 ②システム運用の円滑な実施	①実施 ②実施		15,726		アクセス件数	2,037,920件	1,948,684件	1,933,070件	1,632,701件	R2は災害や新型コロナウイルス感染症の影響による施設の休館等により、アクセス件数が少なかったため、R4,R3のアクセス件数平均値の5%増を目標値として設定した。																	
(3)生涯学習に関する啓発や情報発信																																				
①学ぶことの大切さの啓発																																				
202	3	(3)	①	Reまなびシンポジウム&ポスターエキシビジョン	生涯学習推進課	市(直営・委託)	人生100年時代に必要な知識やスキルを習得する「大人の学び直し」(リカレント教育やリスキリング等)について、市民に意識の醸成を図るとともに、学習機会を提供する。	①市民へ周知・啓発し、意識を醸成 ②学習機会の提供	①Reまなびシンポジウムの開催及び月間の実施 ②生涯学習施設でのReまなび講座の実施	①1回及び1箇月間 ②32施設で実施		836		①Reまなびシンポジウムの参加者のうち、学んだことを仕事や就職活動に活かせると思った人の割合 ②受講生満足度	①80.0% ②90.0%	-	-	-	①新規事業のため、当該類似の指標を参考に設定した。																	
②学習情報などの効果的な発信																																				
203	3	(3)	②	ここからネットの運用	市民自治推進課	市(委託)	市民が自分の住む地域で行われている、まちづくり活動に参加を促すための情報を提供する。	静岡市市民活動ポータルサイト「ここからネット」の運用	①定期報告によるアクセスレポートの報告確認回数 ②特集記事の掲載	①12回 ②2回		2,985		静岡市市民活動ポータルサイト「ここからネット」の①年間総アクセス件数 ②情報を公開している団体数	①176,000件 ②761団体	①167,620件 ②761団体	①152,691件 ②728団体	①172,805件 ②702団体	①前年度比5%増を指標として設定した。 ②過去3年間の平均の実績値と前年度の実績値のうち高い値を目標値として設定した。																	
(4)学習・活動相談体制の整備																																				
①学習相談・活動相談の充実																																				
204	3	(4)	①	生涯学習施設における学習相談の実施	生涯学習推進課	市(委託)	生涯学習施設において、学習機会や、サークル、講師の紹介など、生涯学習活動を行ううえでの様々な相談を受ける。	各生涯学習センターの窓口における相談実施	相談を実施している生涯学習施設数	11施設		指定管理料の一部		相談件数	7,700件	6,088件	7,340件	9,672件	直近3か年の平均値を目標値として設定した。																	
(5)生涯学習推進体制の充実																																				
①行政・企業・高等教育機関・NPO等との連携																																				
205	3	(5)	①	静岡市・大学連携生涯学習会議	生涯学習推進課	市(直営)	大学との連携による学習機会の提供により、市民の専門化、高度化した学習要求に応える	①市民大学リレー講座の開催 ②生涯学習施設・大学共催公開講座の開催 ③大学連携生涯学習会議の開催	①市民大学リレー講座の開催 ②生涯学習施設・大学共催公開講座の開催 ③大学連携生涯学習会議の開催	①6回 ②20回 ③2回		310		①市民大学リレー講座受講生満足度 ②生涯学習施設・大学共催公開講座受講生満足度	①82.3% ②91.3%	①82.3% ②91.3%	①81.3% ②84.1%	①82.0% ②90.2%	①直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。																	
②市における推進体制の充実																																				
206	3	(5)	②	静岡シチズンカレッジこ・こ・こ推進事業	生涯学習推進課	市(直営)	庁内各課で実施する人材養成事業を束ね、共通の方針や仕組みを整備することで、一体的に市民と行政との協働によるまちづくりを担うシチズンシップに富んだ人材を養成する。	①市民向けの事業周知 ②全市一体的に人材養成事業を進めるため、こ・こ・こに関係課で構成するシチズンシップ部会で連携を強化 ③修了生の活動支援	①市民向けの事業周知に利用した手法数 ②シチズンシップ部会の開催回数 ③修了生への活動支援の手法数	①10手法 ②3回 ③3手法		2,877		①静岡シチズンカレッジこ・こ・こを受講した人のうち、シチズンシップが身についた人の割合 ②修了者数	①98.0% ②540人	①97.0% ②508人	①98.5% ②357人	①98.5% ②262人	①直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。 ②令和5年度の講座定員に、修了率(修了者数/定員)の直近3か年の平均値78.5%を乗じた数値とした。																	
207	3	(5)	②	生涯学習推進事業(生涯学習推進審議会)	生涯学習推進課	市(直営)	第3次生涯学習推進大綱に基づき、市の生涯学習に関する施策について、調査審議し、総合的かつ計画的に生涯学習の推進を図る	①第3次生涯学習推進大綱の進捗管理 ②生涯学習審議会を開催し、生涯学習推進事業等の意見聴取を図る	①第3次生涯学習推進大綱後期計画記載事業の進捗確認事業数 ②生涯学習推進審議会の開催回数	①148事業 ②3回		644		生涯学習施設の利用者数(貸館)	85万人	81万人	58万人	114万人	直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。																	
208	3	(5)	②	市政出前講座の実施	広報課	市(直営)	市民参画による活力ある行政を展開するため、職員自らが地域へ外出し、対話を通して市民の考えや期待に触れる機会を設け、市民との信頼関係を築き、市民の市政に対する理解を深めるとともに、市政運営をより身近に感じてもらうための事業を行う。	(1)対象者:静岡市民、市内への通勤・通学者のグループ(10人以上) (2)開催日:平日の10時~21時 (3)内容:各課が提示した講座メニューから選択 (4)費用等:講師料、資料代は無料(その他は申込者が負担)	市政出前講座の開催回数	337件		0		講座終了後のアンケートで講座の理解度を尋ねる設問に「理解できた」、「ある程度理解できた」と回答した人の割合	100%	100%	100%	100%	過去3ヶ年の実績値を参考にした。																	